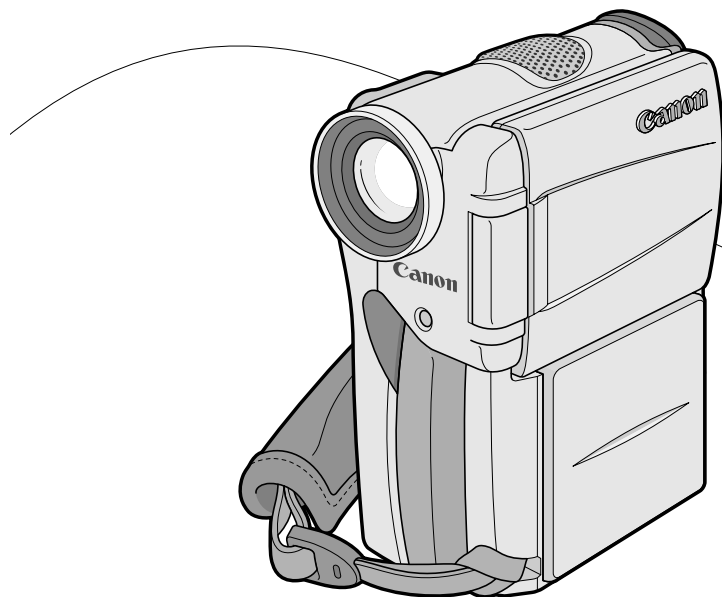
Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

使用説明書

このたびはキヤノンIXY DVをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

本書の表記について

：上手に使うために知っていると便利です。

：関連のある操作が見出しになっています。

：表示の点滅を示しています。

（📖 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

本体とリモコンのどちらで操作できるかをイラストで示しています。ほとんどの操作はリモコンでもできますが、電源スイッチがカメラモードのときは本体が、VTRモードのときはリモコンが、操作の基本になります。

：本体で操作できます。

：リモコンで操作できます。

もくじ

はじめに

基本編

（自動で撮る／
テレビで見る）

準備

撮影する

再生する

応用編
（効果的に使う）

撮影する

再生する

編集する

メモリーカード（マルチメディアカード）を使う

はじめに

その他

その他
（ご注意など）

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

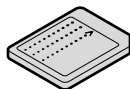
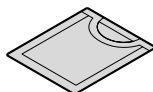
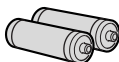
● リモコン（ワイヤレスコントローラー）
WL-D75（📖 33）

● ステレオビデオケーブル STV-250N
（📖 55）

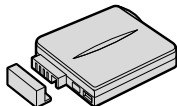
● レンズキャップ／レンズキャップ用ひも
（📖 32）

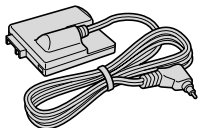
● リモコン用単3乾電池2本（📖 33）

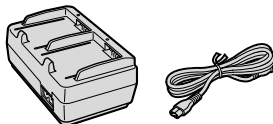
● ボタン型リチウム電池
CR1616（📖 31）

● メモリーカード（マルチメディアカード）
MMC-8M（📖 127）
（サンプル画像入り）

● メモリーカード用ケース（📖 149）

別売アクセサリーキット AK-410

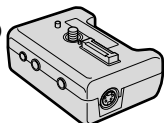
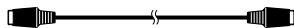
本機をお使いになるためには、別売のアクセサリーキットAK-410が必要です。

● バッテリーパック
BP-406
（📖 24）

ショート防止端子カバー

● DCアダプター DC-400（📖 22）
（DCカプラー）

● ドッキングユニット
DU-300（📖 53）

● ACパワーアダプター
(コンパクトパワーアダプター)
CA-400（📖 22）

ACパワーアダプター用
電源コード

● Sビデオケーブル S-150（📖 55）

はじめに

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやテープ、メモリーカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

機能や液晶画面／ファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

LPモードについて

LPモードは、SPモード（標準）の1.5倍の長時間録画ができる機能です。LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

● **ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

● **絵表示について**

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告

● **煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認してから、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですからおやめください。

● **本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。

● **本機器内部に水または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

● **本機器の外装を外さないでください。**
内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

⚠ 警告

- **本機器を分解、改造しないでください。**
  発熱、火災、感電、けがの原因となります。

- **リチウムイオン電池から液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。**
  皮膚の障害、失明、発火の原因となります。

- **雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。**
  感電の原因となります。

- **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないようにご注意ください。**
  そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。
  雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。

- **本機を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、ＤＣ／ＡＣコンバータなどの電源に接続しないでください。また、２４０Ｖを超える電源に接続しないでください。**
  火災、感電、けがの原因となります。

- **バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。**

  ⊕と⊖の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。
  持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止端子カバーを取り付けてください。

- **バッテリーパック、乾電池、ボタン型リチウム電池などを分解や加熱をしたり、火や水の中へ投げ込まないでください。**
  電池の破裂により、やけど、けがの原因となります。

- **ボタン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。**
  万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

⚠ 警告

● **自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。**
交通事故の原因となります。

● **撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。**
けがや交通事故の原因となります。

● **海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。**
火災、感電の原因となります。

● **海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。**
根元まで入れない場合、感電の原因となります。

● **お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。**
感電、けがの原因となります。

● **乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。**
感電、けがの原因となります。

● **リチウムイオン電池の充電は、指定されたＡＣパワーアダプターなどの充電器を使用してください。**
それ以外のものを使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

● **電源コードに重いものを載せたり、また電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。**
電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。

● **リチウムイオン電池は、指定された機器にご使用ください。**
それ以外のものに使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

● **本機器や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。**
火災、けがの原因となります。

⚠ 警告

● **リチウムイオン電池を充電器や機器に接続するときに、プラス、マイナスの向きを確認してください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

● **本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

● **リチウムイオン電池を電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

● **ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。**
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

● **強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。**
破損により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となることがあります。

● **本機器や電源コードを、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。**
外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

● **直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上になる高温の場所で使用や放置しないでください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。高温の場所に放置しないでください。

● **充電するときは、0℃～40℃の温度範囲で使用してください。**
低温または高温では、電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

● **飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

● **指定されたＡＣパワーアダプターやカーバッテリーアダプターを使用してください。**
ＤＣプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因となることがあります。

● **濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因となることがあります。

● **電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● **自動車からの電源でご使用の場合は、指定のカーバッテリーアダプターを使用してください。**
それ以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

● **テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま使用しないでください。**
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

● **テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。**
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

● **ＡＶケーブルを床の上に、はわせないでください。**
足を引掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

● **バッテリー、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。**
緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。

● **湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**
火災、感電の原因となることがあります。

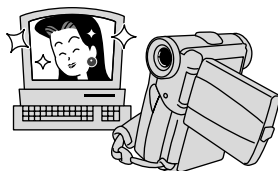
⚠ 注意

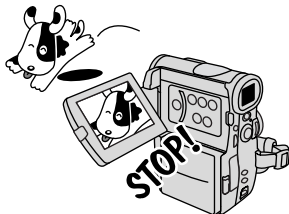
● **使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**	
● **ACパワーアダプターは、目の届く安全な場所で使用してください。**	
● **お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。** けがの原因となることがあります。	
● **指定された電池を使用してください。** それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。	
● **ACパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。** 長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となります。	

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

主な特長

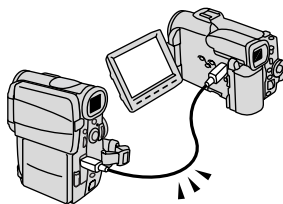
プログレッシブモード（📖 58）

ブレのない鮮やかな静止画を連続で撮影（1秒間に30コマ）できます（デジタルモータードライブ）。お気に入りの静止画をパソコンに取り込んで加工や編集したり、プリントできます。テニスやゴルフのスイングを確認したいときや、赤ちゃんのとっておきの笑顔の瞬間を入れて年賀状やカレンダーなどを作るときに最適です。

フォト（静止画）撮影（📖 60、130）

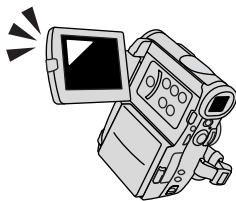
フォトボタンを押すだけで、カメラのように簡単に静止画をテープやメモリーカードに撮影できます。プログレッシブスキャンCCDの採用により鮮明な静止画が記録できます。

DV端子

（IEEE1394準拠）

（📖 113、117）

専用ケーブル1本をDV端子に接続するだけ。複雑なケーブルの接続が不要です。このDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質・音声劣化のないダビング編集や画像の取り込みができます。

液晶画面/スピーカー

（📖 35、52）

2.5型の液晶画面を採用し、ハイ／ローアングル撮影、対面撮影も可能。しかも撮影だけでなく、再生時にも威力を発揮します。また、スピーカーを内蔵していますので、液晶画面で再生中も音声を確認できます（本体内蔵のスピーカーはモノラルです）。

10倍光学ズームレンズ

（40倍デジタルズーム）

（📖 46）

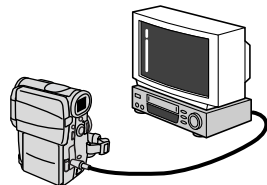
遠くの被写体も大きく撮影。運動会などで活躍します。

メモリーカード

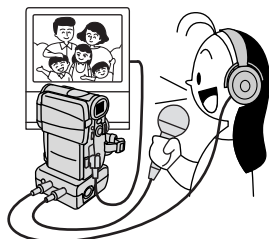
（📖 127）

MultiMediaCard（マルチメディアカード）を採用。静止画を記録するだけでなく、記録してある静止画とカメラで撮影している画像を合成したりできます。また、パソコンに静止画を取り込むことも容易です。

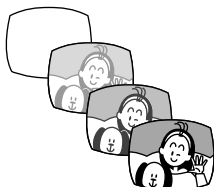
アナログ入力機能（📖 115）

ビデオデッキや8ミリビデオカメラに接続して、以前にVHSや8ミリテープなどに記録した画像を劣化のないDVテープに記録できます。

アフレコ/AV インサート

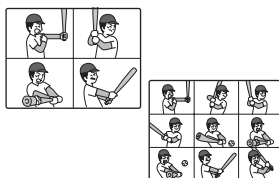
(📖 119、121)

撮影済みのテープに音声や映像をあとから追加したり、あらたに入れ換えることができます。

デジタルエフェクト（撮影時／再生時）

(📖 86)

オートフェード／ワイプ／スクロール／モザイクフェード／アート／シロクロ／セピア／モザイク

マルチ画面

(📖 93)

画面を4／9／16に分割します。ゴルフのスイングなどを1つの画面に並べて表示できます。再生時にも使用できます。

プログラムAE

(📖 63)

撮影条件に合わせて効果的に撮影できます。

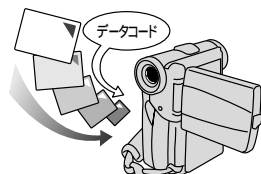
手ぶれ補正機能

(📖 96)

手ぶれの少ない、安定した画面で撮影できます。

データコード

(📖 109)

撮影時の日付／時刻、シャッタースピード、絞り値(F値)を表示することができます。

世界時計機能

(📖 38)

LPモード

(📖 97)

3電源方式

撮影する場所に合わせて電源が選べます。バッテリーパックは、いつでも充電できるリチウムイオンタイプです。

家庭用コンセント

(📖 22)

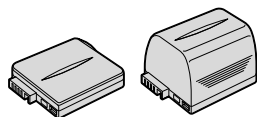
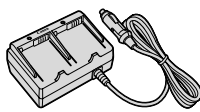
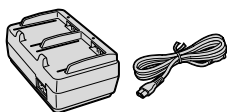
ACパワーアダプター
CA-400

カーバッテリー

カーバッテリーアダプター
CB-400（近日発売）

バッテリーパック

(📖 24)

BP-406、BP-422

本書のガイドマップです

下記の順番で説明しています。

準備 バッテリーパックの充電や、日付の設定などをします

📖22 ～📖33

撮影（テープ） テープに撮影する基本操作です

📖34 ～📖47

再生 液晶画面やテレビで撮影したテープを見ます

📖48 ～📖56

応用撮影（テープ） テープに撮影する応用操作です

📖57 ～📖102

ご購入時の設定を変える

メニューで本機の設定を変えます

📖70 ～📖85

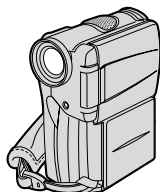
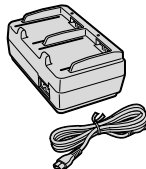
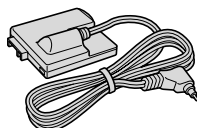
カードを使う

静止画を記録したり、再生したり、カメラで撮影している映像と
合成したりする操作です

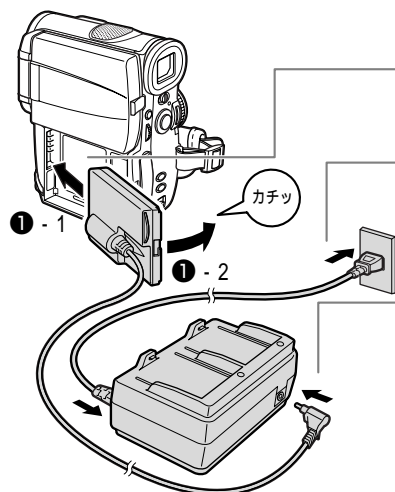
📖126 ～📖150

さあ、撮影してみましょう

用意するもの

ビデオカメラ

ACパワーアダプター（アクセサリーキット AK-410）

DCアダプター（アクセサリーキット AK-410）

Mini DVカセット（別売）

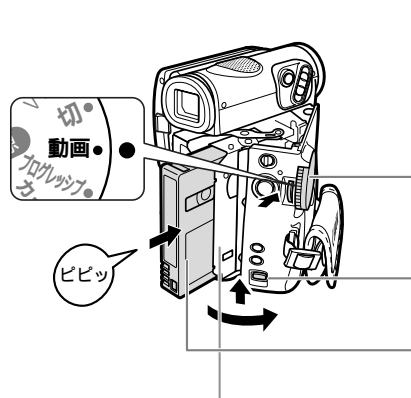
（　）内の数字は参照ページです。

1 電源を取り付ける （📖 22）

❶ DCアダプターの先端を、矢印方向に入れ、カチッとロックされるまで
押しつける

❷ ACパワーアダプターに電源コードを
差し込み、
電源プラグをコンセントに
差し込む

❸ DCアダプターをACパワーアダプターに
差し込む

● 屋外などで撮影するときは充電したバッテリーパック（充電池）を使います。（📖 24-28）

2 カセットを入れる （📖 29）

❶ 電源ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを
「動画」にする

❷ 開く/カセット取り出しスイッチを上へ
押しながら
グリップカバーを止まるところまで
開く

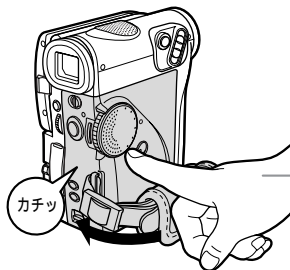
● カセット入れが自動的に開く。

❸ カセットを
入れる

● カセットの透明な窓を外側に向け、誤消去防止つまみを手前にして入れる。

❹ PUSH マークを
押して、 カセット入れを閉める。

● カセット入れが自動的に収納される。

● 電源を入れたり、撮影が始まるときなどに音が出ます。これは「お知らせブザー」です（📖 74）。

❺ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを
閉める

● カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。

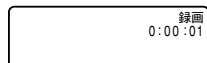
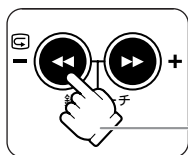
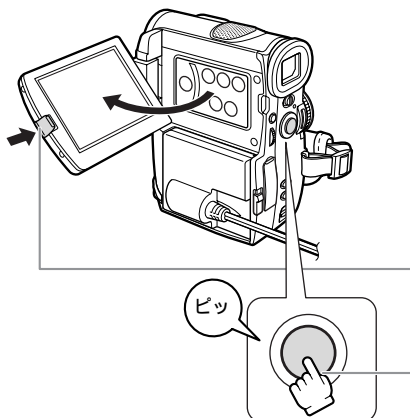
3 撮影する（📖 34）

❶ 開くボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に

調整する

● ビューファインダーを使用する場合は、液晶画面を閉じたまま、ファインダーを手前に引き出してください。

❷ スタート／ストップボタンを
押すと、撮影が始まる

録画
0:00:01

❸ もう1回
押すと、撮影が止まり、撮影一時停止になる

一時停止
0:01:00

4 撮影できたか確認してみましょう（📖 47）

撮影一時停止にしたら、録画チェックボタン⧉を
チョンと押す

● 最後の場面が数秒間見られます。

液晶画面やビューファインダーをつかんで本機を持ち上げないでください。

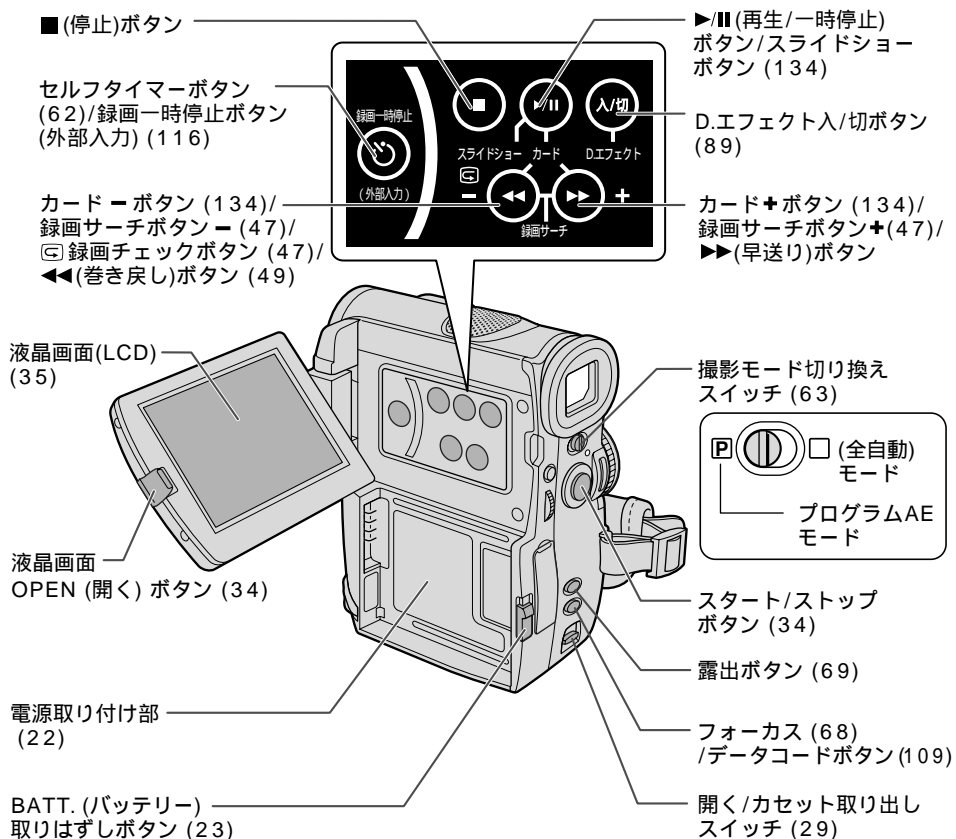
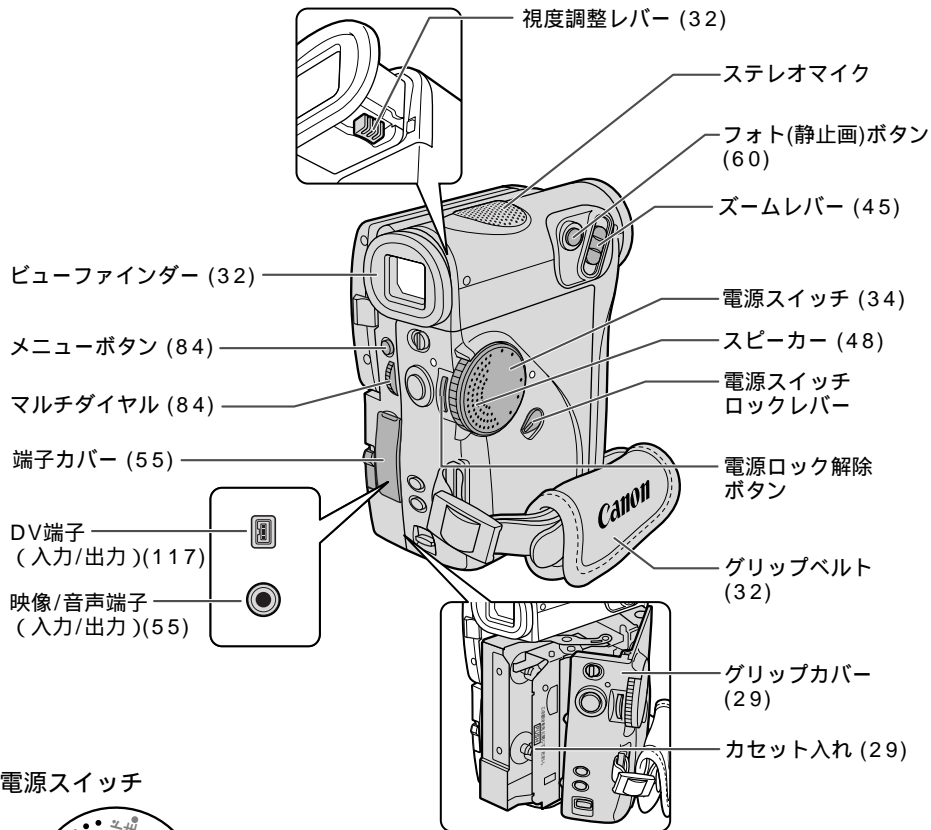
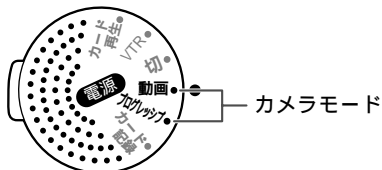
各部の名称

(　)内の数字は参照ページです。

本体

視度調整レバー (32)
ステレオマイク
フォト(静止画)ボタン (60)
ズームレバー (45)
ビューファインダー (32)
電源スイッチ (34)
メニューボタン (84)
スピーカー (48)
マルチダイヤル (84)
電源スイッチ
ロックレバー
端子カバー (55)
電源ロック解除
ボタン
DV端子
（入力/出力）(117)
映像/音声端子
（入力/出力）(55)
グリップベルト
(32)
グリップカバー
(29)
カセット入れ (29)

電源スイッチ

カード再生
VTR
切
電源
動画
プログレッシブ
カード記録
カメラモード

電源ロック解除ボタン

電源スイッチを「切」から動かすときに、押しながら回してください。

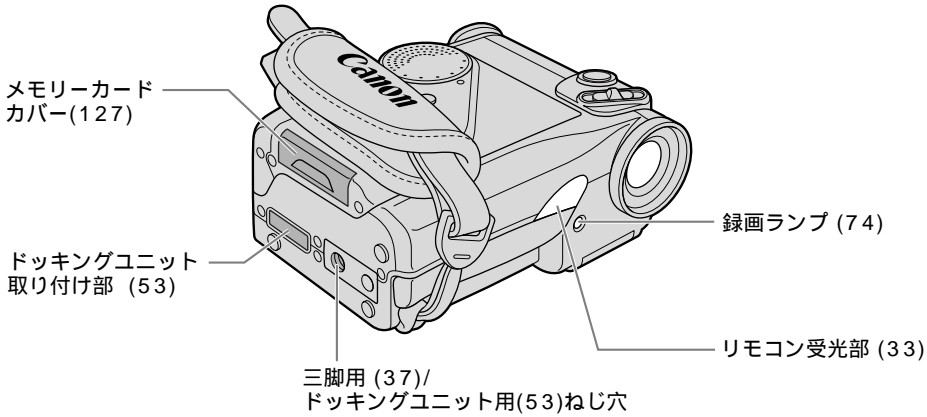
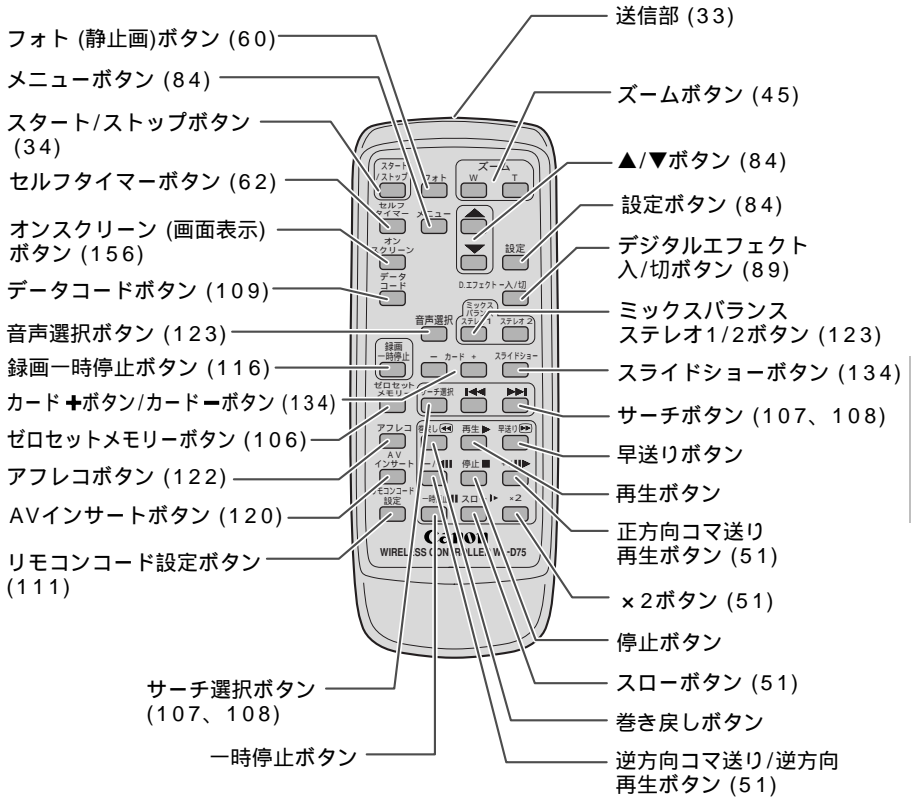
電源スイッチロックレバー

ご購入時には●に設定されています。プログレッシブ撮影やカードに静止画を記録するときは●●にしてください。

●	カード再生	VTR	切	動画	選べません	
●●	カード再生	VTR	切	動画	プログレッシブ	カード記録

基本編

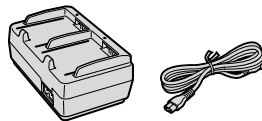
自動で撮る／テレビで見る

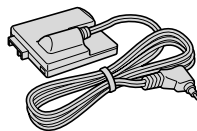
メモリーカード
カバー(127)
ドッキングユニット
取り付け部 (53)
録画ランプ (74)
リモコン受光部 (33)
三脚用 (37)/
ドッキングユニット用(53)ねじ穴
Canon

リモコン　WL-D75 (33)

基本編

自動で撮る／テレビで見る

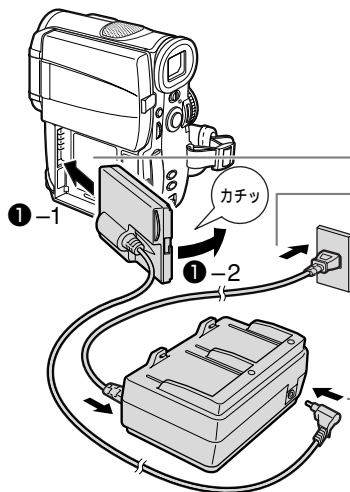
家庭用コンセントで使う

AC パワーアダプター　CA-400

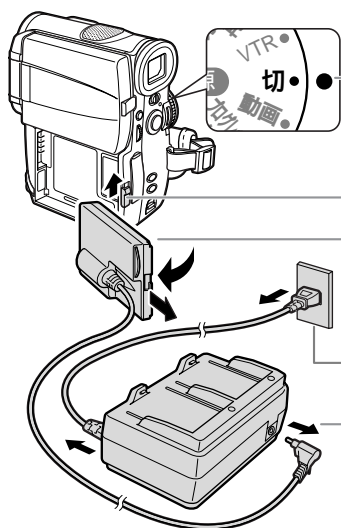
家庭用のコンセントに接続して使います(入力電圧はAC100～240Vまでの全世界対応)。

DCアダプターDC-400

ACパワーアダプターやカーバッテリーアダプターに接続して使います。

使いかた

● ＡＣパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

付けかた

❶ DCアダプターの先端を、矢印方向に入れ、カチッとロックされるまで
押しつける

❷ ACパワーアダプターに電源コードを
差し込み、
電源プラグをコンセントに
差し込む

❸ DCアダプターをACパワーアダプターに
差し込む

はずしかた

❶ 電源スイッチを
「切」にする

❷ バッテリー取り外しボタンを上へ
押しながら

❸ DCアダプターの後ろを持ち上げて
はずす

❹ DCアダプターをACパワーアダプターから
抜く

❺ 電源プラグをコンセントから
抜く

- テレビの近くでACパワーアダプターを使用するとテレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。ACパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
- ACパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。

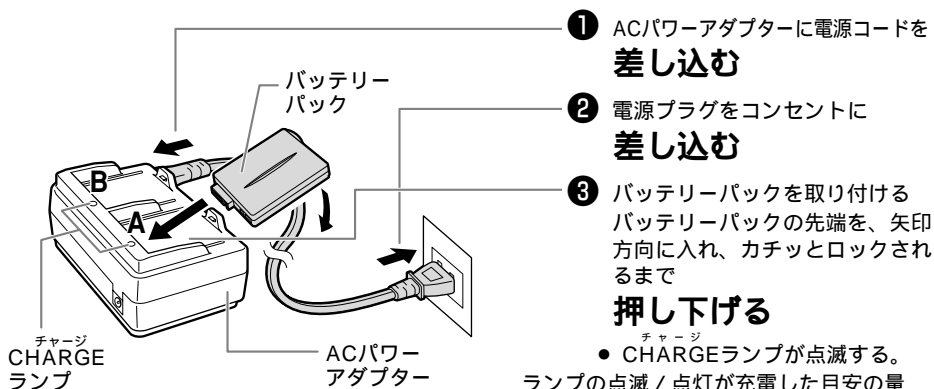
バッテリーパックで使う

バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電には、ACパワーアダプターCA-400を使用します。
ACパワーアダプターCA-400では、バッテリーパックを2個連続して充電できます。

充電のしかた

- バッテリーパックを充電するときは、DCアダプターをACパワーアダプターからはずしてください。
- バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずしてください。

充電する

❶ ACパワーアダプターに電源コードを
差し込む

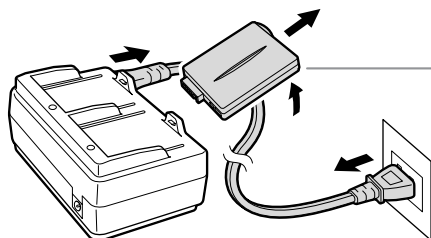
❷ 電源プラグをコンセントに
差し込む

❸ バッテリーパックを取り付ける
バッテリーパックの先端を、矢印方向に入れ、カチッとロックされるまで
押し下げる

- チャージ
CHARGEランプが点滅する。

- ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。

0〜50%	：	約1秒間隔で1回ずつ点滅
50〜75%	：	約1秒間隔で2回ずつ点滅
75%以上	：	約1秒間隔で3回ずつ点滅
100%	：	点灯

充電が終わったら

チャージ
CHARGE（充電）ランプが点灯したら
後ろを持ち上げて取りはずす

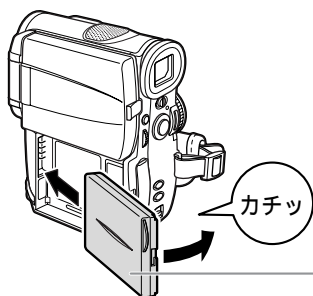
バッテリーパックを2個充電する場合

● 最初に取り付けたバッテリーパック側のCHARGEランプ（赤）が点滅し、充電が始まります。1個目のバッテリーパックの充電が終わるとCHARGEランプが点灯し、2個目のバッテリーパックの充電が始まり、CHARGEランプが点滅します。

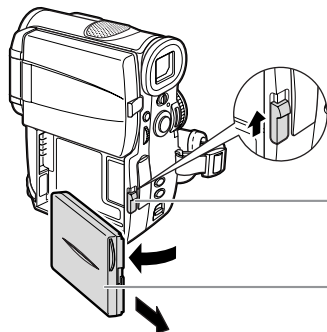
電源プラグをコンセントに差し込む前に、ACパワーアダプターにバッテリーパックを2個取り付けた場合

1. A側に取り付けたバッテリーパックから充電します。
2. A側のバッテリーパックの充電が終わると、B側の充電が始まります。

バッテリーパックの付けかた／はずしかた

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずしてください。

付けかた

❶ バッテリーパックの先端を、矢印方向に入れ、カチッとロックされるまで

押しつける

はずしかた

❶ バッテリー取り外しボタンを上へ

押しながら

❷ バッテリーパックの後ろを持ち上げて

はずす

● バッテリーパックをはずすときは、バッテリーパックが落下しないように、手で支えてください。

バッテリーパックで使う—つづき

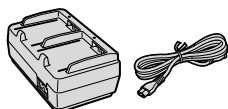
● バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの連続使用時間は次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間	撮影時間		再生時間
		ビューファインダー使用時	液晶画面使用時	液晶画面使用時
BP-406	約70分	約55分	約45分	約55分
BP-422（別売）	約110分	約200分	約165分	約200分

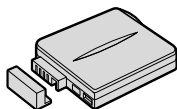
低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。

ビデオカメラの消費電流は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。また、温度の低い場所で撮影する場合も、使用時間が短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意していただくことをおすすめします。撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが使用を長くさせるコツです。

AC パワーアダプター（コンパクトパワーアダプター）CA-400

主な仕様

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力電力／消費電力	アダプターモード時　：公称DC7.2V、2.0A 34VA（AC100V）～47VA（240V） チャージャーモード時：公称DC8.4V、1A／2.5A 46VA（AC100V）～59VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約75×120×53mm
本体質量	約250g

バッテリーパック　BP-406

主な仕様

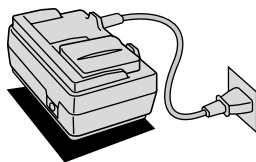
使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容　　量	680mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約49×60×11mm
質　　量	約70g

※ 仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

バッテリーパックの上手な使いかた

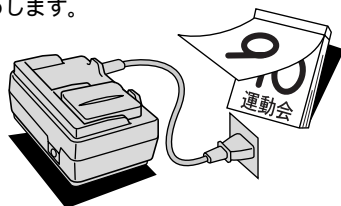
このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

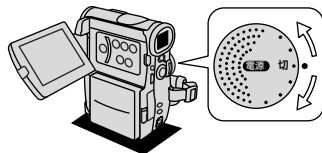
必ず
充電してから、
お使いください

● バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。
長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいに
していおいてください

● バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときはショート防止用端子カバーを取り付けてください。
また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

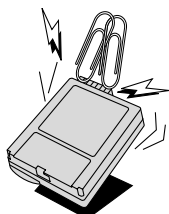
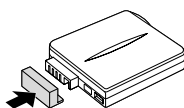
充電は使用直前に

● 充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
フル充電（CHARGEランプが点灯している状態）で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
長い間ビデオカメラを使用しないときは、バッテリーパックを使い切ってから取りはずして保管することをおすすめします。

こまめに電源を切って使う

● 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。

● バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。

バッテリーパックの取り扱いについて

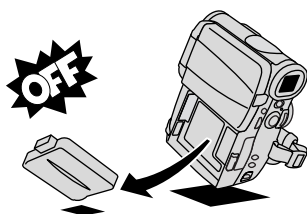
次のことを守ってください

● キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図A）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください（図B）。

（図A）　（図B）

使用しないときは

取りはずして

ください

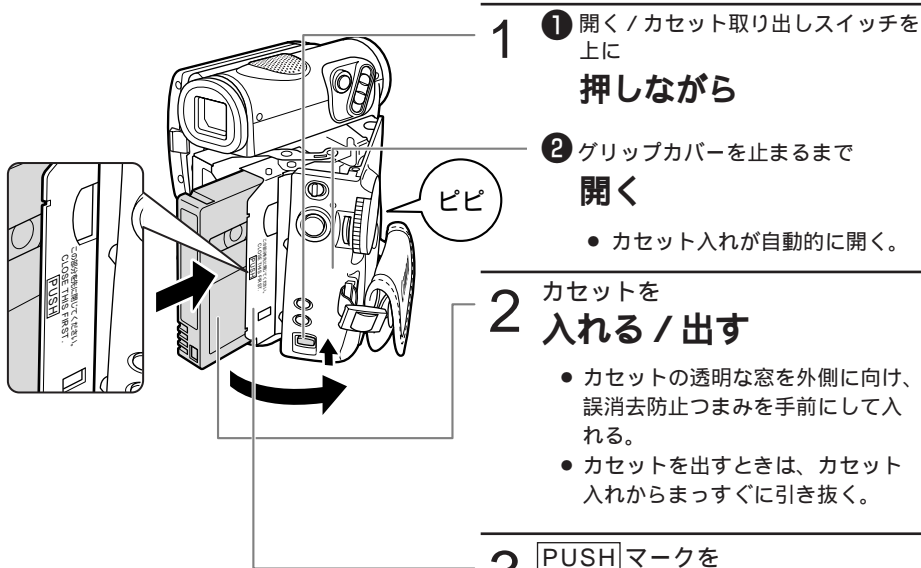
● ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

● 別売のバッテリーパックBP-900シリーズの連続使用時間と充電時間は次のとおりです。バッテリーパックBP-900シリーズを充電／使用するためには、別売のデュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910が必要です。デュアルバッテリーチャージャーにそれぞれ2個のバッテリーパックを取り付けたときは、連続使用時間は約2倍になります。

バッテリーパック	ビューファインダー使用時	液晶画面使用時	充電時間
BP-915	約115分	約90分	約130分
BP-930R	約210分	約170分	約200分
BP-945	約350分	約280分	約300分

カセットの入れかた／出しかた

ビデオカセットはMini DVマークの付いたものをお使いください。

- バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。
- 電源を入れたとき、カセットが入っていないと「[カセットなし表示]」が液晶画面／ビューファインダーで点滅します。

カセットを入れる／出す

1 ❶ 開く／カセット取り出しスイッチを上に
押しながら

❷ グリップカバーを止まるまで
開く

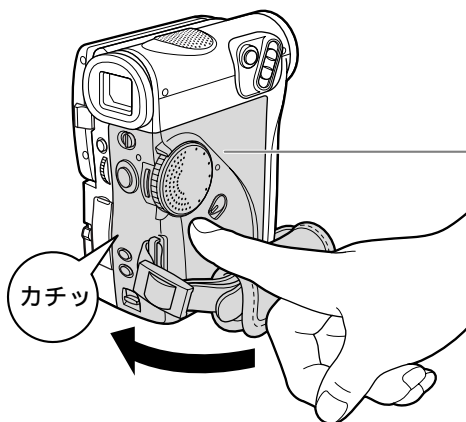
- カセット入れが自動的に開く。

2 カセットを
入れる／出す

- カセットの透明な窓を外側に向け、誤消去防止つまみを手前にして入れる。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜く。

3 PUSH マークを
押して、 カセット入れを閉める

- カセット入れが自動的に収納される。

4 カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを
閉める

カセットを出し入れするときは

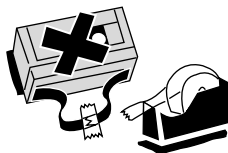
- カセット入れが自動的に動いている間は、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- 指をはさまないようにご注意ください。

ビデオカセットについて

取り扱い上のご注意

● カセットとヘッドを保護するためにカセットを本体に入れたまま放置しないでください。

● テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは、故障の原因となりますので、使用しないでください。

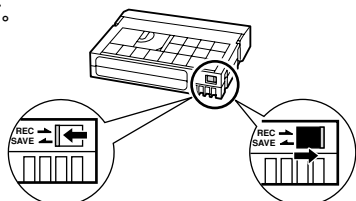
● カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。セロハンテープなどで穴をふさがないでください。

● カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えないでください。内部のテープがたるみ故障の原因となります。

● カセットを長期間保管するときは、時々巻き直してください。

● カセットメモリー機能付きのカセットの場合、カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着すると、カセットメモリーの機能が正しく動作しないことがあります。カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにしてください。

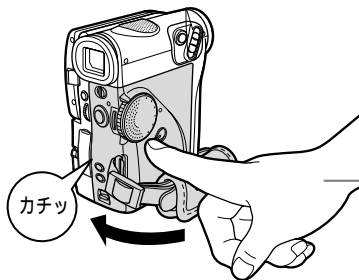
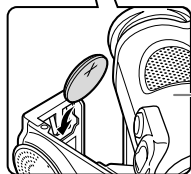
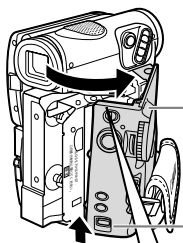
間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換えSAVEにしてください。
誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。

● カメラモードの時に、録画できない状態のカセットを本体に入れると、液晶画面／ビューファインダーに「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後が点滅します。

SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

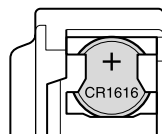
ボタン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリア（📖 38）や日付、時刻（📖 42）などを記憶するには、ボタン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のボタン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、ボタン型リチウム電池CR１６１６をお求めください。

● バッテリーパックなどの電源を取り付けておいてください。

1 ❶ 開く／カセット取り出しスイッチを上に
押しながら

❷ グリップカバーを止まるまで
開く

● カセット入れが自動的に開く。

2 電池の＋側を外にして、奥につきあたるまで確実に電池入れに
入れる

● 電池が入れにくいときは、3の操作（カセット入れを閉める）を行ってから、電池を入れてください。

3 PUSH マークを
押して、 カセット入れを閉める

● カセット入れが自動的に収納される。

4 カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを
閉じる

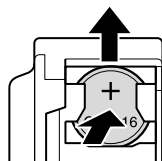
ボタン型リチウム電池の交換時期

● ボタン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の内容量が低下すると、「⊂±」の表示が点滅し、電池の交換時期を知らせます。

ボタン型リチウム電池のご注意

● プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れてください。
● 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れてください。
● 金属のピンセットなどでつかまないでください。ショートします。
● 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください。（地域によって異なります。）

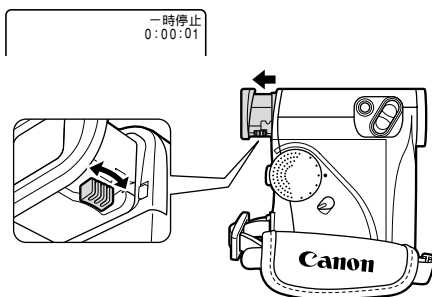
ボタン型リチウム電池の取り出しかた

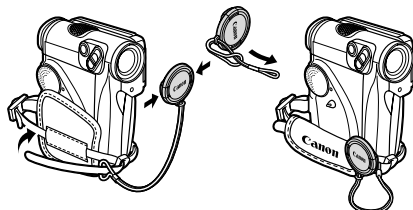
押さえながら上に引き出す

カメラの準備

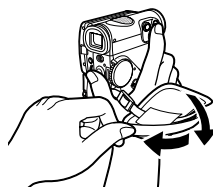
ビューファインダーの調整

視度調整

電源を入れ、ビューファインダーを止まるところまでまっすぐ引き出します。ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。

- ビューファインダーを収納するときは、まっすぐ押し込んでください。
- ビューファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

レンズキャップについて

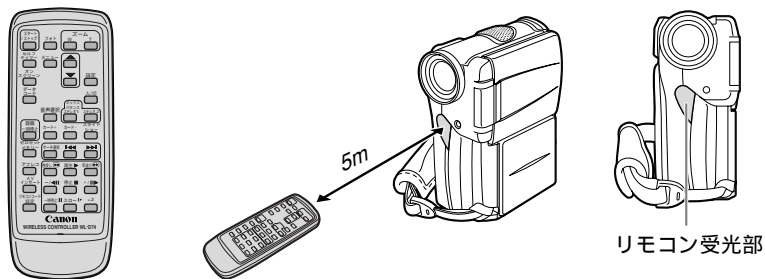
付属のひもを、レンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。
レンズキャップを取り付け／取りはずしするときは、キャップのボタンを押します。
撮影中はレンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

グリップベルトの調整

右手で本体を持ちながら、親指でスタート／ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるために、ファインダーの回りが溶けてしまうことがあります。ビューファインダーを押し込んで直射日光が入らないようにしてください。

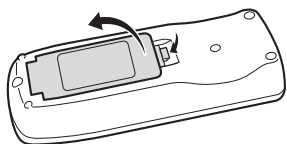
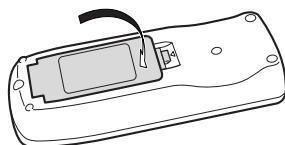
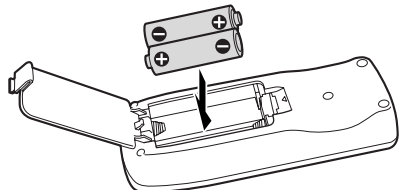
リモコン

リモコンを使うと、離れたところから本体を操作できます。

操作のしかた

リモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押します。

リモコンは2本の単3（R6）乾電池で動作します。本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください（🕮 111）。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。

電池の入れかた

1 つまみを押しながら電池カバーを 開ける

2 ＋、－を表示に合わせて 正しく入れる

● 電池は2本とも新しいものと交換してください。

3 電池カバーを 閉める

リモコンを使うときに

● 直射日光の下や蛍光灯に近いとき、またリモコンが本体に近すぎるときには、正常に動作しにくい場合があります。
● 屋外などリモコンの受光部に強い光が当たるような場所では、受光範囲が狭くなることがあります（逆光撮影時など）。

撮影する

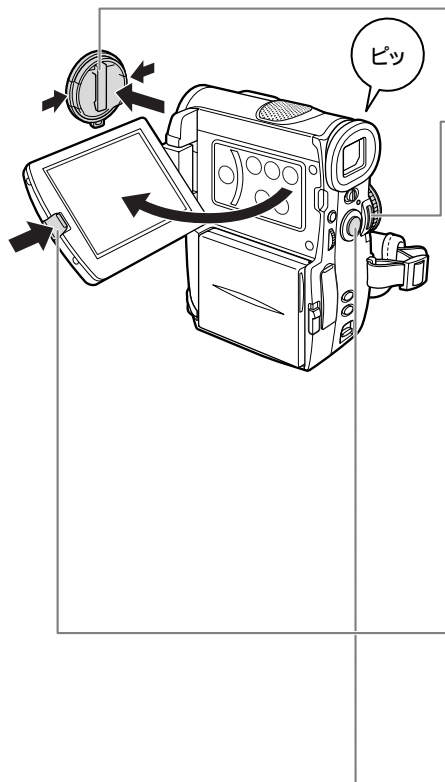
撮影する前に

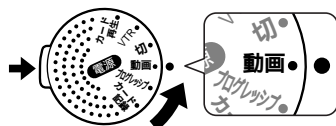
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

● 液晶画面またはビューファインダーで画像を見ながら撮影できます。屋外など周囲が明るい場所での撮影で液晶画面が見にくいときは、ビューファインダーを見ながら撮影してください。

液晶画面を見ながら撮影する

準備

- バッテリーパックなどの電源を取り付ける。
- カセットを入れる。

1 レンズキャップを
はずす

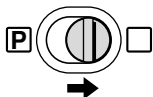
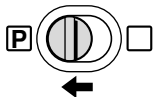
2 電源ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを
「動画」にする

- 電源ランプが赤く点灯する。

● プログレッシブモード（📖 58）、フォト（テープに記録）（📖 60）、フォト（メモリーカードに記録）（📖 130）の撮影については、参照ページをご覧ください。

3 開くボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に
調整する

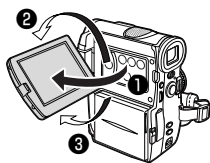
4 スタート／ストップボタンを
押す

- 撮影が始まる。
- 録画ランプが点滅する。

□（全自動）モードを使用するときは（📖 63）

プログラムAEモードを使用するときは（📖 63）

撮影をちょっと止めるとき（一時停止）

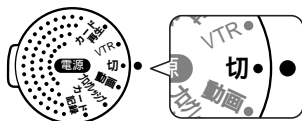
スタート／ストップボタンを
押す

● 撮影を再開するときは、もう1回押す。

液晶画面は

❶ 90°まで開きます。
❷ 180°まで回転します。
❸ 90°まで回転します。

● 液晶画面の角度を変えるときは、必ず90°開いてから行ってください。
● 液晶画面は、必ず画面を垂直にしてからカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

撮影が終わったら

1 電源スイッチを
「切」にする

2 液晶画面を垂直にしてから
閉じる

3 レンズキャップを
付ける

ビデオカメラをしまうときは

1 カセットを
取り出す

2 バッテリーパックを
取りはずす

液晶画面について
液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、テープには記録されません。

● 長時間使用しないときは、電源スイッチを必ず「切」にしてください。
● 撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のために、約5分で電源が切れます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。
● カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
● 明るい光や反射する光を撮影すると縦の帯状の線が出ることがあります。
● 屋外で撮影する際、日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。
● ビデオカメラを窓際に置いたり屋外で使用するときには、液晶画面やビューファインダー、レンズを太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
● 長時間録画するときは、メニューの「録画モード」を「LP」にします（📖 97）。

テープ撮影中の液晶画面の表示について

お知らせタイマー

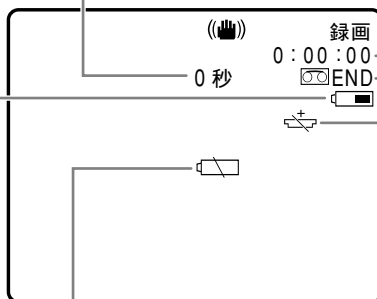
撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。

● 1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。

● 再生時には、撮影したときの時間を「時：分：秒：フレーム」で表示します。

本機は30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97/秒のNTSC映像信号の間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度な編集ができるドロップフレーム方式を採用しています。

テープの残量表示と「 END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。

撮影中／再生中にテープがなくなると「 **END**」が点灯し、停止します。撮影／再生時間が15秒以下のときは残量表示がでないことがあります。

● テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

「」の点滅

次の場合に が点滅します。

1. カセットが入っていないとき。
2. カメラモードで、録画できない状態のカセットがはいっているとき。

「」の点滅

バッテリーパックが消耗すると「」が点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。

● 消耗したバッテリーパックを装着すると、「」が出ずに、電源が入らなかったり、切れたりすることがあります。

バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

● 残量表示と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

「」の点滅

ボタン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が点滅します。新しいボタン型リチウム電池と交換してください。

● 交換用のボタン型リチウム電池は、CR1616タイプをお使いください。

よりよいビデオ撮影のために

ビデオカメラ本体の持ちかた

● ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構え方の方法

● 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
● 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。

● ハイアングルで撮る　● ローアングルで撮る

ライティング

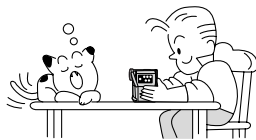
戸外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

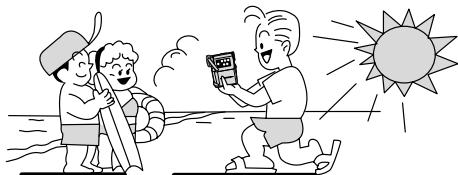
安定した撮影をするためには

状況に合わせて構え方を変えましょう。

液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

● 壁に寄りかかる

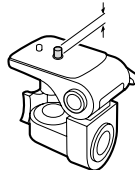
● テーブルなどを利用して本体を置く

● ひじをたてて地面に伏せる

● 片膝立ちになる

● 三脚を使う

三脚を使うときには

● 直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ビューファインダーを押し込んで直射日光が入らないようにしてください。
● 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものをご使用になると、本体を破損することがあります。

基本編

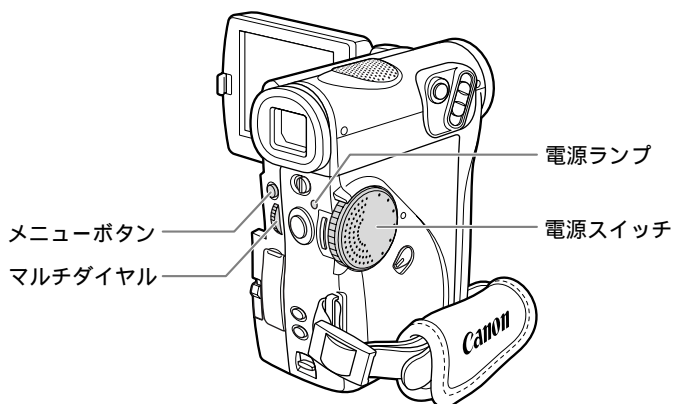
自動で撮る／テレビで見る

世界時計のエリアを選ぶ

はじめてお使いになる場合や、ボタン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」が表示されます。日付／時刻を設定する前に世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアについて：

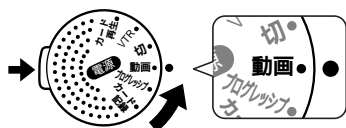
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。都市名（エリア）を選ぶと、日付などを設定し直すことなく、旅行先の現地の時刻を記録できます。

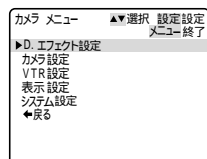
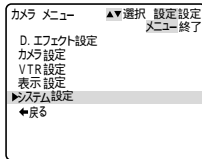
また、旅行先が夏時間（summer time（サマー タイム）またはdaylight saving time（デイライト セイビング タイム））のときは、世界時計表示を夏時間に変更できます。

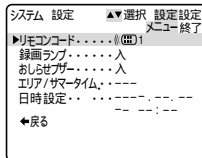
● 撮影を行う前に、変更してください。

操作のしかた（はじめて使う場合）

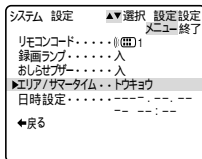
● ここでは、はじめてお使いになる場合の画面表示で説明しています。

● 「世界時計のエリアを選ぶ」は電源スイッチを「動画」、「プログレッシブ」または「カード記録モード」にしたときに設定できます。ここでは「動画」にしたときの画面表示で説明しています。

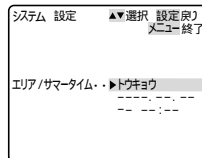
1 ボタンを押しながら
電源スイッチを
「動画」にする

● 電源ランプが赤く点灯する。

2 メニューボタンを
押す

● 「カメラ」メインメニューが出る。

3 マルチダイヤルを **回す**

- ▶を「システム設定」に合わせる。

4 マルチダイヤルを **押す**

- 「システム設定」のサブメニューが出る。

5 マルチダイヤルを **回す**

- ▶を「エリア／サマータイム」に合わせる。

6 マルチダイヤルを **押す**

- 「エリア/サマータイム」だけの表示になる。

- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

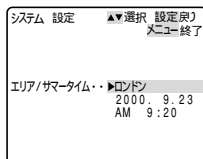
7 マルチダイヤルを **押す**

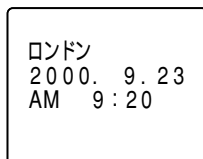
- 「システム設定」のサブメニューに戻る。

旅行先のエリアを選ぶ

あらかじめ日時を設定しておくと、海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

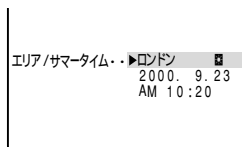
39ページの操作6のあと

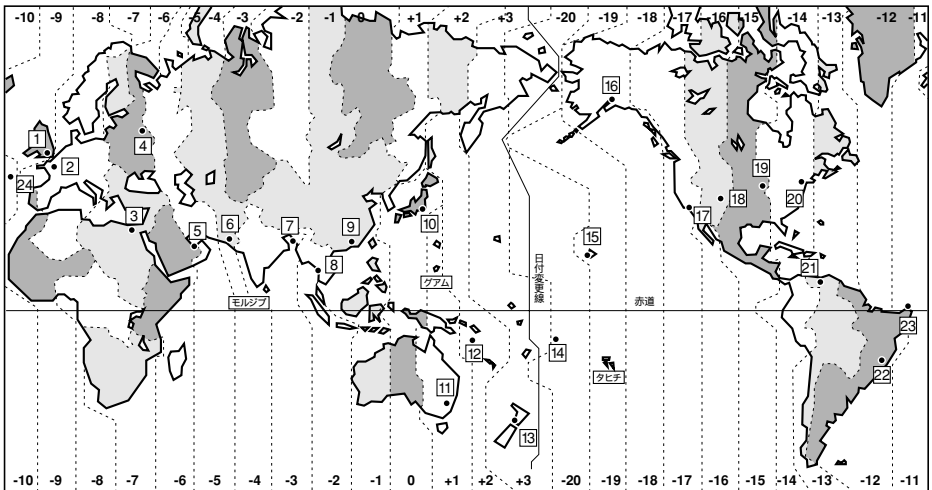
1 マルチダイヤルを
回す

- 回すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻が表示される。

2 メニューボタンを
押す

ロンドン
2000. 9.23
AM　9:20

- メニュー表示が消える。

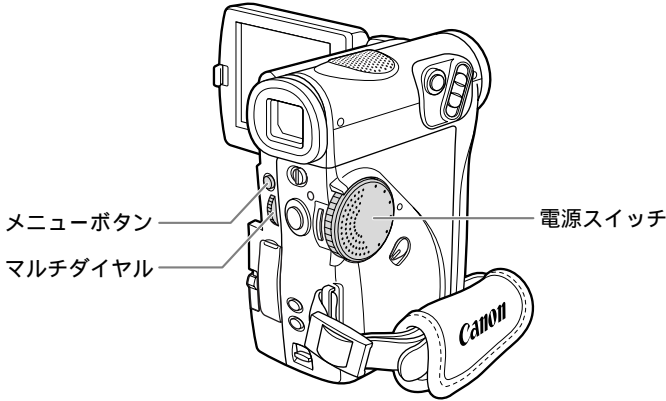
夏時間を設定するときは

- 都市名の右に☼マークの付くものを選んでください。

世界時計のエリアを選ぶーつづき

世界時計の都市と代表国

都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ、ミャンマー
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ島、バリ島
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島
10	トウキョウ	日本標準時(JST)	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

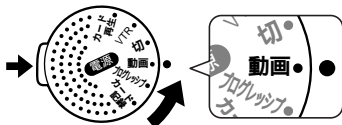
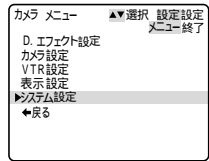
日付／時刻を設定する

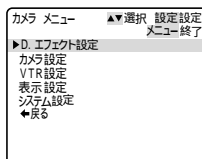
はじめてお使いになる場合や、ボタン型リチウム電池を交換した場合には、世界時計のエリアを選んでから、日付／時刻を設定します。

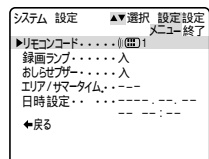
● はじめて日時を設定するときは、世界時計のエリア（📖 38）を設定したあと、操作5からはじめてください。

各月の日数やうるう年は自動的に判別します。

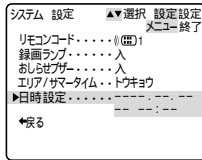
● ここでは、はじめてお使いになる場合の画面表示で説明しています。

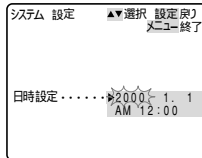
●「日付/日時を設定する」は電源スイッチを「動画」、「プログレッシブ」または「カード記録モード」にしたときに設定できます。ここでは「動画」にしたときの画面表示で説明しています。

1 ボタンを押しながら電源スイッチを「動画」にする

● 電源ランプが赤く点灯する。

2 メニューボタンを押す

● 「カメラ」メインメニューが出る。

3 マルチダイヤルを回す

● ▶を「システム設定」に合わせる。

4 マルチダイヤルを押す

● 「システム設定」のサブメニューが出る。

5 マルチダイヤルを **回す**

- ▶を「日時設定」に合わせる。

6 マルチダイヤルを **押す**

- 「日時設定」だけの表示になる。

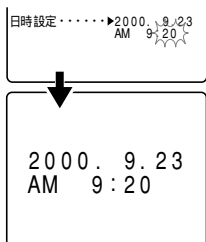
7 年／月／日／時／分を **設定する**

❶ マルチダイヤルを押して、項目を **選ぶ**

❷ マルチダイヤルを回して、数字を **選ぶ**

日付・時刻表示は次のように変わります。
（マルチダイヤルを上に回した場合）

- 下に回した場合には、矢印と逆方向に変わります。

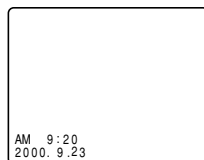
8 時報などに合わせて
メニューボタンを
押す

- 内蔵の時計が動き始める。
- メニューが消える。

● 日付／時刻を設定すると、電源を入れるたびに約４秒間エリア（トウキョウ以外に設定したとき）と日付／時刻が大きく表示されます。

日付や時刻の一部を変更するときは

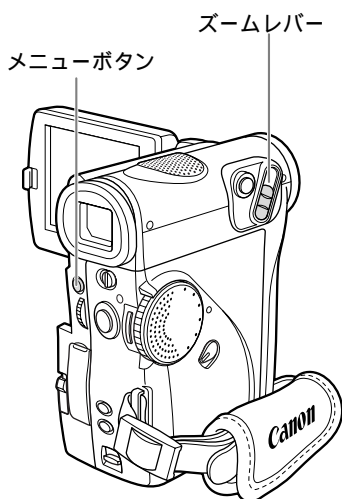
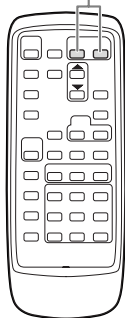
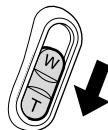
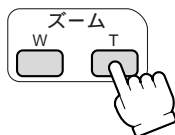
● 7の操作で、マルチダイヤルを押して項目を選びます。
次にマルチダイヤルを回して変更します。
終了したら、メニューボタンを押します。

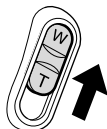
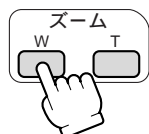
撮影時に日時を表示する

撮影時の日時は、通常画面に表示されませんが、テープやメモリーカードには記録されます。本機では撮影中の現在の日時を画面の左下に表示することができます。カメラモード、カード記録モードのメニュー「表示設定」-「日時表示」を「入」に設定します。表示される日時は、撮影している画面中には記録されません（再生時に撮影したときの日時を表示したいとき 🕮 109）。

● 「日時表示」が「入」のときには、日時設定後にメニューを終了したときや電源を入れても画面に大きくエリアと日時を表示しません。

大きくしたり、小さくしたりして撮る（ズーム）

本機は、10倍の光学ズームに加え、40倍までのデジタルズームを装備しています。ズームを使うと、ビデオカメラの位置を変えずに、被写体を大きくしたり、小さくしたりして撮影できます。光学ズーム、デジタルズームともに、本体とリモコンで操作できます。

● ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。（ズームスピードは多段階になっています。）
　リモコンではズームスピードは一定です。
● ご購入時には、デジタルズームは「入」に設定されています。

ズームインするとき

ズームレバーを **引く**（本体）　ズームボタンを **押す**（リモコン）

● 被写体が大きくなり、ズームインになる。
● Tはtelephoto（テレフォト）（望遠）の頭文字で、画面の一部を大きく拡大できます。

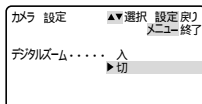
ズームアウトするとき

ズームレバーを **押す**（本体）　ズームボタンを **押す**（リモコン）

● 被写体が小さくなり、ズームアウトになる。
● Wはwide（ワイド）（広角）の頭文字で、広い範囲が撮影できます。

大きくしたり、小さくしたりして撮る(ズーム) ーつづき

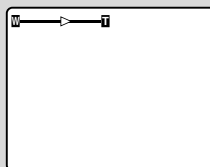
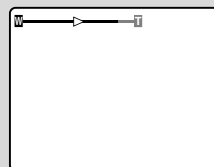
デジタルズームについて

カメラモード　カード記録

光学ズームの10倍を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では、画像をデジタル処理するため画質が低下し、通常より画面が粗くなります。デジタルズームを使用しないときは、「カメラ設定」サブメニューの「デジタルズーム」を「切」にします（📖72）。

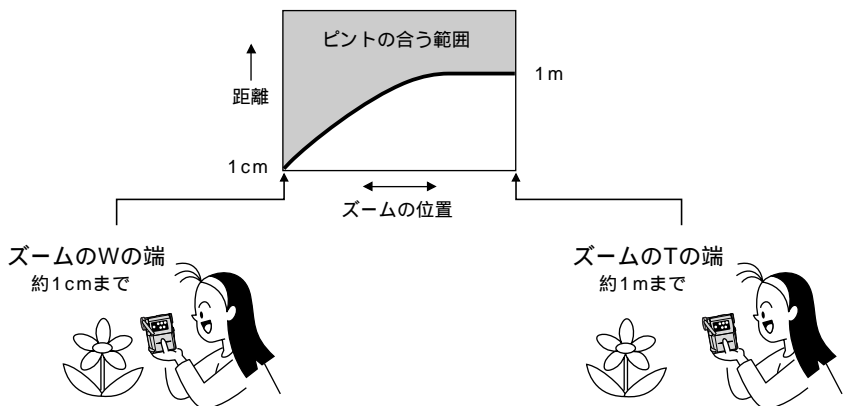
● マルチ画面（📖93）を設定しているとき、デジタルズームは使用できません。

液晶画面／ビューファインダーの表示

ズームレバーを操作するとズームのおよその位置を表示します。離すと約4秒後に消えます。

● デジタルズームが「入」のときは、「切」のときよりズーム表示が長くなり、デジタルズーム領域は水色で表示されます。

光学ズームの時

デジタルズームの時

ズームを使ったときに、どこまで近づいて撮影できるの？

ズームの位置によって、被写体にどこまで近づけるかが変わります。

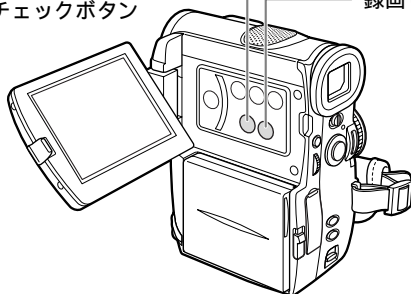
ビデオカメラが近づける距離の変化(光学ズームのとき)

● 近くのものにピントが合わないときには、ズームレバーをW側に動かして広角にします。

ズームを使うときには

● 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。

● ズームをしながら撮影するときは、広角～望遠までの全域で、被写体から1m以上離れてください。

テープに撮影した内容を確認する（録画チェック）/つなぎ撮り（録画サーチ）

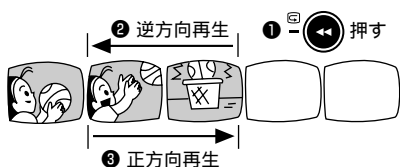
● 音声は聞こえません。

録画チェック

最後に撮影した場面(約3秒間)を再生して、液晶画面／ビューファインダーで確認できます。

撮影一時停止中

録画チェックボタンを

チョンと押す

● 撮影した最後の場面（3秒間分）が❷、❸の順番で再生され、撮影一時停止に戻る。

録画サーチ

撮影した場面を正方向、逆方向に再生して撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

撮影一時停止中

－正方向の再生－

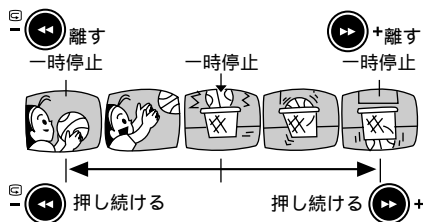
録画サーチボタン＋を

押し続ける

－逆方向の再生－

録画サーチボタン－を

押し続ける

● 離すと、その場面で撮影一時停止になる。

逆方向の再生中は

● 画面が多少乱れます。

基本編

自動で撮る／テレビで見る

再生する

再生画面がおかしいときは

ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

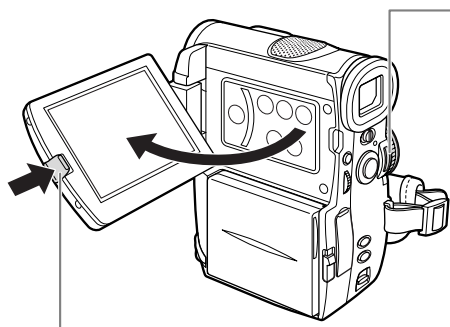
撮影したテープを液晶画面で見ます。ビューファインダーでも見ることができます。
再生するときには、内蔵のスピーカーで音声を聞くことができ、音量も調整できます（🕮 52）。

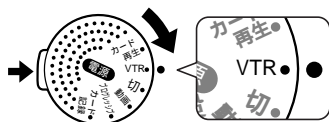
● 内蔵スピーカーでは音声はモノラルになります。（市販のヘッドホンを使用すると、ステレオで音声を確認できます。）

再生のしかた

● 操作はリモコンでもできます。

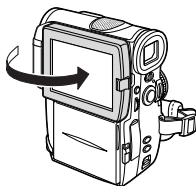
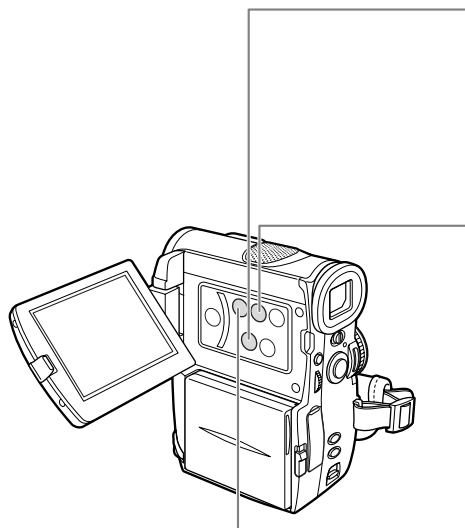
準備

- バッテリーパックなどの電源を取り付ける。
- カセットを入れる。

1 ボタンを押しながら
電源スイッチを

「VTR」にする

- 電源ランプが緑色に点灯する。

2 開くボタンを押して液晶画面を開き、見やすい角度に

調整する

● 液晶画面を外側に向けて本体に収納することができます（リモコンで操作してください）。

3 巻き戻しボタンを **押す**

4 再生ボタンを **押す**

- 再生する。
- 液晶画面に再生画面が出る。

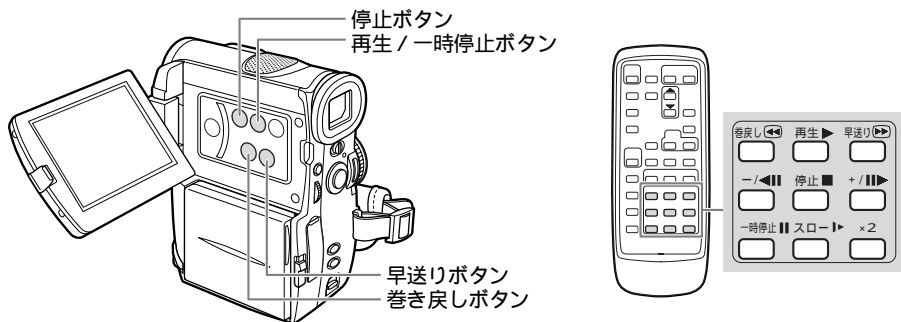
5 停止ボタンを **押す**

- 再生を終える。

● 再生画面は液晶画面を閉じると、ビューファインダーで見ることができます。
● 再生時に撮影したときの日付/時刻を表示する場合は、109ページをご覧ください。

再生するーつづき

特殊再生

特殊再生時は音声は聞こえません。

早送り再生

押している間だけ約9.5倍速の早送り再生になる。

再生中

早送りボタンを

押し続ける

● 離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り中

早送りボタンを

押し続ける

● 離すと、早送りに戻る。

巻き戻し再生

押している間だけ約9.5倍速の巻き戻し再生になる。

再生中

巻き戻しボタンを

押し続ける

● 離すと、ふつうの再生に戻る。

巻き戻し中

巻き戻しボタンを

押し続ける

● 離すと、巻き戻しに戻る。

静止画再生

再生中

一時停止ボタンを

押す

● 静止画再生になる。

● もう一度押すと、ふつうの再生に戻る。

静止画再生などでは

● 一部の特殊再生では、画面が多少乱れることがあります。
● 静止画再生が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。再生するときはもう一度再生ボタンを押します。

正方向コマ送り

静止画再生中

+/▮▮▶ ボタンを

押す

+/▮▮▶

- 押すたびに1コマずつ送られる。
- 押し続けると、連続コマ送りになる。

正方向スロー再生

再生中

スローボタンを

押す

スロー▮▸

- 通常の約1/5のスロー再生になる。
- 再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。
- スロー再生が30秒以上続くとふつうの再生に戻る。

正方向2倍速再生

再生中

×2ボタンを

押す

×2

- 2倍速再生になる。
- 再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

逆方向再生

再生中

ー/◀▮▮ ボタンを

押す

- 逆方向再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。

逆方向コマ送り

静止画再生中

ー/◀▮▮ ボタンを

押す

ー/◀▮▮

- 押すたびに1コマずつ逆方向に送られる。
- 押し続けると、連続コマ送りになる。

逆方向スロー再生

再生中

ー/◀▮▮ ボタンを

押し、

スローボタンを

押す

- 通常の約1／5の逆方向スロー再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。
- スロー再生が30秒以上続くと逆方向再生に戻る。

逆方向2倍速再生

再生中

ー/◀▮▮ ボタンを

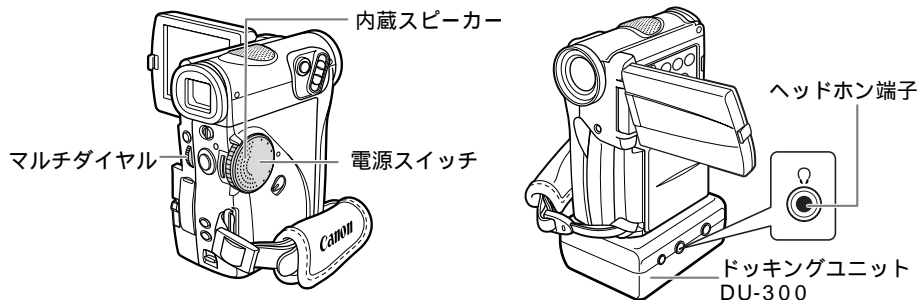
押し、

×2ボタンを

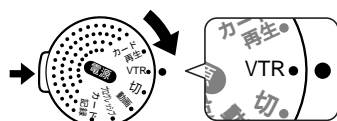
押す

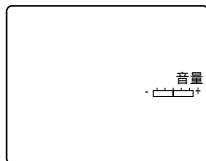
- 逆方向2倍速再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。

音量を調整する

撮影したテープを液晶画面／ビューファインダーで見るときに、同時に内蔵スピーカーで音声も聞くことができます。ヘッドホンを接続したときには、ヘッドホンで音声の確認ができます。
● ヘッドホンを接続するときにはドッキングユニットDU-300が必要です。

操作のしかた

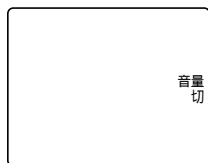
● ヘッドホンを接続しているときは、ヘッドホンの音量調整になります。

1 ボタンを押しながら
電源スイッチを
「VTR」にする

● 電源ランプが緑色に点灯する。

2 マルチダイヤルを回して、音量を
調整する

● 音量表示バーが出る（調整をおえてから、約4秒後に消える）。

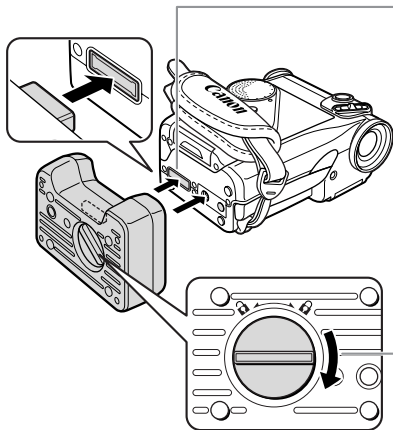
● 調整した音量は、電源を切っても記憶しています（スピーカーとヘッドホンは別々に記憶します）。
● ヘッドホンの音量はVTRモードだけでなく、カメラモードでも調整できます。VTRモード、カメラモードは同じ音量になります。

音声を消す

スピーカーやヘッドホンの音声を消すことができます。
マルチダイヤルを下に回し続けると、音量表示バーのところに「切」の表示が出ます。スピーカー／ヘッドホンから音声は出ません。
戻すときは、マルチダイヤルを上に回してください。

● ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出ません。
● 大きな音で再生すると、歪んで聞こえることがあります。その場合は、音を小さくしてください。

テレビで見る／ドッキングユニット

本機にACパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
● 接続は、各機器の電源を切って行ってください。

本機にドッキングユニットを取り付ける

1 ドッキングユニット取り付け部にドッキングユニットを
差し込む

2 取り付けネジを時計方向に
回す

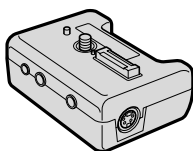
● 最後までしっかりと回して取り付ける。

ドッキングユニットDU-300について

本機にドッキングユニットDU-300を取り付けると、S映像端子、市販のマイクやLANC、ヘッドホンを使用できます。
ヘッドホンを使用するときは、端子に接続してください。
● ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーの音声は切れます。
● マルチダイヤルで調整した音量は、電源を切っても憶えています（内蔵スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ独立して記憶します）。

マークについて

は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。
● マークが表示されている機器と接続してください。
● 「LANC」ロゴおよび「LANC」マークは、商標です。
● LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
● マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。

ドッキングユニットDU-300

主な仕様

マルチコネクター	特殊角型多極コネクター
S映像入出力端子	4ピン　DIN 輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286Vp-p/75Ω
マイク端子	φ3.5mmステレオミニジャック −57dBV (600Ωマイク使用時）/5kΩ以上
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
LANC端子	φ2.5mmミニミニジャック
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約77×29×56mm
質量	約50g

接続のしかた

S(S1)-映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

S-ビデオケーブル S-150、ステレオビデオケーブル STV-250Nを使います。

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

※黄色い映像プラグは使用しません。

テレビについて

●再生時には、S(S1)-映像端子のついたテレビをおすすめします。DV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。

S1-映像入力端子付きのテレビの場合

●本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖 72）で撮影した画像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子付きのテレビにつないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合（📖 56）

テレビで見る／ドッキングユニット－つづき

映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る ステレオ

ステレオビデオケーブル STV-250Nを使います。

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

※S-映像プラグは使用しません。

本体

端子カバーを開く

信号の流れ

ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）

入力

映像 入力 端子へ

（黄）

（白）

（赤）

ステレオ音声
入力 端子へ

映像

L

音声

R

テレビ

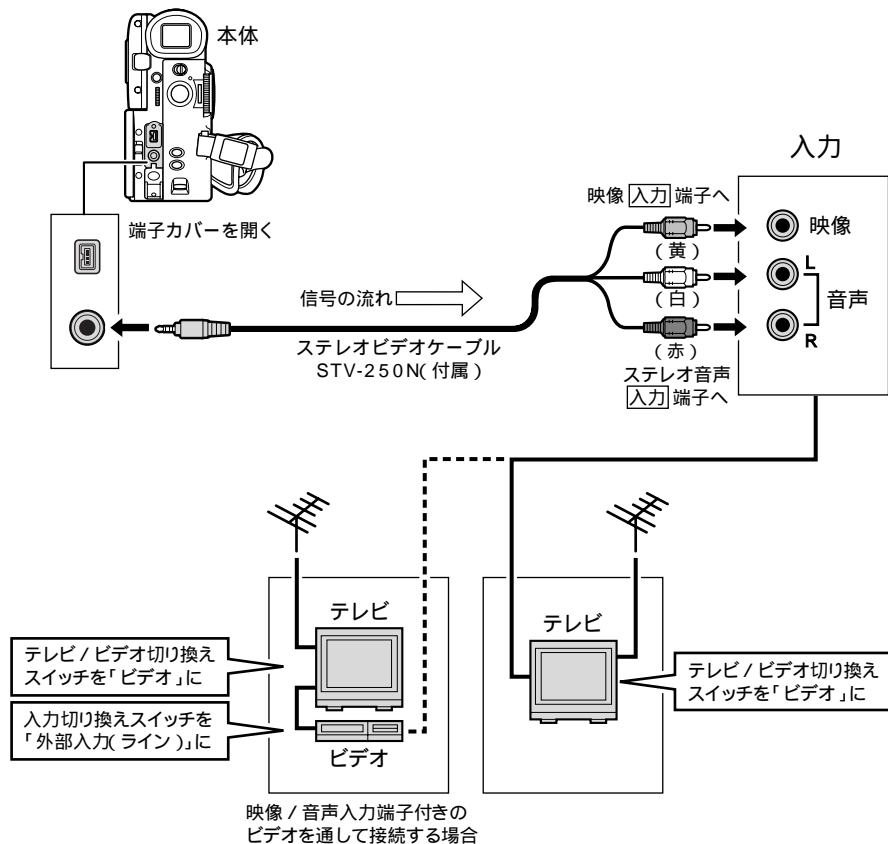
テレビ／ビデオ切り換え
スイッチを「ビデオ」に

入力切り換えスイッチを
「外部入力（ライン）」に

ビデオ

映像／音声入力端子付きの
ビデオを通して接続する場合

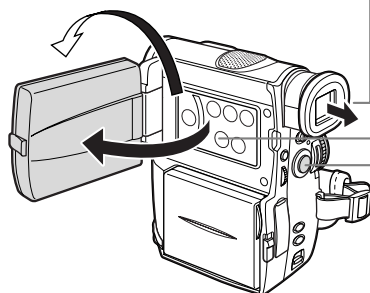
テレビ

テレビ／ビデオ切り換え
スイッチを「ビデオ」に

ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合

●本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖 72）で撮影した画像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ビューファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（📖 62）などでビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。

撮影のしかた

1 撮影一時停止中

ビューファインダーを
引き出す

2 液晶画面を
回転させる

3 スタート／ストップボタンを
押す

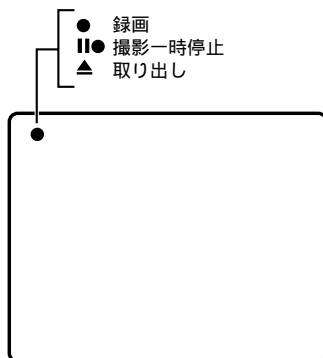
カメラモード　カード記録

液晶画面に映る映像を選ぶ

ミラー：　液晶画面に映る画像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。
ノーマル：　記録される映像と同じ状態で液晶画面に映ります。液晶画面に映る文字などを読むことができます。

ご購入時には、「タイメンサツエイ」は「ミラー」に設定されています。記録される映像を確認したいときは、「表示設定」サブメニューの「対面撮影」を「ノーマル」に設定します（📖 73）。

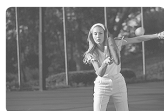
「ミラー」にしたときに出る液晶画面の表示

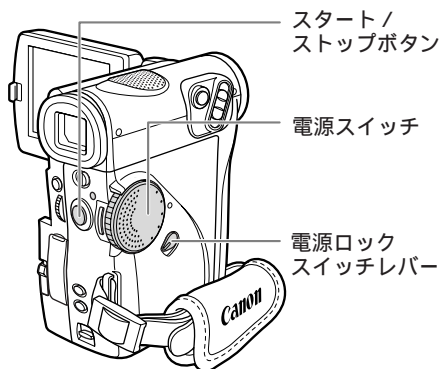
ビューファインダーでは、すべての表示が出ます。

プログレッシブモードで撮る（デジタルモータードライブ）

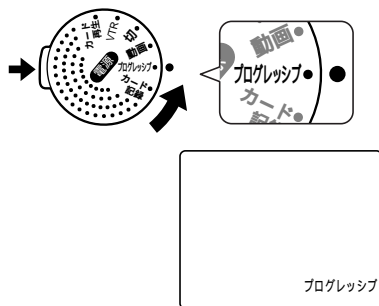
スポーツや遊園地、運動会などの動きの速い被写体を撮影するときや、フォト撮影ではスタート／ストップボタンを押すタイミングがむずかしい赤ちゃんの笑顔などを撮影するときに、連続した静止画で撮影できます。
撮影した静止画の中からコマ送りなどでとっておきの瞬間を選ぶことができます。
テープからカードにコピーするときは、より高画質で記録するため、プログレッシブモードで撮影することをおすすめします。

どんなときに使う？

- テニスやゴルフのスイングを確認したいときや、遊園地、運動会など
- 結婚式の新婦やお誕生日会での子供のとびきりの笑顔の瞬間を撮りたいとき（年賀状やあいさつ状、カレンダー作りなど）

● プログレッシブモードで撮影したテープを再生すると、被写体の動きが少しぎこちない画像になります。通常の動画を記録／再生するときは、電源スイッチを「動画」にして撮影してください。

プログレッシブモードとは

カメラの連写のように、静止画を連続して撮影する機能です。本機ではブレのない鮮やかな静止画が1秒間に30コマ撮影できます（デジタルモータードライブ）。

1 電源スイッチロックレバーを
●●にする

2 ボタンを押しながら電源スイッチを
「プログレッシブ」にする

● 「プログレッシブ」の表示が出る。

3 スタート／ストップボタンを
押す

● 撮影が始まる。

4 スタート／ストップボタンを
押す

● 撮影一時停止になる。

静止画をテープに撮る（フォト撮影）

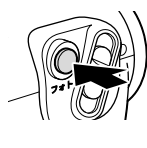
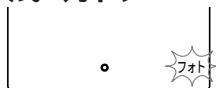
● 静止画をメモリーカードに記録する場合は130ページをご覧ください。

フォト撮影では写真を撮るように静止画を撮影できます。パソコンに静止画を取り込んで加工したり、プリントするのに使います。また旅行先の案内板や地図などの静止画を、場面の初めに使うと効果的です。また、撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分をフォトサーチ機能で簡単に探し出せます（📖 107）。
本機では撮影一時停止から静止画撮影する方法と、動画を撮影中に撮影を中断せずに静止画撮影する方法の2種類があります。

● 静止画1枚のテープへの記録時間は約6.5秒です。
● 撮影中の音声はそのまま記録されます。

撮影一時停止から静止画撮影する

● リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画撮影が始まります。

1 撮影一時停止中
フォトボタンを
浅く押す

- ●が白色に点滅した後、ピント調整が終わると緑色の点灯に変わる。

● 露出がロックされます。

静止画撮影時のピントと●表示について

オートフォーカスのとき：

● ピントが合うと●は白色の点滅から、緑色の点灯に変わります。
● オートフォーカスの苦手な被写体など（📖 67）を撮影していて、白色の点滅のまま変わらないときがあります。
このようなときはフォトボタンを浅く押したまま、マルチダイヤルを回してピントを合わせてください（●は緑色の点灯に変わります）。

マニュアルフォーカスのとき：

● 最初から緑色の点灯になります。マルチダイヤルでピントを合わせてください。

2 フォトボタンを
深く押す

フォト

- ●が消える。
- 静止画撮影が始まる。
- 液晶画面／ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

動画を撮影中に静止画撮影する

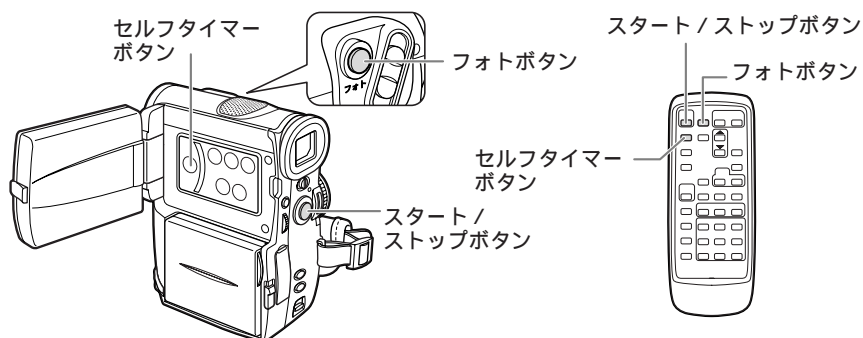
1 撮影中
フォトボタンを
深く押す

- 液晶画面／ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

静止画撮影は

- 約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。カセットが入っていれば、静止画撮影をしている約6.5秒間に電源スイッチを「切」にしても、撮影が終わるまで電源は切れません。
- 液晶画面／ビューファインダーで被写体が確認できる明るさで撮影してください。

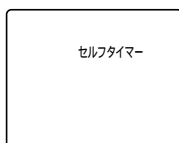
セルフタイマーで撮る

動画、静止画のどちらでも使用できます。対面撮影などのときに便利です。

動画を撮影するとき

1 撮影一時停止中

セルフタイマーボタンを

押す

または

- 「セルフタイマー」の表示が出る。

2 スタート／ストップボタンを

押す

- 撮影開始までの時間が表示され（10～1秒）、録画ランプが点滅する。

静止画を撮影するとき

1 撮影一時停止中

セルフタイマーボタンを

押す

- 「セルフタイマー」の表示が出る。

2 フォトボタンを

深く押す

- 撮影開始までの時間が表示され（10～1秒）、録画ランプが点滅する。
- 本体で操作したときは、撮影開始2秒前に◘が白色で点滅し、緑色の点灯に変わる。
  リモコンの場合は、すぐに点灯する。
  録画開始から約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

- 本体のスタート／ストップボタン、フォトボタンでは約10秒後、リモコンでは約2秒後に録画を開始します。
- セルフタイマーの動作を開始する前に解除するときは、セルフタイマーボタンを押してください。
- 撮影開始までの時間が表示されている間にセルフタイマーを解除するときは、セルフタイマーボタンまたはスタート／ストップボタン、フォトボタンを押してください。
- メニューで「おしらせブザー」が「入」のときは、撮影開始までブザーが鳴ります。

撮影場面や目的に合わせて撮る（プログラムAE）

撮影モードの選択

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選んでください。

● 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

撮影モード切り換えスイッチの位置	P □ → □	P □ ← P					
撮影モード	□(全自動)モード	オートモード	スポーツモード	ポートレートモード	スポットライトモード	サーフ&スノーモード	ローライトモード
シャッタースピード	オート	○	オート				
ピント合わせ	オート	○					
露出	オート	○					
ホワイトバランス	オート	○					
手ぶれ補正（入/切）	入	○					
デジタルエフェクト	×	○					＊
16：9	×	○					

オート＝自動調整になります。
○＝操作できます。
×＝操作できません。
＊＝動画撮影時のローライトモードではカードミックスは使用できません。

□（全自動）モード

すべてをカメラまかせ。
ズームとスタート／ストップボタンを押すだけで簡単に撮影できるモードです。

オートモード

すべてをカメラまかせで撮影できるモードですが、細かく設定できます。

スポーツモード

ゴルフやテニスなどのスポーツをしている人の撮影に適しています。本機の特殊再生機能で、速い動きもクリアに再生できます。フォーム分析などにも便利です。

こんな時に使います

- 晴天下でテニスやゴルフなどのスポーツをしている人の撮影
- 走っている自動車や列車などの中から外を撮影するとき
- ジェットコースターなどの動きの速い乗り物の撮影などの場合

- スポーツモードでは、シャッタースピードが高速に設定されます。
  晴天の屋外や照明の十分な屋内など、明るい場所での撮影にご使用ください。
- スポーツモードは、静止画再生やスロー再生などの特殊再生を目的としたモードです。このため、通常のスピードで再生すると、被写体の動きがぎこちなくなります。

ポートレートモード

絞りを開くことにより、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。背景や被写体の手前にあるものをぼんやりとボカして撮影します。ポートレートモードでは、シャッタースピードは自動で調整されます。

こんな時に使います

- 屋外で被写体を引き立てて撮影する場合
- 奥行きのある映像の中で被写体を引き立てて撮影する場合
- ズームの望遠（T）側にすると、背景のボケの効果がより大きくなります。

- シャッタースピードが速めに設定されるため、被写体の動きが多少ぎこちない場合があります。

スポットライトモード

スポットライトなどの範囲の狭い照明が当たるシーンを鮮明に撮影することができます。

こんな時に使います

結婚式のスポットライトで照明されたシーンや、発表会の舞台などを撮影する場合

サーフ＆スノーモード

夏の海岸や冬の雪一面のスキー場など、周囲全体が明るい場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影することができます。

こんな時に使います

反射光が多くまぶしい海辺やスキー場などで撮影する場合

- 曇りや日陰など周囲が暗いときには被写体が明るくなり過ぎる場合があります。液晶画面/ビューファインダーで映像を確かめてください。
- シャッター速度が速めに設定されるため、被写体の動きが多少ぎこちない場合があります。

ローライトモード

明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。

こんな時に使います

多少暗いところや暗くても照明が使えないところで、動きの少ない被写体を撮影する場合

- ローライトモードでは動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
- ローライトモードでは明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 自動ではピントの合いにくいときがあります。

操作のしかた

1 撮影モード切り換えスイッチを
P にする

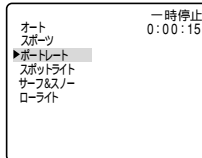
一時停止
0:00:15

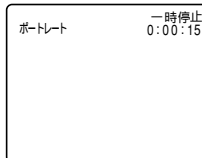
2 マルチダイヤルを
押す

▶オート
スポーツ
ポートレート
スポットライト
サーフ&スノー
ローライト
一時停止
0:00:15

- プログラムAEメニューが出る。

3 マルチダイヤルを
回す

オート
スポーツ
▶ポートレート
スポットライト
サーフ&スノー
ローライト
一時停止
0:00:15

- 撮影モードを選ぶ。

4 マルチダイヤルを
押す

- 選んだモード表示が出る。

5 スタート／ストップボタンを
押す

- 撮影が始まる。

- キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分を含む被写体)を撮影すると、縦に光の帯が出ることがあります。

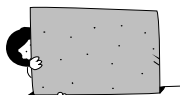
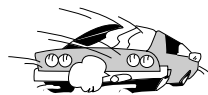
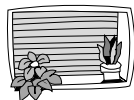
プログラムAEを使うときは

- 撮影中はプログラムAEモードを変えないでください。プログラムAEモードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。
- AEは自動露出の意味です。（Auto-Exposure）

手動でピントを合わせる

まれに自動調整ではピントが合いにくい場合がありますので、そのときには手動でピントを合わせてください。

自動ではピントが合いにくい被写体

● 輝いたり、強い光が反射している

● 白い壁など、明暗の差がない

● 動きが速い

● 横じまがある

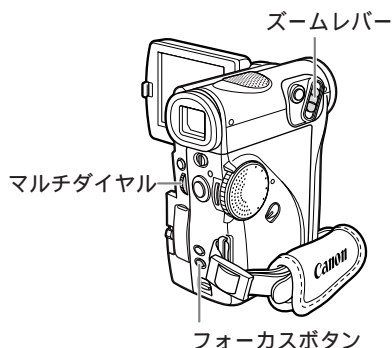
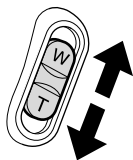
● 水滴や汚れの付いたガラス越し

● 遠くと近くに同時にある

● 暗い

● 夜景

手動でピントを合わせる−つづき

操作のしかた

1 ズームレバーを動かして
被写体を撮りたい大きさにする

● 手動でピントを合わせてから､ズームで大きさを変えると、ピントがずれることがあります。先にズームで大きさを決めてからピントを合わせます。

2 フォーカスボタンを
押す

● 「▶M.フォーカス」（水色）の表示が出る。

3 マルチダイヤルを回して
ピントを合わせる

ー遠くのものにピントを合わせるときー

下に回す

ー近くのものにピントを合わせるときー

上に回す

● 露出をロックしていると、手動でピント合わせができません（▶は出ません）。もう一度、フォーカスボタンを押してください。

自動ピント合わせに戻すとき

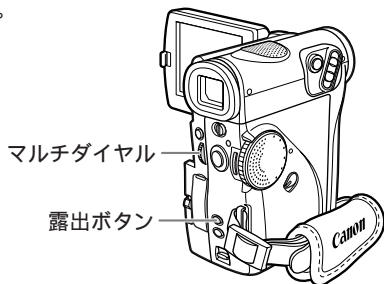
フォーカスボタンを
押す

● 「▶M.フォーカス」の表示が消える。

手動ピント合わせにしているとき

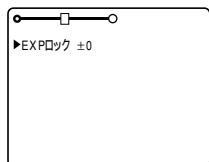
● 撮影モード切り換えスイッチを□（全自動）モードにすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードでは手動のままです。
● 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

手動で露出を調整する（露出ロック／露出補正）

被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまりに強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。
また、明るさを固定する（露出ロック）ことで、画面の明るさを変えずに晴れた屋外などを撮影することができます。

撮影のしかた

露出ロックを使う

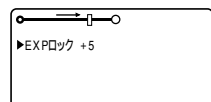
露出ボタンを

押す

- 画面の明るさが固定される。
- 「▶EXPロック」（水色）の表示が出る。

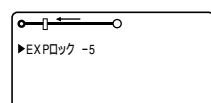
● 露出ロック中にズーム操作をすると、画面の明るさが変わることがあります。

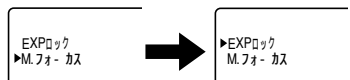
露出補正をするには

露出ロックをしてから
マルチダイヤルを上へ

回す

- 画面が明るくなる。

マルチダイヤルを下へ

回す

- 画面が暗くなる。

● 表示は、露出ロック時から、どれだけ補正されたかを示します。
● 手動でピントを合わせているときは、手動で露出補正ができません（▶は出ません）。もう一度、露出ボタンを押してください。

自動調整に戻すとき

● 露出ボタンを押すか、撮影モードを変えます。「EXPロック」の表示が消えます。

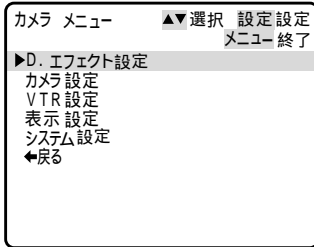
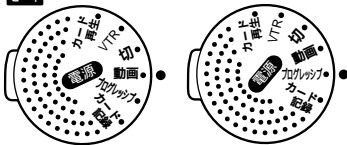
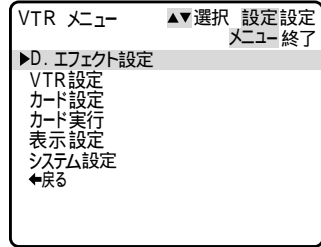
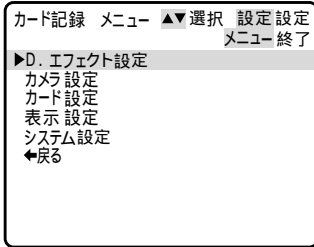
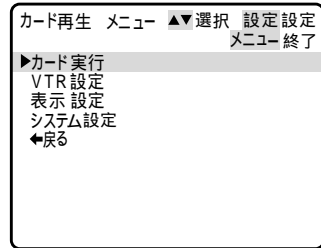
応用編

効果的に使う

ご購入時の設定を変える（メニュー）

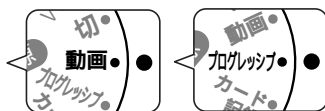
さまざまな機能を液晶画面／ビューファインダー上のメニューから選ぶことで、ご購入時の設定を変更できます。

メニューはカメラ（電源スイッチが「動画」「プログレッシブ」のとき）、VTR、カード記録、カード再生の4種類があります。

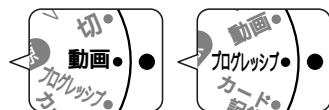
カメラメニュー（動画／静止画）：

VTRメニュー：

カード記録メニュー（静止画）：

カード再生メニュー：

● 本書では使用するメニューを下記のマークで示しています。

各項目の設定内容について

ご購入時には、太文字の内容に設定されています。

カメラメニュー（電源スイッチが「動画」と「プログレッシブ」のとき）

カメラメニュー 1

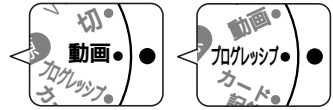
メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容		意味	どんなときに使う？
D.(デジタル)エフェクト設定	D.(デジタル)エフェクト選択	**OFF**		デジタルエフェクトを使わない。	詳しくは86ページへ
		フェーダー		フェーダーを使う。	
		エフェクト		エフェクトを使う。	
		マルチ画面		マルチ画面を使う。	
		カードミックス		カードミックスを使う。	
	フェーダーの選択	**オートフェード**		フェーダーの種類を選ぶ。	詳しくは87ページへ
		ワイプ			
		スクロール			
		モザイクフェード			
	エフェクトの選択	**アート**		エフェクトの種類を選ぶ。	詳しくは90ページへ
		シロクロ			
		セピア			
		モザイク			
	マルチ画面スピード	マニュアル		マルチ画面の取り込みスピードを選ぶ。	詳しくは93ページへ
		はやい			
		ふつう			
		おそい			
	マルチ画面数	**4**		マルチ画面の画面数を選ぶ。	詳しくは93ページへ
		9			
		16			
	➡カードミックス	ミックスタイプ	**カードクロマキー**	カードミックスの種類を選ぶ。	詳しくは140ページへ
			カードルミキー		
			カメラクロマキー		
		ミックスレベル		ミックスレベルを調整する。	詳しくは141ページへ
	戻る			メインメニューに戻る。	

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

カメラメニュー 2

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
カメラ設定	シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	「オート」はプログラムAEモードのときのみ
		オート以外	シャッタースピードを自分で設定する。	詳しくは98ページへ
	デジタルズーム	**入**	デジタルズームを使う。	詳しくは45ページへ
		切	デジタルズームを使わない。	
	手ぶれ補正	**入**	手ぶれを補正する。	
		切	手ぶれ補正が働かない。	三脚などを使うとき。詳しくは96ページへ
	16：9*	入	ワイドテレビ用に撮影する。	
		切	通常の4：3のテレビ用に撮影する。	
	ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	詳しくは102ページへ
		オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて撮影する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	

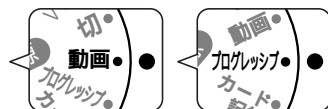
＊ デジタルズーム ―――― ● マルチ画面を設定しているとき、デジタルズームは使用できません（表示も「－ － －」になります）。

＊ 16:9 ―――――――― ● 横長画面（画面の横、縦の比率が16:9）のワイドテレビ用に撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくはテレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比率が4:3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式に対応しているテレビに接続すると、自動的にワイドテレビ用の画面に切り換わります。（📖 55、56）

● マルチ画面を設定しているとき、16：9は使用できません（表示も「－ － －」になります）。

カメラメニュー 3

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
VTR設定	録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	詳しくは97ページへ
		LP	LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。	
	ウィンドカット	**入**	風音などを低減する。	詳しくは101ページへ
		切	風音などを低減しない。	
	オーディオモード	16bit	1つのステレオ音声が高音質で記録できる。	高音質で音声を録音したいとき。
		12bit	2つのステレオ音声が記録できる。	アフレコなどをするとき。
	戻る		メインメニューに戻る。	
表示設定	LCDあかるさ調整*		液晶画面の明るさを調整する。マルチダイヤルを上に回して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。	液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたとき。
	対面撮影	**ミラー**	対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。	詳しくは57ページへ
		ノーマル	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。	
	オンスクリーン	**入**	液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。	モニターテレビで情報を確認しながら撮影するとき。
		切	液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
	日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	詳しくは44ページへ
		切	エリアと日時を表示しない。	
	戻る		メインメニューに戻る。	

＊ LCDあかるさ調整 ―― 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

カメラメニュー 4

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
システム設定	リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	編集など2台のキヤノン製ビデオカメラを操作するときの誤動作を防ぐとき。詳しくは111ページへ
		2	コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
		切	リモコンの信号を受け付けない。	
	録画ランプ*	**入**	撮影中に録画ランプが点滅する。	撮影者や被写体にカメラが撮影中であることを伝えるとき。
		切	撮影中に録画ランプが点滅しない。	ガラス越しやクローズアップの撮影時など録画ランプがガラスや被写体に写ってしまうとき。
	おしらせブザー	**入**	電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。	
		切	ブザーが鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
	エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	詳しくは38ページへ
	日時設定*		日時を設定する。	詳しくは42ページへ
	戻る		メインメニューに戻る。	
戻る			メニュー画面を終わる。	

＊ 録画ランプ ―――― 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。

＊ 日時設定 ―――― 日時表示は、画面中には録画されません。設定後や電源スイッチを「切」から「動画」、「プログレッシブ」、「カード記録」にしたとき、設定エリアも約4秒間、表示されます。

VTRメニュー（電源スイッチが「VTR」のとき）

VTRメニュー 1

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
D.(デジタル)エフェクト設定	D.(デジタル)エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを使わない。	詳しくは86ページへ
		フェーダー	フェーダーを使う。	
		エフェクト	エフェクトを使う。	
		マルチ画面	マルチ画面を使う。	
	フェーダーの選択	**オートフェード**	フェーダーの種類を選ぶ。	詳しくは87ページへ
		ワイプ		
		スクロール		
		モザイクフェード		
	エフェクトの選択	**アート**	エフェクトの種類を選ぶ。	詳しくは90ページへ
		シロクロ		
		セピア		
		モザイク		
	マルチ画面スピード	マニュアル	マルチ画面の取り込みスピードを選ぶ。	詳しくは93ページへ
		はやい		
		ふつう		
		おそい		
	マルチ画面数	**4**	マルチ画面の画面数を選ぶ。	詳しくは93ページへ
		9		
		16		
	戻る		メインメニューに戻る。	

応用編

効果的に使う

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

VTRメニュー 2

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
VTR設定	録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	詳しくは97ページへ
		LP	LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。	
	バイリンガル	**メイン+サブ**	ステレオ音声または主+副音声を再生する。	詳しくは124ページへ
		メイン	左音声または主音声を再生する。	
		サブ	右音声または副音声を再生する。	
	アフレコ入力	**音声入力**	オーディオ機器からアフレコする。	詳しくは121ページへ
		マイク入力	内蔵/外部マイクからアフレコする。	
	ウィンドカット	**入**	風音などを低減する。	詳しくは101ページへ
		切	風音などを低減しない。	
	オーディオモード*	16bit	1つのステレオ音声が高音質で記録できる。	
		12bit	2つのステレオ音声が記録できる。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
カード設定	画質	**ファイン**	メモリーカードに高画質で記録する。	詳しくは128ページへ
		スタンダード	メモリーカードに標準画質で記録する。	
	番号リセット	する	ファイルが空のメモリーカードを使ったときのファイル番号をリセットして新しい番号にする。	詳しくは129ページへ
		しない	ファイルが空のメモリーカードを使ったときのファイル番号をリセットしないで続きの番号にする。	
	戻る		メインメニューに戻る。	

＊ オーディオモード —— DV端子付きビデオから録画するときは設定できません。

VTRメニュー 3

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
カード実行	コピー [→]	**キャンセル**	テープに記録した静止画をフォトサーチしてメモリーカードに記録する。	詳しくは144ページへ
		実行		
	戻る		メインメニューに戻る。	
表示設定	LCDあかるさ調整＊		液晶画面の明るさを調整する。マルチダイヤルを上に回して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。	液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたとき。
	再生時もじ表示*	**入**	再生時に画面に文字が出る。	
		切	再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。	
	日付オート表示*	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。	
		切	(約6秒間の)日付表示をしない。	

＊ LCDあかるさ調整 ―― 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。

＊ 再生時もじ表示 ―― 「切」にすると、再生中のみ文字表示を消すことができます。「切」に設定して約2秒後に液晶画面の表示は消えます。液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。「切」にしていても再生が始まると、約2秒間表示が出ます。再生画が出ていないときは、表示は出ます。

＊ 日付オート表示 ―― 「入」のとき、「再生時もじ表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

VTRメニュー 4

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
表示設定	データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	詳しくは110ページへ
		カメラデータ	カメラデータを表示する。	
		日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
	日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。	詳しくは109ページへ
		時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
		日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
システム設定	リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	編集など2台のキヤノン製ビデオカメラを操作するときの誤動作を防ぐとき。 詳しくは111ページへ
		2	コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
		切	リモコンの信号を受け付けない。	
	おしらせブザー	**入**	電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。	
		切	ブザーが鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
	戻る		メインメニューに戻る。	
戻る			メニュー画面を終わる。	

カード記録メニュー（電源スイッチが「カード記録」のとき）

カード記録メニュー 1

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
D.(デジタル)エフェクト設定	D.(デジタル)エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを使わない。	詳しくは86ページへ
		エフェクト	エフェクトを使う。	
		マルチ画面	マルチ画面を使う。	
	エフェクトの選択	**アート**	エフェクトの種類を選ぶ。	詳しくは90ページへ
		シロクロ		
		セピア		
		モザイク		
	マルチ画面スピード	マニュアル	マルチ画面の取り込みスピードを選ぶ。	詳しくは93ページへ
		はやい		
		ふつう		
		おそい		
	マルチ画面数	**4**	マルチ画面の画面数を選ぶ。	詳しくは93ページへ
		9		
		16		
	戻る		メインメニューに戻る。	
カメラ設定	シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	「オート」はプログラムAEモードのときのみ。
		オート以外	シャッタースピードを自分で設定する。	詳しくは98ページへ
	デジタルズーム*	**入**	デジタルズームを使う。	
		切	デジタルズームを使わない。	
	手ぶれ補正	**入**	手ぶれ補正をする。	
		切	手ぶれ補正が働かない。	三脚などを使うとき。詳しくは96ページへ

＊ デジタルズーム ――― ● マルチ画面を設定しているとき、デジタルズームは使用できません（表示も「― ― ―」になります）。

応用編

効果的に使う

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

カード記録メニュー 2

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
カメラ設定	ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	詳しくは102ページへ
		オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて撮影する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
カード設定	画質	**ファイン**	メモリーカードに高画質で記録する。	詳しくは128ページへ
		スタンダード	メモリーカードに標準画質で記録する。	
	番号リセット	する	ファイルが空のメモリーカードを使ったときにファイル番号をリセットして新しい番号にする。	詳しくは129ページへ
		しない	ファイルが空のメモリーカードを使ったときにファイル番号をリセットしないで続きの番号にする。	
	シャッター音	**入**	静止画を記録するときに確認のためにシャッターの音を出す。	
		切	静止画を記録するときに確認のためのシャッターの音を出さない。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
表示設定	LCDあかるさ調整*		液晶画面の明るさを調整する。マルチダイヤルを上に回して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。	液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたとき。
	対面撮影	**ミラー**	対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。	詳しくは57ページへ
		ノーマル	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。	

＊ LCDあかるさ調整 —— 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。

カード記録メニュー 3

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
表示設定	オンスクリーン	**入**	液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。	モニターテレビで情報を確認しながら撮影するとき。
		切	液晶画面/ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
	日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	詳しくは44ページへ
		切	エリアと日時を表示しない。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
システム設定	リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	編集など2台のキヤノン製ビデオカメラを操作するときの誤動作を防ぐとき。 詳しくは111ページへ
		2	コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
		切	リモコンの信号を受け付けない。	
	おしらせブザー	**入**	電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。	
		切	ブザーが鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
	エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	詳しくは38ページへ
	日時設定*		日時を設定する。	詳しくは42ページへ
	戻る		メインメニューに戻る。	
戻る			メニュー画面を終わる。	

＊ 日時設定 ―――――― 日時表示は、画面中には録画されません。設定後や電源スイッチを「動画」「プログレッシブ」「カード記録」にしたとき、設定エリアも約4秒間、表示されます。

ご購入時の設定を変える（メニュー）ーつづき

カード再生メニュー（電源スイッチが「カード再生」のとき）

カード再生メニュー 1

メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
カード実行	→インデックス画面		インデックス表示画面へ	詳しくは135ページへ
	→画像プロテクト		画像プロテクト設定画面へ	詳しくは136ページへ
	→プリントマーク		プリントマーク設定画面へ	詳しくは146ページへ
	コピー [→]	**キャンセル**	メモリーカードの静止画をテープに順次コピーする。	詳しくは145ページへ
		実行		
	画像消去	**キャンセル**	画像の消去をやめる。	詳しくは137ページへ
		1枚消去	1枚の画像を消去する。	
		全消去	メモリーカードにあるすべての画像を消去する（プロテクト設定したものを除く）。	
	フォーマット	**キャンセル**	メモリーカードのフォーマット(初期化）をやめる。	詳しくは148ページへ
		実行	メモリーカードをフォーマット(初期化）する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
VTR設定	録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	詳しくは97ページへ
		LP	LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
表示設定	LCDあかるさ調整*		液晶画面の明るさを調整する。マルチダイヤルを上に回して、明るさ表示の+にいくほど明るくなる。	液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたとき。

＊ LCDあかるさ調整 —— 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。
また、ビューファインダーの明るさは変わりません。

カード再生メニュー 2

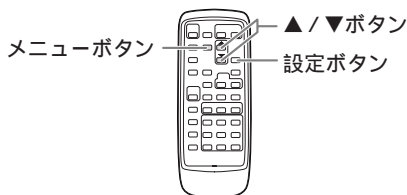
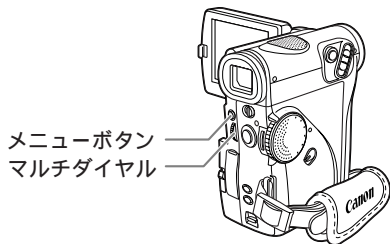
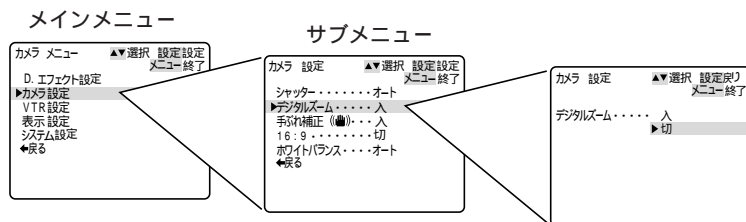
メインメニュー項目	サブメニュー項目	設定内容	意味	どんなときに使う？
表示設定	再生時もじ表示*	**入**	再生時に画面に文字が出る。	
		切	再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。	
	日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したと日付を表示する。	詳しくは109ページへ
		時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
		日付&時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
	戻る		メインメニューに戻る。	
システム設定	リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	編集など2台のキヤノン製ビデオカメラを操作するときの誤動作を防ぐとき。 詳しくは111ページへ
		2	コードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
		切	リモコンの信号を受け付けない。	
	おしらせブザー	**入**	電源を入れたり、録画を始めたり、結露などの警告を知らせるときなどにブザーが鳴る。	
		切	ブザーが鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
	戻る		メインメニューに戻る。	
戻る			メニュー画面を終わる。	

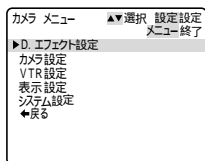
＊ 再生時もじ表示 ——— 「切」にすると、再生中のみ文字表示を消すことができます。
「切」に設定して約2秒後に液晶画面の表示は消えます。液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。
「切」にしていても再生が始まると、約2秒間表示が出ます。再生画が出ていないときは、表示は出ます。

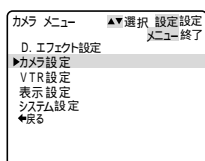
メニューの使いかた

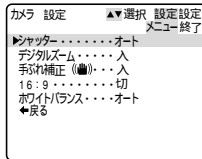
設定のしかた

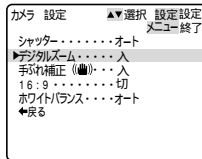
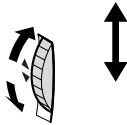
本体		リモコン		
マルチダイヤルを上に回す	⟷	▲ボタンを押す	→	項目や機能を選んだり、機能の設定を選びます。
マルチダイヤルを下に回す	⟷	▼ボタンを押す		
マルチダイヤルを押す	⟷	設定ボタンを押す	→	選んだ項目を決定して次の画面に移ったり、機能を設定します。

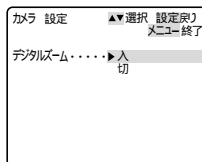
メニューで設定を変えるときは、順番に項目を選んでいきます。
例：カメラメニュー

- 選択や設定できる項目は黄色で、カードやテープの状態や他のメニューの設定などにより設定できない項目は紫色で「ーーーー」と表示されます。
- ここでは、電源スイッチをカメラモード（「動画」または「プログレッシブ」）にして、本体で操作する場合で説明しています。

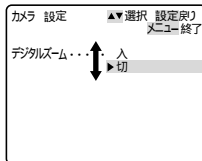
1 メニューボタンを
押す

- メインメニュー表示が出る。

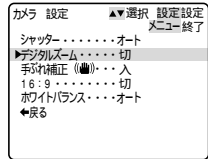
2 マルチダイヤルを
回す

- 項目を選ぶ。

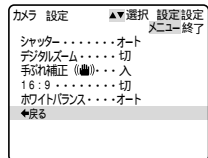
3 マルチダイヤルを**押す**

- 選んだ項目のサブメニューが出る。

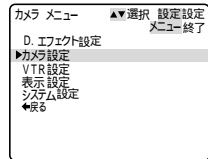
4 マルチダイヤルを**回す**

- 機能を選ぶ。

5 マルチダイヤルを**押す**

- 選んだ機能だけ表示される。

6 マルチダイヤルを**回す**

- 機能の設定を選ぶ。

7 マルチダイヤルを**押す**

- 機能を設定する。
- サブメニューに戻る。

8 マルチダイヤルを**回す**

- サブメニューの「戻る」を選ぶ。

9 マルチダイヤルを**押す**

- メインメニューになる。

10 メニューボタンを**押す**

- メニュー表示が消える。
- シャッタースピードとホワイトバランス以外の機能は、7の操作の代りに、メニューボタンを押しても設定できます。

● メニューの中の「戻る」を選択すると、ひとつ前のメニューに戻ります。メインメニューのときはメニューを終了します。

● メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

デジタルエフェクトには、4種類の機能があります。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

- フェーダー　　：テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます。（📖 87）
  オートフェード、ワイプ、スクロール、モザイクフェード
- エフェクト　　：色を変えたり特殊効果を加えることができます。（📖 90）
  アート、シロクロ、セピア、モザイク
- マルチ画面　　：画面を4/9/16分割して、静止画を表示します。映像を取り込むスピードを選択できます（はやい、ふつう、おそい、マニュアル）。（📖 93）
- カードミックス：メモリーカードに入っている静止画とカメラで撮影している画像を合成することができます。
  カードクロマキー、カードルミキー、カメラクロマキー
  カードミックスについては140ページを参照ください。

- 電源スイッチや撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

	カメラモード		VTR	カード	
	動画／プログレッシブ	静止画（フォト）		記録	再生
フェーダー	○	×	○	×	×
エフェクト	○	○	○	○	×
マルチ画面	○	○	○	○	×
カードミックス	○*	○	×	×	×

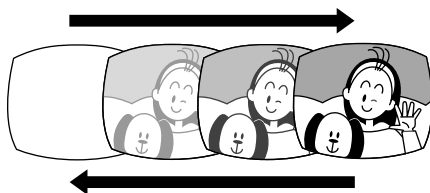
○＝使用できます
×＝使用できません
*＝動画モードではプログラムAEがローライトのときは使用できません

デジタルエフェクトは　カメラモード　VTRモード　カード記録

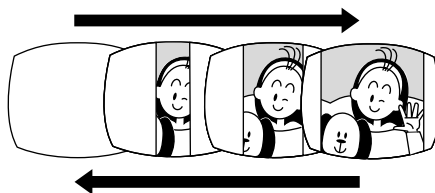
- デジタルエフェクトを使用しないときは、メニューの「D.エフェクト設定」サブメニューの「D.エフェクト選択」で「OFF」を選んでください。
- 一度設定したデジタルエフェクトは、電源スイッチを切っても憶えています（カードミックスの画像選択を除く）。
- VTRモードで再生画面が出ていないとき（停止中）は、デジタルエフェクトを選択できますが、入／切できません（表示は点滅のままです）。
- 再生中にデジタルエフェクトを使用しても、テープの記録内容は変わりません。
- DVケーブルを接続してダビングするとき（DV出力）には、デジタルエフェクトは使用できません。
- 日付サーチまたはフォトサーチ中には、デジタルエフェクトは使用できません。

● フェーダー

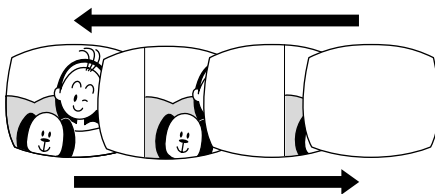
オートフェード

白い画面から、撮影している映像と音声が徐々にあらわれます。

撮影している映像が徐々に白くなり、映像と音声が消えます。

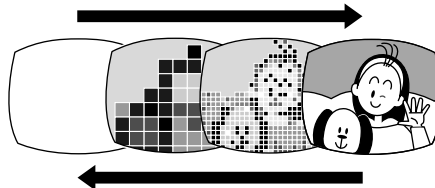
ワイプ

白い画面が左右に割れて映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。

左と右から白い部分が映像を覆い、画面が完全に白くなり、音声も消えます。

スクロール

白い部分が左に動き、映像が左に動きながらあらわれ、音声も聞こえるようになります。

左から白い部分があらわれ、映像が右に動きながら消え、音声も消えます。

モザイクフェード

白い画面からモザイクがあらわれ、モザイクが小さくなり撮影している映像と音声が徐々にあらわれます。

撮影している映像が徐々にモザイクになります。モザイクが大きくなり映像と音声が消え、白い画面になります。

● デジタルエフェクトの設定は、リモコンでもできます。リモコンの▲はマルチダイヤルを上に回す、▼は下方向に回す、設定ボタンはマルチダイヤルを押すことと同じ機能です。

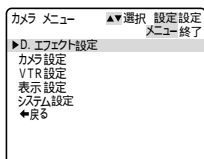
フェーダーの操作のしかた

フェードイン（白い画面から徐々に映像と音声を出す）：撮影一時停止中または静止画再生中に設定する

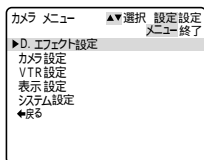
フェードアウト（映像と音声を徐々に消す）：撮影中または再生中に設定する

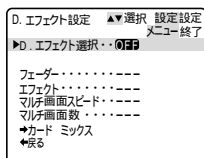
撮影時にフェーダーを使用するときは、撮影モード切り換えスイッチを P にしてください。

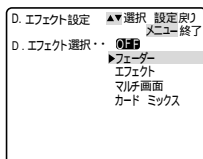
フェーダーを選ぶ

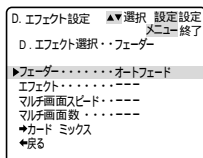
● ここでは「カメラモード」で説明しています。

1 メニューボタンを
押す

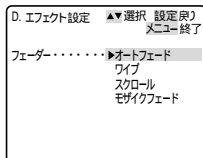
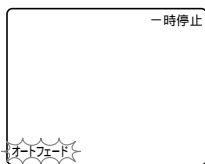
● メインメニューが出る。

2 メインメニューから
「D.エフェクト設定」を選ぶ

● 「D.エフェクト設定」サブメニューが出る。

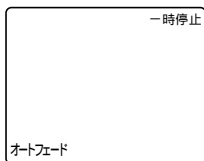
3 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「D.エフェクト選択」を選ぶ

● 「D.エフェクト選択」だけの表示になる。

4 **「フェーダー」を選ぶ**

● 「D.エフェクト設定」サブメニューに戻る。

5 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「フェーダー」を選ぶ

● 「フェーダー」だけの表示になる。

6 フェーダーの
種類を選ぶ

7 メニューボタンを **押す**

● メニューが消え、選んだフェーダーの表示が点滅する。

フェーダーを入／切する

8 D.エフェクト入/切ボタンを **押す**

● 選んだフェーダーの表示が点灯する。

● D.エフェクト入/切ボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

9

カメラモード

撮影一時停止中

フェードイン：スタート／ストップボタンを押す

撮影中

フェードアウト：スタート／ストップボタンを押す

VTRモード

静止画再生中

フェードイン：再生ボタンを押す

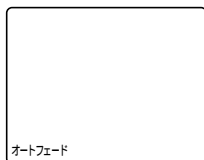
再生中

フェードアウト：一時停止ボタンを押す

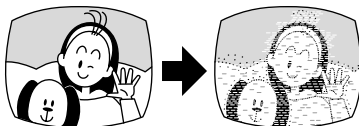
フェードイン

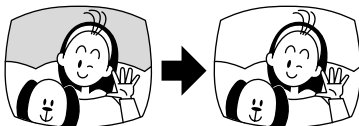
撮影（再生）が始まり、映像が徐々にあらわれる。

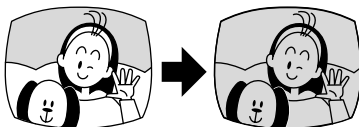
フェードアウト

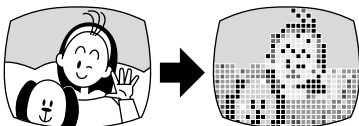
映像が消えて、撮影（再生）一時停止になる。

● エフェクト

アート

映像に絵画調の着色効果を加えます。

シロクロ

画面が白黒になります。

セピア

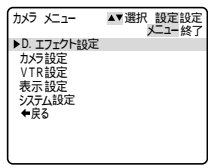
画面がセピアの色調になります。

モザイク

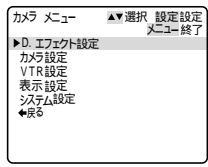
画面全体がモザイクでおおわれたようになります。

エフェクトの操作のしかた

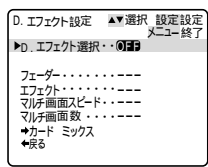
● 音声はそのまま記録されます。
撮影時にエフェクトを使用するときは、撮影モード切り換えスイッチを P にしてください。

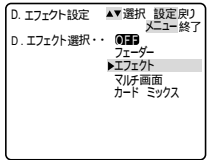
エフェクトを選ぶ

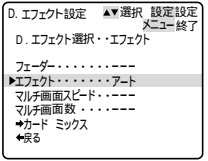
● ここでは「カメラモード」で説明しています。

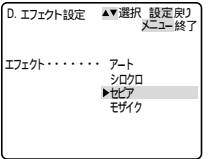
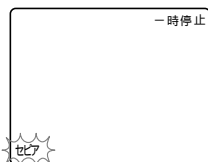
1 メニューボタンを
押す

● メインメニューが出る。

2 メインメニューから
「D.エフェクト設定」を選ぶ

● 「D.エフェクト設定」サブメニューが出る。

3 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「D.エフェクト選択」を選ぶ

● 「D.エフェクトの選択」だけの表示になる。

4 **「エフェクト」を選ぶ**

● 「D.エフェクト設定」サブメニューに戻る。

5 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「エフェクト」を選ぶ

● 「エフェクト」だけの表示になる。

6 エフェクトの
種類を選ぶ

7 メニューボタンを
押す

- メニューが消え、選んだエフェクトの表示が点滅する。

エフェクトを入／切する

カメラモード

1 D.エフェクト入／切ボタンを
押す

- 選んだエフェクトの表示が点灯になり、画面がその効果になる。

VTRモード

1 再生ボタンを
押す

2 D.エフェクト入/切ボタンを
押す

- 表示が点灯になり、画面がその効果になる。

● D.エフェクト入／切ボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

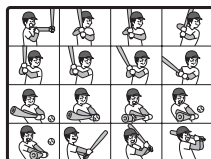
マルチ画面を使う

マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

分割する画面数（4／9／16）や映像を取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
マニュアル：手動で映像を取り込む
はやい：　4フレームごと
ふつう：　6フレームごと
おそい：　8フレームごと

4分割

9分割

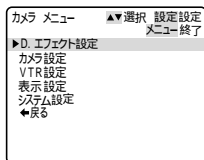
16分割

マルチ画面の操作のしかた

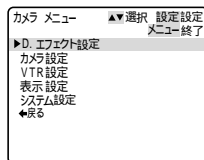
撮影時にマルチ画面を使用するときは、撮影モード切り換えスイッチを P にしてください。
再生時には、次の動作中のみ使用できます。
「マルチ画面スピード」が「マニュアル」のとき：スロー再生（正逆両方向）、静止画再生
「マルチ画面スピード」が「マニュアル」以外のとき：静止画再生

マルチ画面を選ぶ

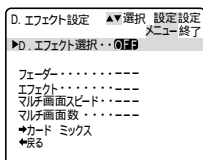
● ここでは「カメラモード」で説明しています。

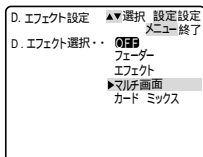
カメラモード　VTRモード　カード記録

1 メニューボタンを
押す

● メインメニューが出る。

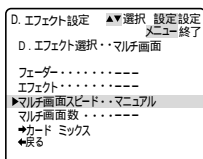
2 メインメニューから
「D.エフェクト設定」を選ぶ

● 「D.エフェクト設定」サブメニューが出る。

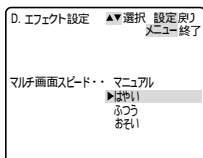
マルチ画面を使う-つづき

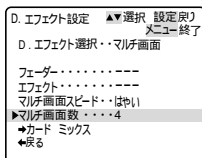
3 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「D.エフェクト選択」を選ぶ

- 「D.エフェクト選択」だけの表示になる。

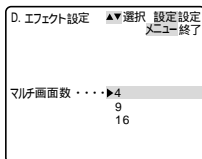
4
「マルチ画面」を選ぶ

- 「D.エフェクト設定」サブメニューに戻る。

マルチ画面スピードを選ぶ

5 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「マルチ画面スピード」を選ぶ

- 「マルチ画面スピード」だけの表示になる。

6
取り込みスピードを選ぶ

画面数を選ぶ

7 「D.エフェクト設定」サブメニューから
「マルチ画面数」を選ぶ

- 「マルチ画面数」だけの表示になる。

8
画面数を選ぶ

9 メニューボタンを
押す

- メニューが消え、マルチ画面の表示が点滅する。

マルチ画面を入／切する

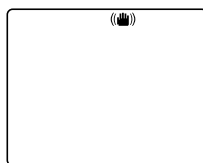
1 D.エフェクト入/切ボタンを **押す**

- **マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合：**
  選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込む。
  D.エフェクト入/切ボタンを押すと、マルチ画面は解除される。

- **マルチ画面スピードが「マニュアル」の場合：**
  D.エフェクト入/切ボタンを押すごとに画像を取り込む。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消える。
  D.エフェクト入/切ボタンを１秒以上押し続けると、取り込んだ最後の映像から順に解除されていく。

- 録画中でも、操作できます。
- D.エフェクト入／切ボタンをもう一度押すと、マルチ画面は解除されます。
- マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合、VTRモードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生／一時停止ボタンなど）を押したり、日付サーチまたはフォトサーチを行うと、マルチ画面は解除されます。

手ぶれ補正を解除する（手ぶれ補正機能）

手ぶれ補正機能が動作していると、ズームの望遠側で撮るときなど手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除することもできます。ビデオカメラを左右に動かして撮影するときなどには、その動きを補正しようとします。手ぶれ補正を解除するとその補正が効かなくなります。撮影モード切り換えスイッチが□（全自動）モードのときは、手ぶれ補正は解除できません。

カメラモード　カード記録

ご購入時には「手ぶれ補正」は「入」に設定されています。
手ぶれ補正を解除するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「手ぶれ補正」を「切」に設定してください（📖 72）。

- 手ぶれ補正の((✋))が消えます。
- 一度「切」にした手ぶれ補正機能を「入」にするには、メニューで設定し直すか、撮影モード切り換えスイッチを□（全自動）にしてください。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- ローライトモードでは、手ぶれ補正がききにくくなります。

三脚などを使用して撮影をするときは

- 手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

録画モードを選ぶ

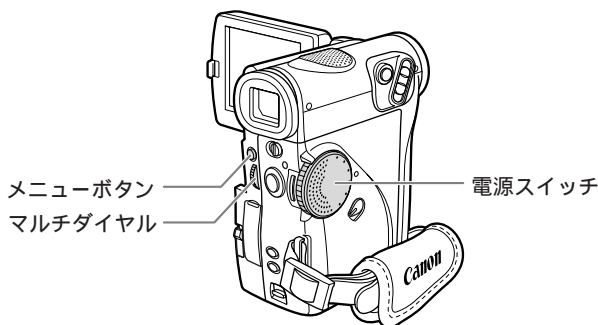
SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードはSPモードの録画時間の1.5倍になります。

LPモードで記録したテープは、アフレコとAVインサートができません。

LPモードについて

LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。
大切な撮影にはSPモードをお使いください。

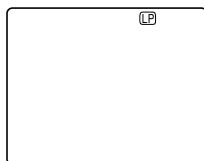
● 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。

● テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

カメラモード VTRモード

ご購入時には「録画モード」は「SP」に設定されています。
LPモードに変更するときは、メニューの「VTR設定」サブメニューの「録画モード」を「LP」に設定してください（📖 73）。

● 「LP」の表示が出ます。

応用編

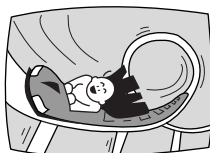
効果的に使う

速い動きを撮る（シャッタースピード）

プログラムAEのオートモード時に、シャッタースピードを手動で設定し、スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をぶれの少ない画面で撮影することができます。
6段階のシャッタースピード（1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒）がありますので、下記の目安を参考にして選んでください。

高速シャッターで撮影するときの目安
※1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。

- 晴天下で、テニスやゴルフなどスポーツをしている人を撮影するとき

1/2000秒

- 自動車や列車などから外を撮影するとき
- ジェットコースターなど動きの速い乗り物を撮影するとき

1/1000秒、1/500秒
または1/250秒

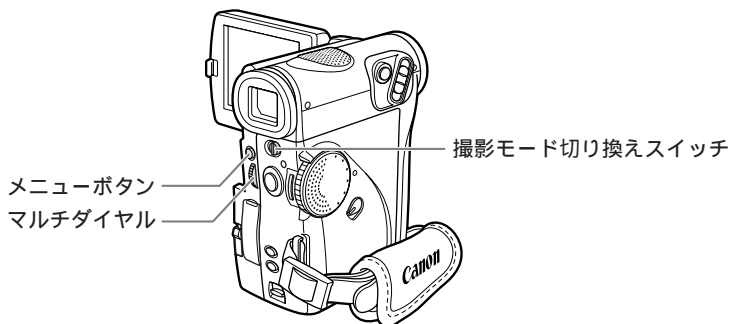
- 屋内でスポーツをしている人を撮影するとき

1/100秒

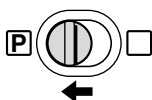
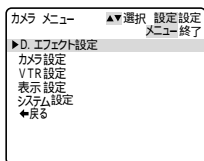
蛍光灯の下での撮影について

□（全自動）モードとプログラムAEのオートモードでは、蛍光灯のちらつきを自動的に検出し、自動的にシャッタースピードが切り換わりますので、通常ちらつきはでませんが、液晶画面／ビューファインダーの明るさがちらつくときは、オートモードを選び1/100秒の高速シャッターを選んでください。

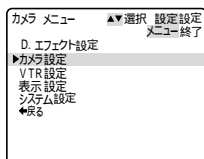
- 高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。

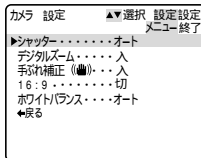
操作のしかた

撮影一時停止中 カメラモード カード記録

● ここでは「カメラモード」で説明しています。

1 撮影モード切り換えスイッチを
Pにし、オートモードを選ぶ (□ 63)

2 メニューボタンを
押す

● メインメニューが出る。

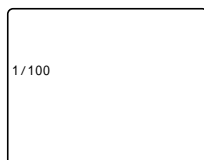
3 メインメニューから
「カメラ設定」を選ぶ

●「カメラ設定」サブメニューが出る。

4 「カメラ設定」サブメニューから
「シャッター」を選ぶ

●「シャッター」だけの表示になる。

5 **シャッタースピードを選ぶ**

6 シャッタースピードを設定する

- 「カメラ設定」サブメニューに戻る。

7 メニューボタンを押す

- メニュー表示が消える。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

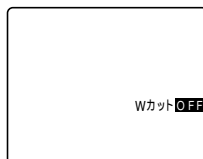
● プログラムAEモードを切り換えたり、撮影モード切り換えスイッチを□（全自動）にすると、シャッタースピードはオートに戻ります。

風音低減機能（ウィンドカット）

常に風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を低減することができます。

カメラモード VTRモード

ご購入時には、「ウィンドカット」は「入」に設定されています。
風の音の影響のない室内で撮影するときは、メニューの「VTR設定」サブメニューの「ウィンドカット」を「切」に設定してください（📖 73）。

● 「WカットOFF」の表示が出ます。

「切」を選んだとき

● ウィンドカット機能が作動すると、収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。
● 撮影中は、モードの変更はできません。変更するときは、スタート／ストップボタンを押して撮影一時停止にして行います。
● 撮影時だけでなく、アフレコをするときにも、ウィンドカット機能は入／切できます。
● ドッキングユニットDU-300のマイク（外部マイク）端子にマイクを接続したときは、ウィンドカット機能は使用できません（WカットOFFの表示は出ません）。

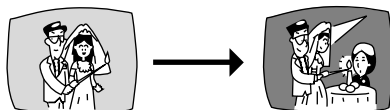
応用編

効果的に使う

色合いを調整する（ホワイトバランス）

白い紙は、いつも白く見えているようですが、蛍光灯、太陽光など光が変わると色は微妙に変わっています。人の目は順応性がありますので、その微妙な色の違いを同じ色として見ています。ビデオカメラではこのような順応性がないため、そのままでは光によって、画面が青くなったり、赤くなってしまいます。そこで、白い紙が白く映るように調整するのが、ホワイトバランスの調整です。
本機では、自動的に自然な色合いに調整するオートホワイトバランスのほかに、手動で調整するホワイトバランスセット、さらに屋内（☼）と屋外（☀）の機能を選択することができます。

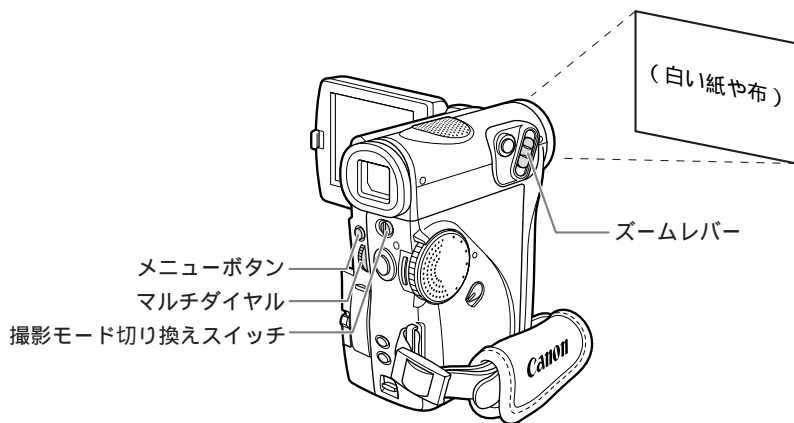
自動では色合いの調整がしにくい場合

次のような場合は自動では色合いを調整できないことがあります。液晶画面／ビューファインダーで色が不自然に見えるときは、手動で調整をしてください。

● 照明条件が急に変わるとき

● クローズアップ撮影をするとき

● 単一の被写体（空、海、森など）を撮影するとき

● 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

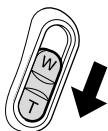
操作のしかた

ホワイトバランスセット

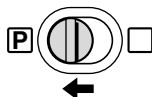
撮影一時停止中 カメラモード カード記録

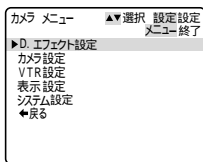
● ここでは「カメラモード」で説明しています。

1 ズームなどを使って白い紙や布を液晶画面／ビューファインダーいっぱいに写す

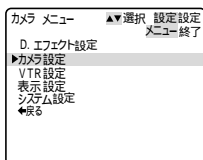
- 操作7が終るまで、白い紙を写し続けてください。
- ボタンをT側へ

押す

2 撮影モード切り換えスイッチを

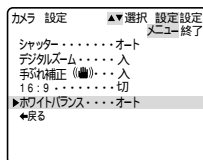
Ⓟにする （🕮 63）

3 メニューボタンを

押す

- メインメニューが出る。

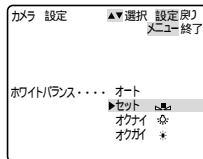
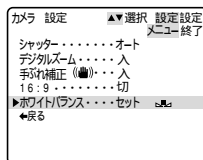
4 メインメニューから

「カメラ設定」を選ぶ

- 「カメラ設定」サブメニューが出る。

5 「カメラ設定」サブメニューから

「ホワイトバランス」を選ぶ （🕮 72）

- 「ホワイトバランス」だけの表示になる。

6 **設定を選ぶ**

- ▶を「セット」に合わせる。

7 **設定する**

- サブメニューに戻り、「セット」が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わる。

8 メニューボタンを押す

- メニュー表示が消える。
- 「▲」の表示が出る。
- ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。

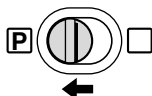
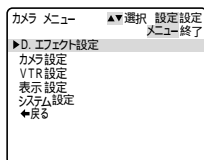
- 撮影モード切り換えスイッチを□（全自動）にした場合、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。
- 一度設定したホワイトバランスは、電源を切っても憶えています。

手動で色合いの調整をするときは
- 照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
- 「カメラ設定」サブメニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。

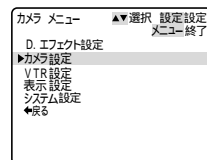
屋内、屋外用の設定をする

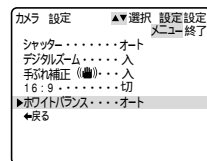
撮影一時停止中 カメラモード カード記録

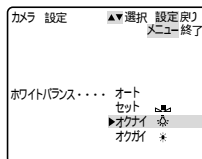
● ここでは「カメラモード」で説明しています。

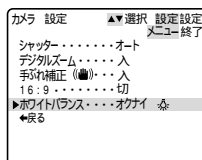
1 撮影モード切り換えスイッチを
Ⓟにする

2 メニューボタンを
押す

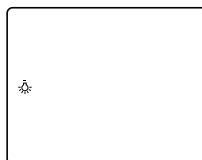
● メインメニューが出る。

3 メインメニューから
「カメラ設定」を選ぶ

● 「カメラ設定」サブメニューが出る。

4 「カメラ設定」サブメニューから
「ホワイトバランス」を選ぶ

● 「ホワイトバランス」だけの表示になる。

5 **設定を選ぶ**

● 撮影する場所に合わせて「オクガイ☀」または「オクナイ💡」を選ぶ。

6 **設定する**

● サブメニューに戻る。

7 メニューボタンから
押す

● メニュー表示が消える。
● 選択した機能表示が出る。

「オクナイ」「オクガイ」はこんなときに使います

「オクナイ💡」

● パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
● スタジオなどビデオライトの照明で撮るとき
● ナトリウムランプの照明で撮るとき

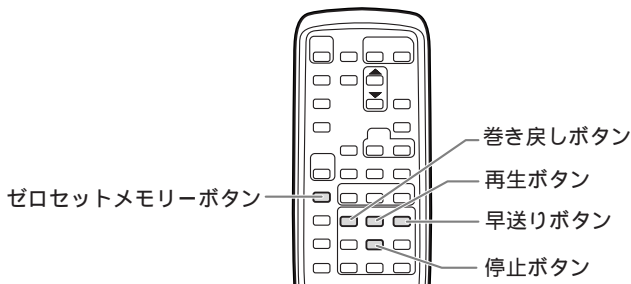
「オクガイ☀」

● 夜景や花火などを撮るとき
● 朝日や夕焼けなどを撮るとき

＊ 通常の屋外では「オート」を使った方がきれいに撮影できます。

見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう1度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻き戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。

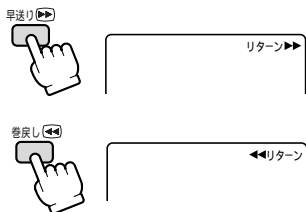
● ゼロセットメモリーは、カメラモードでも設定できます。

操作のしかた

1 再生中にあとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを
押す

- カウンター表示が「0：00：00」になり、Ⓜの表示が出る。
- ゼロセットメモリーボタンをもう1回押すと、ゼロセットメモリーが解除される。

2 再生が終わったら、停止■ボタンを
押す

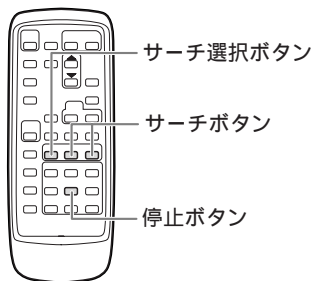
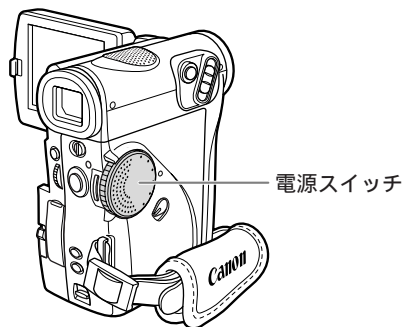
3 早送り▶▶ボタンまたは巻戻し◀◀ボタンを
押す

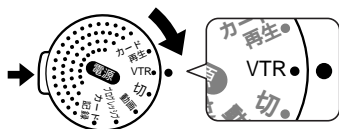
- カウンター表示に「－」がついているときは早送りボタンを、「－」がついていないときは巻戻しボタンを押す。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止し、カウンター表示がタイムコードにもどり、Ⓜが消える。

4 再生▶ボタンを
押す

ゼロセットメモリー機能は

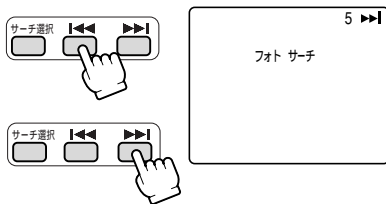
- カウンター表示は、タイムコード（撮影時間表示）とテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
- タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
- カセットを取り出すと、ゼロセットメモリーが解除され、カウンター表示がタイムコードに戻ります。

テープに記録した静止画を探す（フォトサーチ）

テープに記録した静止画を探すことができます。また撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分を簡単に探し出せます。

操作のしかた

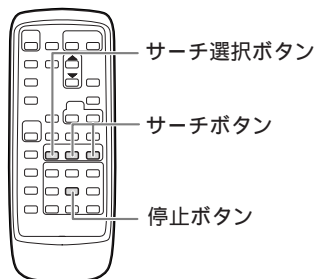
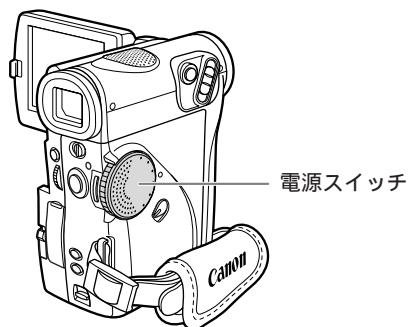
1 電源スイッチを
「VTR」にする

2 リモコンのサーチ選択ボタンで
フォトサーチを選択する

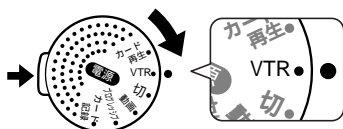
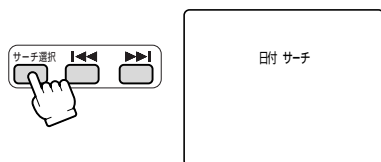
- 「フォトサーチ」の文字が出る。

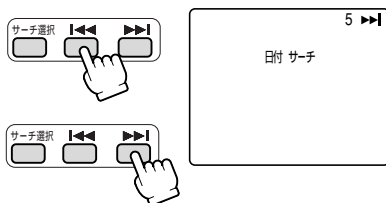
3 リモコンの⏮または⏭を
押す

- フォトサーチでは⏭は正方向、⏮は逆方向のサーチになる。
- 押した数だけ前／後ろの静止画（最多10枚まで）の頭出しになる。
- サーチの方向を変えるときは、停止■ボタンでサーチを止めてから⏭または⏮を押す。
- サーチを止めるときは停止■ボタンを押す。

サーチを始めた部分のすぐ近くの静止画は
- 頭出しされないことがあります。

撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（🕮 109）を使って撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。

操作のしかた

1 電源スイッチを
「VTR」にする

2 リモコンのサーチ選択ボタンで
日付サーチを選択する

- 「日付サーチ」の文字が出る。

3 リモコンの⏮または⏭を
押す

- 日付サーチでは、日付をさかのぼるときは⏮ボタンを、日付を進めるときは⏭ボタンを押す。
- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになる。
- サーチの方向を変えるときは、停止■ボタンでサーチを止めてから⏭または⏮を押す。
- サーチを止めるときは停止■ボタンを押す。

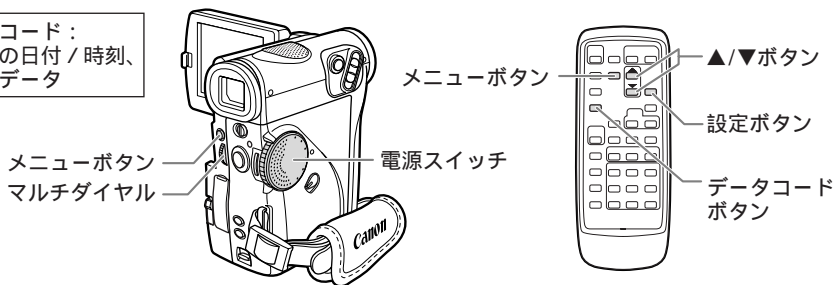
日付サーチを行うときは

- 1日／1エリア当たり約1分以上の記録部分が必要です。
- 日付サーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。
- データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

あらかじめ日付と時刻を設定しておくと、撮影している映像とは別に、撮影時の日付／時刻を自動的に記録します。また撮影時のシャッタースピードと絞り値(F値)も同様に記録します（これをカメラデータと呼びます)。
テープを再生するときに、撮影時の日付／時刻、カメラデータを自由に表示することができます（カード再生時は、日付／時刻のみの表示になります)。

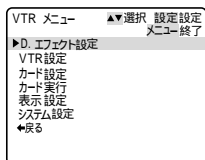
- 本機で撮影したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したときにはデータコードが表示できないことがあります。
- データコードは、正方向再生、逆方向再生*、2倍速再生（正逆両方向）*、スロー再生（正逆両方向)、静止画再生（正逆両方向)、早送り再生*、巻き戻し再生*中に表示します。
  ただし、カメラデータは*マークのついた動作中は、まれに「－－－－」になることがあります。

- ここでは「VTRモード」で説明しています。

1 メニューボタンを 押す

- メインメニューが出る。

2 メインメニューから 「表示設定」を選ぶ

- 「表示設定」サブメニューが出る。

日時の表示のしかたを選ぶ

3 「表示設定」サブメニューから 「日時選択」を選ぶ

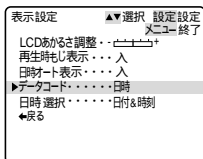
- 「日時選択」だけの表示になる。

4 日時の表示内容を選ぶ

データコードの表示内容を選ぶ

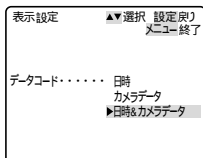
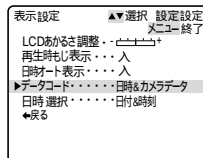
5 設定する

●「表示設定」サブメニューに戻る。

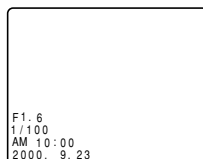
6 「表示設定」サブメニューから「データコード」を選ぶ

●「データコード」だけの表示になる。

7 データコードの表示内容を選ぶ

8 設定する

● サブメニューに戻る。

表示設定 ▲▼選択 設定設定 メニュー終了
LCDあかるさ調整・－＋
再生時もじ表示・・・入
日時オート表示・・・・入
▶データコード・・・・・・日時&カメラデータ
日時選択・・・・・・日付&時刻
←戻る

9 メニューボタンを押す

● メニュー表示が消える。

10 再生中 データコードボタンを押す

● データコード表示が出る。

データコード表示について

● メニューで設定する「日時選択」と「データコード」の内容により、データコードの表示内容は変わります。

「データコード」の設定

「日時選択」の設定	「日時」	「カメラデータ」	「日時＆カメラデータ」
「日付」	2000.12.30	F1.6 1/100	F1.6 1/100 2000. 9.23
「時刻」	AM 10:00:00	F1.6 1/100	F1.6 1/100 AM 10:00:00
「日付＆時刻」	AM 10:00 2000. 9.23	F1.6 1/100	F1.6 1/100 AM 10:00 2000. 9.23

2台のキヤノンビデオカメラを操作する（リモコンコード）

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、２台のリモコンコードを別にしてお使いください。

カメラモード VTRモード カード記録 カード再生

ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。
誤動作を防ぐためにはメニューの「システム設定」サブメニューで「リモコンコード」を「2」に変更してください。（□ 74）
「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。

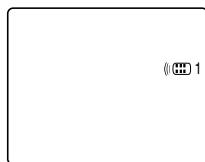
- 本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

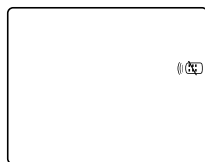
本機の受信コードを変更する

撮影一時停止中／再生停止中

システム設定メニューで
「リモコンコード」を「1」（または「2」）にする
（□ 76）

- 「1」（または「2」）の表示が約4秒間出る。

1

システム設定メニューで
「リモコンコード」「切」にする
（□ 76）

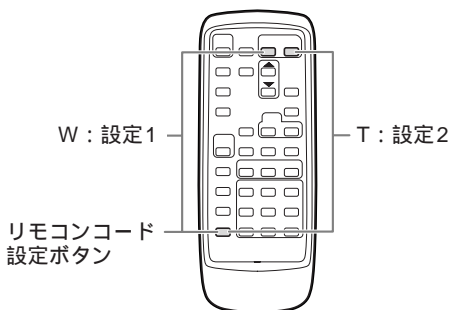
- 「切」を選ぶと、「」の表示が出る。

リモコンの送信コードを変更する

- 本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定１にする
リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押す

設定２にする
リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Ｔボタンを約2秒間押す

- リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。

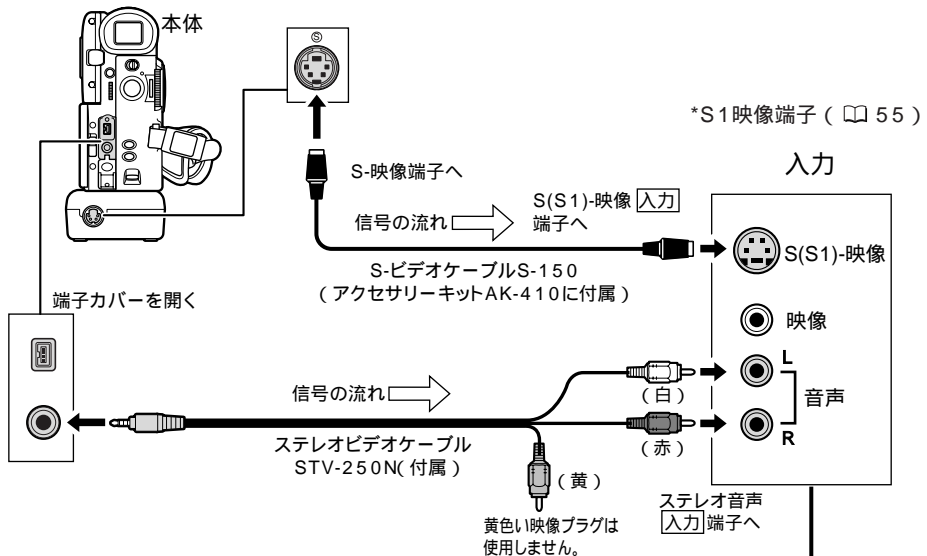
応用編
効果的に使う

ほかのビデオデッキへ録画する

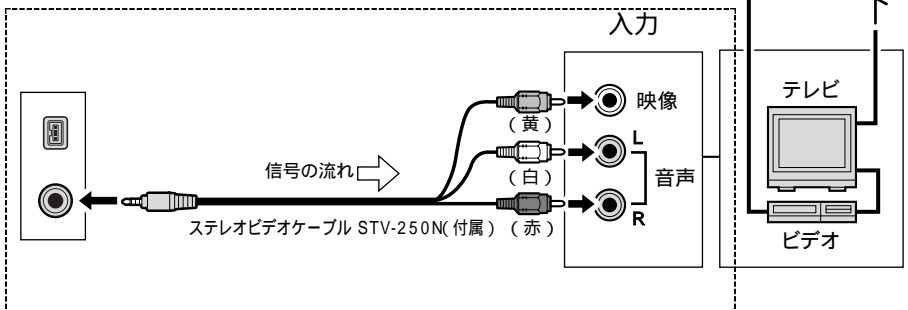
本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング・編集できます。録画側のビデオは、どの方式でも使えます。
また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

● S映像端子を使うときはドッキングユニットDU-300を本機に取り付けてください（📖 53）。

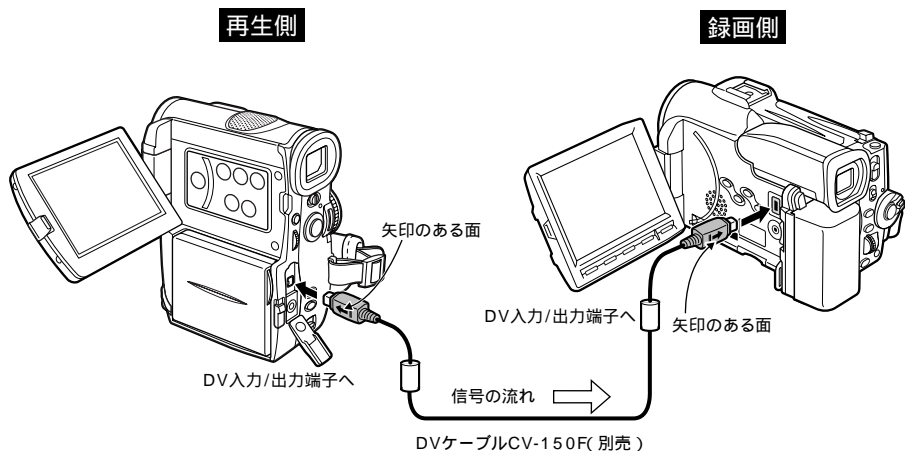
接続のしかた

S(S1*)-映像端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

映像／音声端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

DV端子付きビデオへ録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。（ 📖117）

- 再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

操作のしかた

本機 再生機 の操作

1 電源スイッチを
「VTR」にする

● 再生するカセットを入れる。

2 巻き戻しボタンまたは早送りボタンを
押して、
再生を始める少し手前の位置を探す

3 再生ボタンを
押す

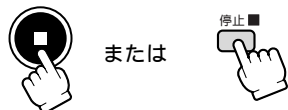
または

● 再生が始まる。

4 停止ボタンを
押す

または

● 再生が終わる。

ビデオデッキまたはＤＶ端子付きビデオ 録画機 の操作

1 録画用のカセットを
入れる

2 録画一時停止状態にする

3 録画を開始する場面で録画を
スタートする

4 録画を
終える

ダビング編集すると

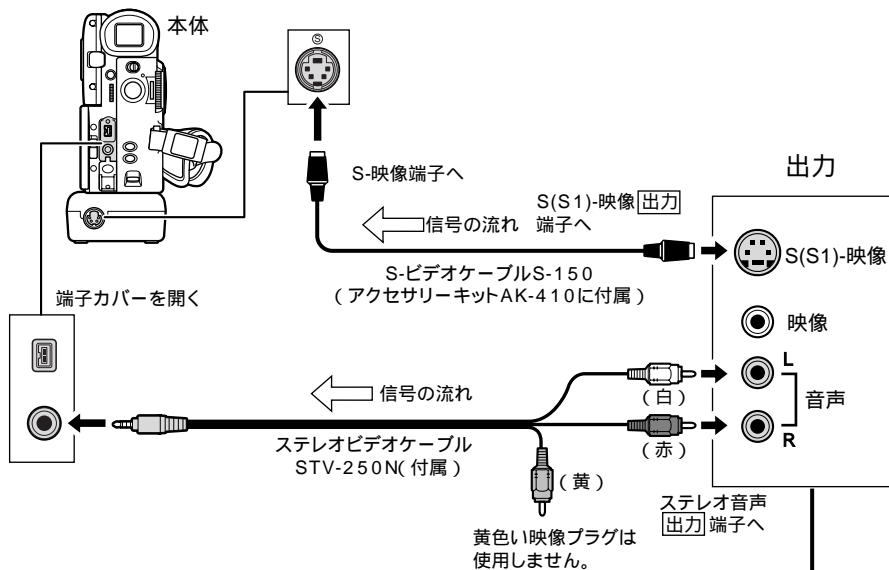
● ＤＶ端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣ります。

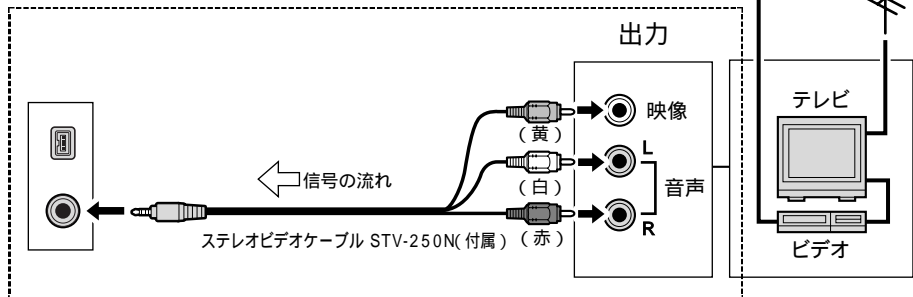
ほかのビデオやテレビの画像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオの画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。
テレビやビデオから出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープでは、ダビング録画できません。
● S映像端子を使うときはドッキングユニットDU-300を本機に取り付けてください。（📖 53）

接続のしかた

S（S1）-映像端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

映像／音声端子付きビデオから録画する

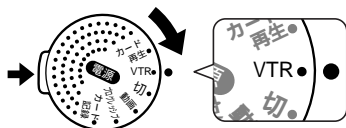
接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

応用編

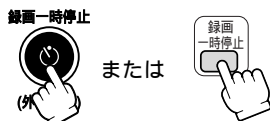
効果的に使う

本機を録画機として使用する場合

操作のしかた

本機 録画機 の操作

1 電源スイッチを
「VTR」にする

- 録画用のカセットを入れる。

2 録画一時停止ボタンを
押す

または

- 録画一時停止になる。
- 録画一時停止中、録画中は液晶画面/ビューファインダーで映像の確認ができます。

3 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
押す

または

- 録画が始まる。

4 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
押す

–録画を終えるとき–

または

- 録画が終わる。

–一時停止をするとき–

または

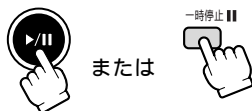
- 録画を再開するときはもう一回押す。

再生機 の操作

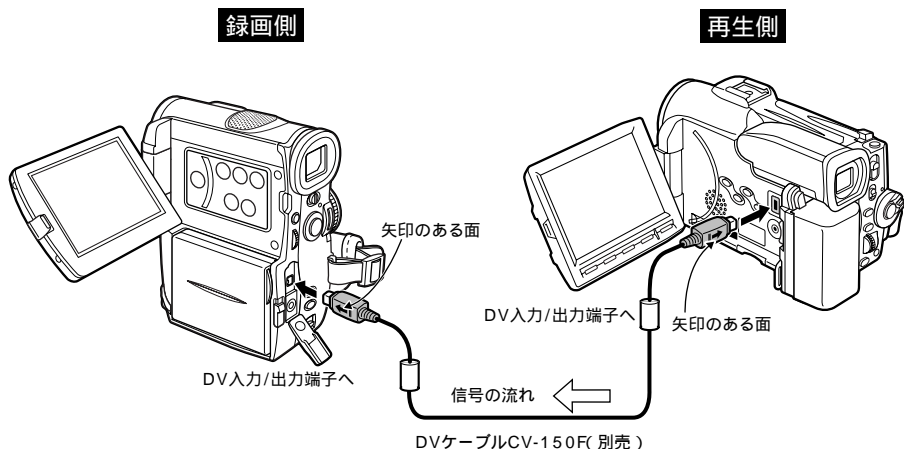
1 再生するカセットを
入れる

2 再生を
始める

再生

3

4 再生を
終える

DV端子付きビデオから録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
ビデオから出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープでは、ダビング録画できません。

- DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。
- 再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

本機を録画機として使用する場合

操作のしかた

本機 録画機 の操作

1 電源スイッチを
「VTR」にする

- 録画用のカセットを入れる。
- DV端子付きビデオとDVケーブルで接続されているときには、液晶画面/ビューファインダーに「DV入力」の表示が出る。

2 録画一時停止ボタンを
押す

録画一時停止

または

- 録画一時停止になる。
- 録画一時停止中、録画中は液晶画面/ビューファインダーで映像の確認ができます。

3 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
押す

または

一時停止 ❚❚

- 録画が始まる。

4 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
押す

–録画を終えるとき–

- 録画が終わる。

–一時停止をするとき–

または

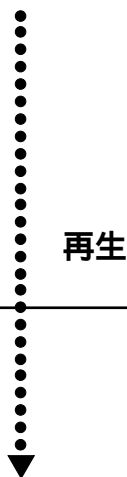
一時停止 ❚❚

- 録画を再開するときはもう一回押す。

再生機 の操作

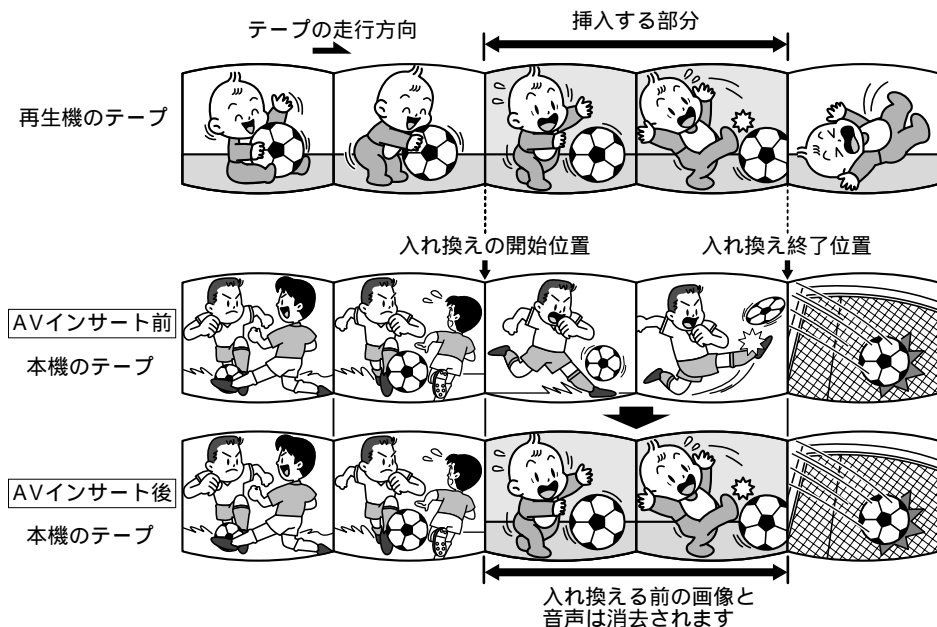
1 再生するカセットを
入れる

2 再生を
始める

再生

3

4 再生を
終える

撮影したテープの映像と音声を入れ換える（AVインサート）

本機で撮影したテープの映像／音声を、ほかのビデオ機器からの映像／音声と入れ換えることができます（AVインサート）。AVインサートは、アナログ入力（📖 115）、DV入力（📖 117）のいずれも可能です。
テープを再生する機器を本機に接続してください（📖 115）。

AVインサートするときは

本機

本機で、SPモードでタイムコードが連続的に記録されているテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモードで記録された部分があるテープでAVインサートを行うと、記録が途中で中断されます。

再生機

無記録部分のないテープを使用してください。
途中に無記録部分や録画モードを変更している部分があると、本機で正しくAVインサートできない場合があります。
次のような場合には、AVインサートできません。
- 記録状態が悪いビデオテープを再生する
- 再生機が、早送り、巻き戻し、静止画再生、スロー再生などの特殊再生中（アナログ入力時）

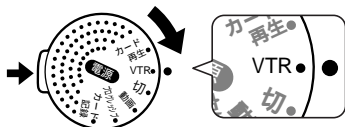
テレビ

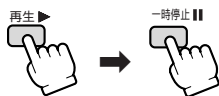
- 受信状態の悪いテレビ番組など、同期信号に乱れがある場合、AVインサートはできません。

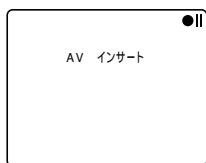
操作のしかた

1 本機／再生機に撮影済みテープを入れる

● カセットの誤消去防止つまみが録画できる状態（REC）になっていることを確認してください。

2 電源スイッチを
「VTR」にする

3 再生機 再生を開始したいシーンの約3秒手前の位置で再生一時停止にする

4 本機 再生ボタンを押してAVインサートを開始する位置を探し、再生一時停止にする

● 本機のAVインサートしたい場面を探すときに、特殊再生機能を使うと便利です（📖 50、51）。

5 リモコンのAVインサートボタンを
押す

●「AV インサート」の表示が出る。

6 再生機 テープを再生する

7 本機 再生中のテープのAVインサートを開始したい位置で一時停止ボタンを押す

● AVインサートが始まる。

8 本機 AVインサートを終了する位置で停止ボタンを押す

● AVインサート表示が消え、停止になる。

9 再生機 停止ボタンを押す

● あらかじめAVインサートを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからAVインサートを開始すると、その位置で自動的に停止します。

撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

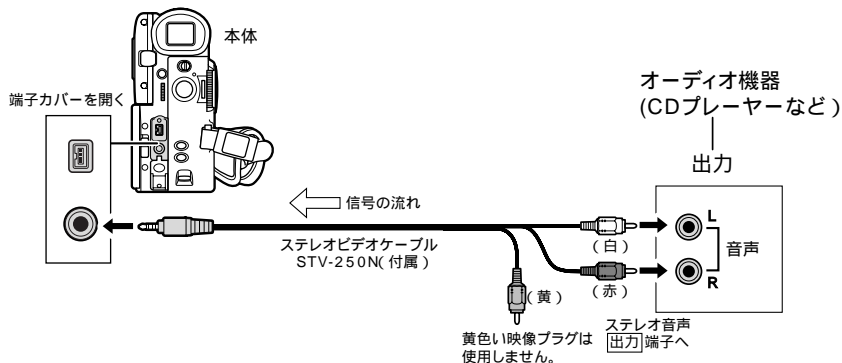
本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイクまたは、外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。

アフレコするときは

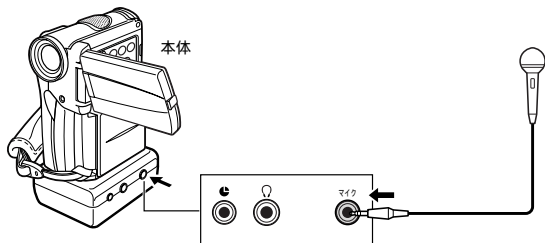
本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分、12bit同時4チャンネルで記録された部分があるテープでは、記録が中断されます。

- このような場合には、本機で、SPモード、オーディオ12bitでアナログ入力録画してアフレコすることをおすすめします。
- 12bitと16bitが混在して記録されているテープは、アフレコできません。
- アフレコするとき、または、アフレコしている間は、本機に接続しているケーブルを抜き差ししないでください。

映像／音声端子に接続してアフレコする（音声入力）

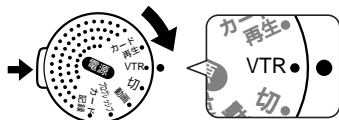
接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- 映像／音声端子から映像は出力されません。S-映像端子に接続したテレビや、液晶画面またはビューファインダーで画像を確認してください。アフレコする音声は、スピーカーやヘッドホンで確認してください。

マイクを使ってアフレコする（マイク入力）

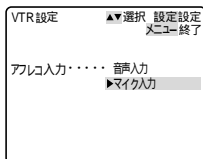
- 外部マイクを使うときはドッキングユニットDU-300を本機に取り付けてください。

- 内蔵マイクからアフレコするときは、マイク端子になにも接続しないでください。
- S-映像、映像／音声端子にテレビをつなぐと、テレビで画像を確認できます。音声は、ヘッドホンで確認できます。

操作のしかた

1 本機に撮影済みカセットを入れる

2 電源スイッチを
「VTR」にする

3 VTRメニューの「VTR設定」サブメニューから
「アフレコ入力」を選び「音声入力」か「マイク入力」を選ぶ
（📖 76）

VTR設定 ▲▼選択 設定設定 メニュー終了

アフレコ入力・・・・・ 音声入力
▶マイク入力

4 メニューボタンを
押す

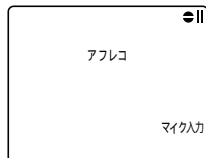
● メニューが消える。

5 再生ボタンを押して、音声を追加したい場面の開始位置を探す

● 音声を追加する場面を探すときに、特殊再生機能を使うと便利です（📖 50、51）。

6 一時停止ボタンを
押す

● 再生一時停止になる。

7 リモコンのアフレコボタンを
押す

● 「アフレコ」の表示が出る。

8 一時停止ボタンを
押す

● アフレコを始める。

● マイクに向かって話してください。オーディオ機器を再生してください。

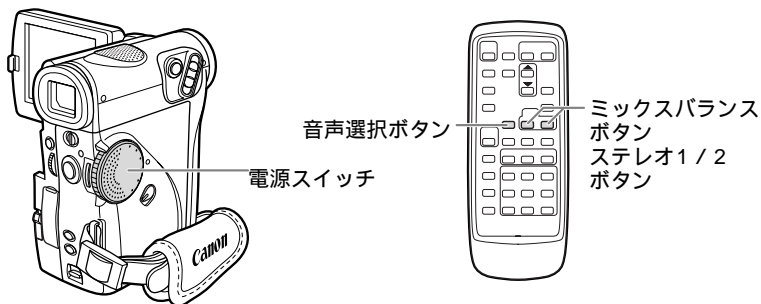
9 アフレコを終了したい位置で停止ボタンを
押す

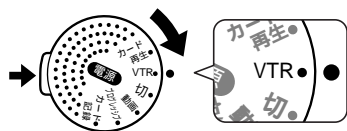
● アフレコ表示が消え、停止になる。

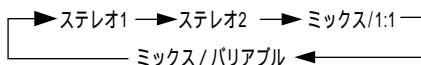
● あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコを開始すると、その位置で自動的に停止します。
● DV端子からのアフレコはできません。
● ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
● テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。
● アフレコした音声を聞くときは、次ページをご覧ください。

音声を切り換える

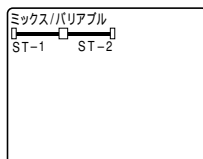
撮影時の音声とアフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

アフレコしたテープを再生するときに、ステレオ1（撮影時の音声）とステレオ2（アフレコした音声）の、どちらかあるいは両方の音声を再生でき、さらに2つの音声のバランスを調整できます。

操作のしかた

1 電源スイッチを
「VTR」にする

2 リモコンの音声選択ボタンを
押す

- 選んだ音声表示が出る。
- ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

ステレオ1 ―― 撮影時の音声のみ再生する
ステレオ2 ―― アフレコされた音声のみ再生する
ミックス／1：1 ―― ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
ミックス／バリアブル ― ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

「ミックス／バリアブル」を選んだ場合
ステレオ1（ST-1）とステレオ2（ST-2）のバランスを調整する表示が出ます。表示は、約4秒で消えます。

- **ステレオ1の音量を大きくする**
  リモコンのミックスバランス ステレオ1ボタンを押す。
- **ステレオ2の音量を大きくする**
  リモコンのミックスバランス ステレオ2ボタンを押す。

- 一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切るとオーディオ12bit出力は「ステレオ1」に戻ります。続けて「ミックス／バリアブル」で再生するときは、リモコンの音声選択ボタンで選択してください。

音声を切り換える一つづき

二重音声で記録したテープを再生する

VTR モード

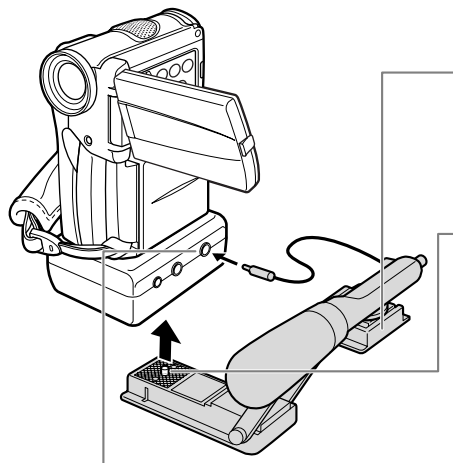
二重音声を記録したテープを再生するとき、必要に応じて音声の切り換えをすることができます。表を参考に設定してください。
「VTR設定」サブメニューの「バイリンガル」で下記の表をご参考のうえ、選択してください（📖 76）。

「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「メイン＋サブ」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	左音声	主音声
「サブ」	右音声	副音声

市販のマイクを使う

市販のマイクを使うときは、ドッキングユニットDU-300（📖53）と別売のシューアダプターSA-1を使用して本体に取り付けます。

市販のマイクの取り付けかた

1

❶ シューアダプターにマイクを
取り付ける

● シューアダプターはロックされるまで開いてください。

❷ ドッキングユニットにシューアダプターを
取り付ける

2 MIC端子に
接続する

静かな場所で撮影するときは

● 内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、市販のマイクをお使いください。

市販のマイクを使うときには

● 電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をご使用ください。
端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。

メモリーカードについてのガイドマップ

下記の順番で説明しています。

準備 メモリーカードを入れ、画質などを設定します 📖127～📖129

静止画を記録する ビデオカメラから、テープから、ＤＶ端子から 📖130～📖133

静止画を見る １枚１枚、スライドショー、インデックス 📖134～📖135

静止画を消えないようにする（プロテクト） 📖136

静止画を消す（消去） 📖137～📖139

メモリーカードの静止画とカメラで撮影している画像を合成する
カードクロマキー、カードルミキー、カメラクロマキー 📖140～📖143

テープの静止画をメモリーカードにコピーする 📖144

メモリーカードの静止画をテープにコピーする 📖145

プリント用の印を付ける（プリントマーク） 📖146～📖147

メモリーカードを初期化する 📖148

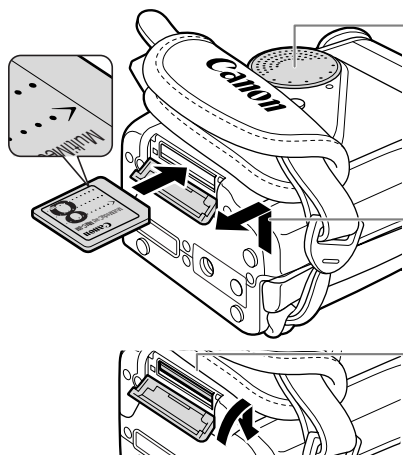
●メモリーカードに映像を記録している間は液晶画面/ビューファインダーに＞＞＞＞（赤色*）が出ます。表示が出ている間はデータの破損などの原因となりますので、
① メモリーカードを出さないでください。
② バッテリーパックなどの電源をはずさないでください。
＊対面撮影時や接続したテレビでは白色になります。

●メモリーカードから映像を読み出している間は液晶画面/ビューファインダーに＜＜＜＜（緑色）が出ます。表示が出ている間はデータの破損などの原因となりますので、メモリーカードを出さないでください。

必ず守ってください

メモリーカードの出し入れはビデオカメラの電源を切ってから行ってください。
本機は、マルチメディアカード専用です。ほかのメモリーカードは使用できません。

メモリーカードの入れかた/出しかた

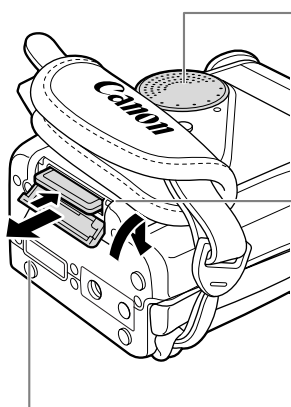
入れかた

1 電源スイッチを
「切」にする

2 **「開く」を押してカバーを開ける**

3 メモリーカードを
奥までしっかり入れる

4 カバーを
閉じる

出しかた

● メモリーカードを出すときは、無理に出さないで、必ず3の操作を行ってください。

1 電源スイッチを
「切」にする

2 **「開く」を押してカバーを開ける**

3 メモリーカードの端を
押す

● メモリーカードが出てくる。

4 メモリーカードを
抜く

5 カバーを
閉じる

● 電源を切らずにメモリーカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
● メモリーカードの端子に触れないでください。

メモリーカード（マルチメディアカード）

表

裏

記録時の画質を選ぶ

メモリーカードに記録する静止画の画質をメニューの「カード設定」サブメニューで選択できます（□ 80）。
ご購入時は「ファイン」に設定されています。

- 本機では画像をJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮して記録します。
- 画像によっては、画質の設定を切り換えても画質に差が現れない場合があります。
- 画素数はファイン、スタンダードともに640×480(VGA)になります。

画質を選ぶときの目安 VTRモード カード記録

画質	容量	記録できる枚数*	どんなときに使う？
ファイン	約124Kバイト	約60枚	静止画を高画質で保存したいときやプリントするときなど。
スタンダード	約70Kバイト	約105枚	電子メールに添付して送信したり、自分のホームページで利用したいときなど。

＊記録できる枚数は8Mバイトのマルチメディアカードでの目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、サンプル画像が入っている付属のメモリーカードの場合は上記の枚数よりも少なくなります。

- カードの表示について

カードがないとき：　赤色の点滅
記録可能枚数6枚以上：6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：5 黄色表示＊
記録可能枚数0枚：0 赤色表示＊

＊ カード再生時はすべて緑色表示になります。
＊ 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

マルチメディアカードMMC-8M
主な仕様

記憶容量	8MB
使用温度	0˚～＋4˚C
外形寸法	約32×24×1.4mm
質量	約1.5g

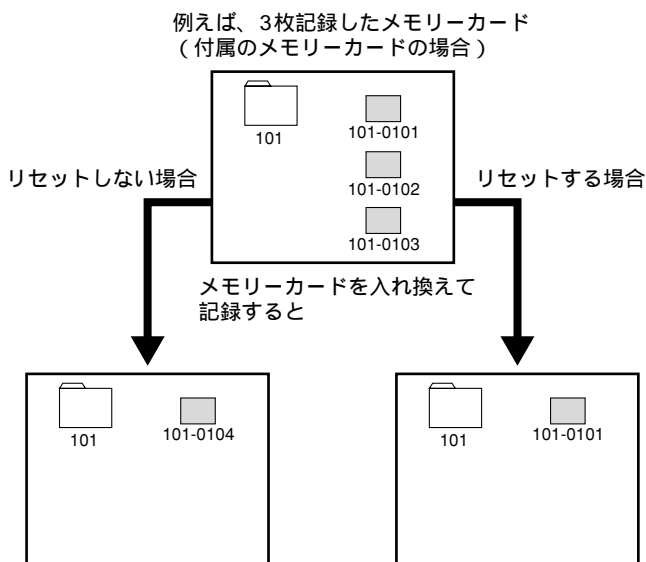
ファイル番号をリセットする

記録した静止画は、自動的に0001～9900までのファイル番号が付けられ、ひとつのフォルダに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダには100～998までの番号が付けられ、メモリーカードに記録します。（サンプル画像が入っている付属のメモリーカードでは、サンプル画像が100に入っています）。
ご購入時には「しない」に設定されています。
本機では、メモリーカードを換えてもファイル番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。
番号をリセットするときは、「カード設定」サブメニューの「番号リセット」を「する」に設定してください。

● 番号をリセットしない
別のメモリーカードに入れ換えても、最後に記録した静止画の続き番号が、次の静止画に付けられます。
ファイル番号をリセット「しない」に設定して記録すると、記録した静止画のファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。
通常はリセット「しない」に設定しておくことをおすすめします。

● 番号をリセットする
別のメモリーカードに入れ換えると、ファイルの番号が101-0101から始まります。すでに静止画が記録されているメモリーカードを入れたときは、その続きのファイル番号になります。

応用編

効果的に使う

静止画をメモリーカードに記録する

メモリーカードに静止画を記録します。
本機では、ビデオカメラで撮影している画像、テープに記録されている画像、DV端子から入力している画像をメモリーカードに記録できます。

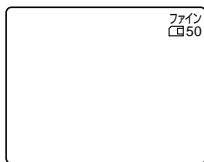
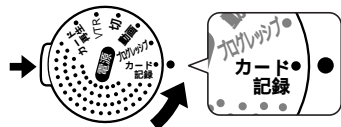
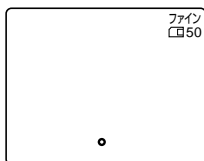
- メモリーカードには動画は記録できません。
- アナログ入力からの画像をメモリーカードに記録できません。
- メモリーカードには音声は記録できません。

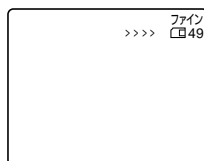
- あらかじめ記録可能なメモリーカードを入れておいてください。

ビデオカメラで撮影している画像を記録する カード記録

- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画撮影が始まります。

1 電源スイッチロックレバーを **●●にする**

2 ボタンを押しながら電源スイッチを **「カード記録」にする**

3 フォトボタンを **浅く押す**

- ◘が白色に点滅したあと、ピント調整が終わると緑色の点灯に変わる。
- 露出がロックされます。

4 フォトボタンを **深く押す**

- ◘が消える。
- 「 カード設定 」サブメニューで「シャッター音」を「入」にしていると、「カシャ」というシャッター音がする（📖 80）。
- ボタンを押したときの静止画がメモリーカードに記録される。
- 液晶画面/ビューファインダーの映像も静止画になる。

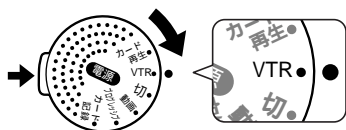
- ３の操作の前に、セルフタイマーボタンを押して、フォトボタンを押すと、セルフタイマーで静止画をメモリーカードに記録できます。セルフタイマーの操作については62ページをご覧ください。

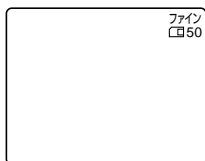
テープの画像を記録する

VTR モード

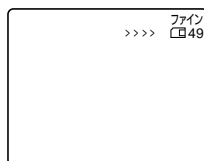
撮影したテープの画像を選んでメモリーカードに記録できます。
テープに記録した静止画を自動記録するときは「テープの静止画をメモリーカードにコピーする」（📖 144）をご覧ください。

● より高画質で記録するため、プログレッシブモードで撮影したテープから静止画記録することをおすすめします。
● テープの画像をカードに記録したときの日付/時刻が、日時としてカードに記録されます。

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「VTR」にする

2 テープを
再生する

3 再生中にフォトボタンを
浅く押す

- 液晶画面/ビューファインダーに記録可能枚数などのメモリーカードの情報が表示され、再生一時停止（静止画再生）になる。

● マルチ画面以外ではシャッターを切るように画面が一度途切れます。

4 フォトボタンを
深く押す

- 液晶画面/ビューファインダーに出ている画像がメモリーカードに記録される。

● VTRモードではシャッター音はしません。
● 静止画再生中にフォトボタンを深く押しても静止画を記録できます。

● 16：9で撮影した映像を静止画としてメモリーカードに記録すると縦に伸びた映像になります。

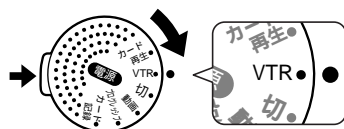
静止画をメモリーカードに記録するーつづき

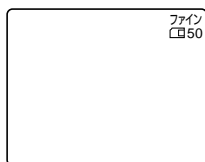
DV端子から入力する画像を記録する

VTR モード

DV端子に接続したデジタルビデオ機器からの画像を選んでメモリーカードに記録できます。
接続のしかたなどは117ページをご覧ください。

- メモリーカードに静止画を記録するだけであれば、本機にカセットを入れる必要はありません。カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。
- DV端子から入力した画像をカードに記録したときの日付/時刻が、日時としてカードに記録されます。

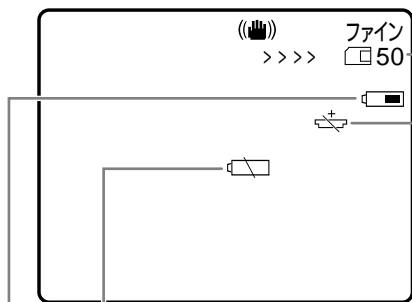
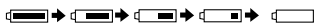
1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「VTR」にする

2 接続したデジタルビデオ機器の
電源を入れ、再生する

3 フォトボタンを
浅く押す

- 液晶画面/ビューファインダーに記録可能枚数などのメモリーカードの情報が表示され、画像が静止画になる。

4 フォトボタンを
深く押す

- 液晶画面/ビューファインダーに出ている画像がメモリーカードに記録される。
- VTRモードではシャッター音はしません。

- 16：9で撮影した映像を静止画としてメモリーカードに記録すると縦に伸びた映像になります。

カード記録中の液晶画面の表示について

記録可能枚数表示

カードがないとき：　赤色の点滅
記録可能枚数6枚以上：6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：5 黄色表示＊
記録可能枚数0枚：0 赤色表示＊
＊記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「　」の点滅
カードが入っていないときに点滅します。

「＞＞＞」書き込み表示
静止画をメモリーカードに書き込んでいるときに表示します。

「　」の点滅

バッテリーパックが消耗すると「　」が点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。

- 消耗したバッテリーパックを装着すると、「　」が出ずに、電源が入らなかったり、切れたりすることがあります。

「　」の点滅

ボタン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「　」が点滅します。新しいボタン型リチウム電池と交換してください。

- 交換用のボタン型リチウム電池は、CR1616タイプをお使いください。

バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

- 残量表示と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

静止画を見る

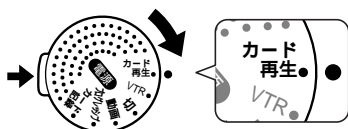
メモリーカードに記録した静止画は液晶画面、ビューファインダー、接続したテレビなどで見られます（テレビとの接続については55ページをご覧ください）。
本機では、静止画を１枚ずつ見たり、連続して順番に見たり（スライドショー）、６枚を１度に見たり（インデックス）できます。

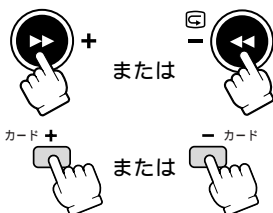
- カード再生時、データコードボタンを押したときは、日付／時刻のみ表示されます。

- パソコンで加工した静止画や他社のビデオカメラで記録したメモリーカードの静止画は再生やコピーができないことがあります。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

静止画を１枚ずつ見る

カード 再生

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「カード再生」にする

- 最後に記録した静止画が出る。

2 ＋またはーボタンを
押して静止画を選ぶ

- −：前の静止画を見る。
- ＋：次の静止画を見る。
- 最後の静止画で「＋」を押すと最初の画像が出る。
- 最初の静止画で「−」を押すと最後の画像が出る。

静止画を順番に再生する（スライドショー）

カード 再生

静止画が出ているときに

1 スライドショーボタンを
押す

または

- 出ている静止画から順番に5秒間ずつ画像が再生される。

スライドショーを止めるときは

1 スライドショーボタンを
押す

または

- スライドショーボタンを押したときの静止画が表示されたまま、停止する。
- スライドショーボタンを押すたびに切り換ります。

静止画見るーつづき

インデックス画面で静止画を選ぶ

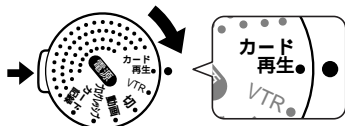
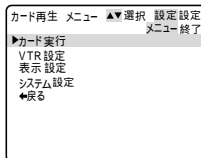
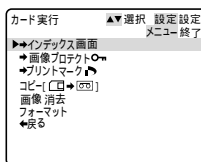
カード再生

最大６画像ずつ表示されますので、目的の画像をすばやく探し出せます。

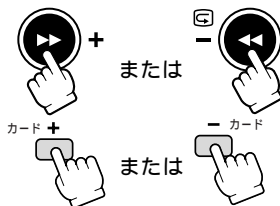
1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「カード再生」にする

● 最後に記録した静止画が出る。

2 カード再生メニューのメインメニューから
「カード実行」サブメニューを選ぶ

カード再生　メニュー　▲▼選択　設定 設定
メニュー 終了
▶カード実行
VTR設定
表示 設定
システム設定
←戻る

3 「カード実行」サブメニューから
「インデックス画面」を選ぶ

● ６つの静止画が出るインデックス画面になる。

4 マルチダイヤルまたは＋、－ボタンで
静止画を選ぶ

● マルチダイヤルを上に回すと、「☞」がひとつ先の静止画に進む。
● マルチダイヤルを下に回すと、「☞」がひとつ前の静止画に戻る。
● インデックス画面の最後の静止画で上に回すと次の画面になる。
● インデックス画面の最初の静止画で下に回すと前の画面になる。

● －：前のインデックス画面を見る。
● ＋：次のインデックス画面を見る。

5 選択したい静止画（「☞」で示している静止画）でマルチダイヤルを
押す

● インデックス画面は終了し、１枚の静止画だけの表示になる。

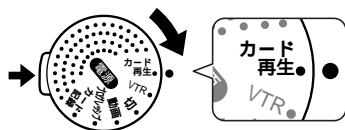
応用編
効果的に使う

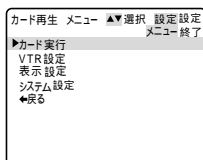
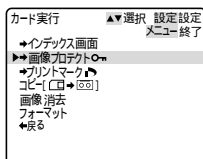
静止画を消えないようにする（プロテクト）

大切な静止画を誤って消去しないようにするために、静止画に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。付属のメモリーカードに入っているサンプル画像はプロテクト設定がされています。

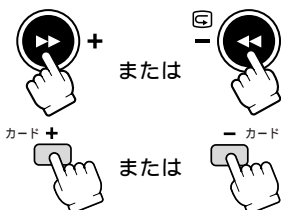
- 誤消去防止（プロテクト）設定しても、カードをフォーマットすると静止画は消去されます。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

カード再生

1 ボタンを押しながら電源スイッチを「カード再生」にする

- 最後に記録した静止画が出る。

2 カード再生メニューのメインメニューから「カード実行」サブメニューを選ぶ

3 「カード実行」サブメニューから「画像プロテクト」を選ぶ

- ６つの静止画が出るプロテクト画面になる。

4 ＋またはーボタンまたはマルチダイヤルでプロテクトする静止画を選ぶ

- マルチダイヤルを上に回すと、「☞」がひとつ先の静止画に進む。
- マルチダイヤルを下に回すと、「☞」がひとつ前の静止画に戻る。
- インデックス画面の最後の静止画で上に回すと次の画面になる。
- インデックス画面の最初の静止画で下に回すと前の画面になる。

- ー：前の画面にする。
- ＋：次の画面にする。

5 プロテクトする静止画像（「☞」で示している静止画）でマルチダイヤルを押す

- 🔑が出て、消去できなくなる。

6 メニューボタンを押す

- メニューが消える。

プロテクトを解除する（消去可能にする）ときは

- プロテクト設定されている画像を1～4の操作で選び、マルチダイヤルを押すと🔑が消え、消去可能になります。

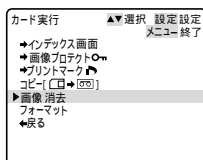
静止画を消す（消去）

不要になった静止画を消去できます。
静止画を選んで消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。

- プロテクト設定している静止画（付属のメモリーカードに入っているサンプル画像を含む）は消去できません。
- 一度消去した静止画はもとに戻せません。消去する前に静止画を確認してください。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

選んだ１枚の画像を消去する

カード
再生

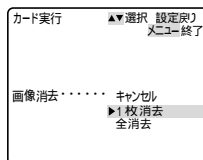
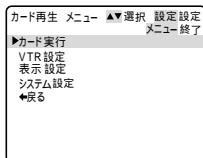
1 ボタンを押しながら電源スイッチを「カード再生」にする

- 最後に記録した静止画が出る。

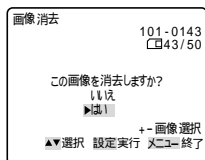
2 インデックス画面などで消去する静止画を選ぶ

3 カード再生メニューのメインメニューから「カード実行」サブメニューを選ぶ

4 「カード実行」サブメニューから「画像消去」を選ぶ

- 「キャンセル」、「１枚消去」、「全消去」の選択画面になる。
- 誤って「画像消去」の項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは「キャンセル」を選んで、マルチダイヤルを押してください。

5 選択画面から「１枚消去」を選びマルチダイヤルを押す

- 「この画像を消去しますか？」と「いいえ」、「はい」の選択画面になる。

6 出ている画像を消去するときは **「はい」を選び、マルチダイヤルを押す**

- 画像が消去される。

続けて別の画像を消去するときは＋またはーボタンで消去する画像を選び、「はい」を選び、マルチダイヤルを押す

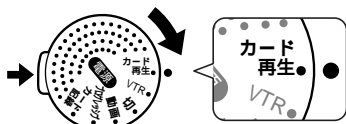
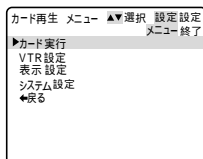
- 「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「１枚消去」、「全消去」の選択画面に戻ります。

7 メニューボタンを **押す**

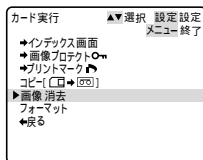
- メニューが消える。

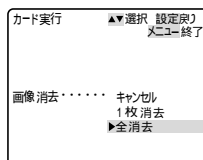
静止画を消す（消去）ーつづき

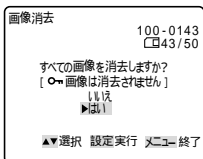
すべての静止画を消去する

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「カード再生」にする

- 最後に記録した静止画が出る。

2 カード再生メニューのメインメニューから
「カード実行」サブメニューを選ぶ

3 「カード実行」サブメニューから
「画像消去」を選ぶ

- 「キャンセル」、「１枚消去」、「全消去」の選択画面になる。
- 誤って「画像消去」の項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは「キャンセル」を選んで、マルチダイヤルを押してください。

4 選択画面から「全消去」を選び
マルチダイヤルを押す

- 「すべて画像を消去しますか？」と「いいえ」、「はい」の選択画面になる。

5 すべての静止画を消去するときは
「はい」を選び、マルチダイヤルを押す

- すべての静止画が消去される。
「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「１枚消去」、「全消去」の選択画面に戻ります。

6 メニューボタンを
押す

- メニューが消える。

メモリーカードの静止画とカメラで撮影している画像を合成してテープに記録する（カードミックス）

メモリーカードに記録してある静止画とカメラで撮影している画像を合成できますので、タイトルやフレームを付けたりしてビデオを楽しく演出できます。

● カードミックスはプログラムAEモードがローライトのときは使用できません（動画モードの時）。

カードクロマキー

イラストやフレームの静止画とカメラの画像を合成します。
静止画の中の青い部分にカメラで撮影している画像が写ります（例では画面の中心が青になります）。

● ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カードルミキー

イラストやタイトルなどの静止画とカメラの画像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している画像が写ります（例では白い紙が明るい部分、イラストや枠の部分の文字が暗い部分になります）。
旅行やイベントなどのタイトルなどに使うときはあらかじめメモリーカードに記録しておいてください。

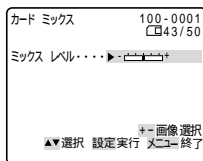
● ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー

静止画とカメラの画像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体など青以外の部分が静止画の上に写ります。

● ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画像の青い部分の調整

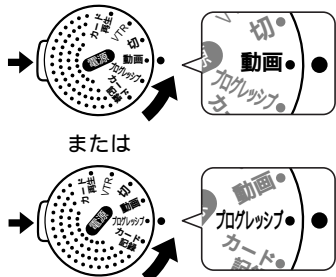
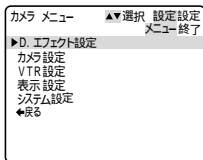
ミックスレベル

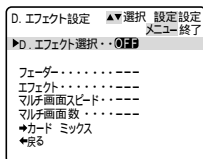
ミックスレベルは指標を参考に、画面を見ながら調整してください。

本機に付属のメモリーカードではサンプル画像をカードクロマキーで8枚、カードルミキーで5枚、カメラクロマキーで2枚用意してあります（サンプル画像はプロテクト設定してあります）。

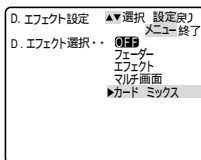
● あらかじめ静止画を記録したメモリーカードと記録可能なテープを入れておいてください。

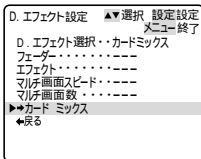
カメラ
モード

1 ボタンを押しながら電源スイッチを **「動画」または「プログレッシブ」にする**

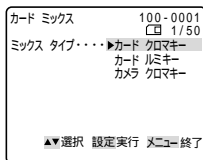
または

2 カメラメニューのメインメニューから **「D.エフェクト設定」サブメニューを選ぶ**

- 「D.エフェクト設定」サブメニューが出る。

3 「D.エフェクト設定」サブメニューから **「D.エフェクト選択」を選ぶ**

- 「D.エフェクト選択」だけの表示になる。

4 「カードミックス」を選ぶ

- 「D.エフェクト設定」サブメニューに戻る。

5 「デジタルエフェクト設定」サブメニューから **「カードミックス」を選ぶ**

- 「カードミックス」だけの表示になる。

6 ＋または－ボタンで静止画を **選ぶ**

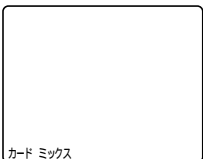
7 カードミックスの
種類を選んでマルチダイヤルを押す

- 静止画とカメラで撮影している画像が合成された画面になる。

8 画面を見ながら
ミックスレベルを調整する

9 メニューボタンを
押す

- メニューが消える。
- 選んだカードミックスの表示が点滅する。

カードミックスを入/切する

10 D.エフェクト入/切ボタンを
押す

- 選んだカードミックスの表示が点灯し、画面がカードミックスの効果になる。

合成した画像を動画でテープに録画するときは

1 スタート／ストップボタンを
押す

合成した画像を静止画でテープに録画するときは

1 フォトボタンを
浅く押す

- ●が白色に点滅したあと、緑色の点灯に変わる。

2 フォトボタンを
深く押す

- ●が消え、静止画撮影が始まる。
- 約6.5秒後に撮影一時停止になる。

- 電源スイッチを切り換えたり、撮影モード切り換えスイッチを P から □ にしたときは、カードミックスで使用する静止画を選びなおしてください。
- カードミックスを行うときは、1〜6の操作を必ず行ってください。

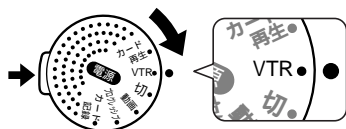
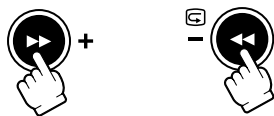
テープの静止画をメモリーカードにコピーする

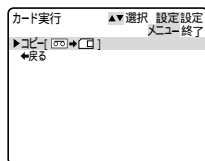
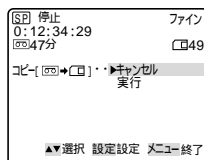
テープに記録してある静止画をフォトサーチで検索しながらメモリーカードに自動的にコピーできます。

● 選んだ静止画以降のすべての静止画をメモリーカードにコピーします。
● テープの静止画をカードにコピーしたときの日付/時刻が、日時としてカードに記録されます。

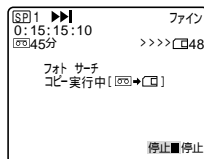
● あらかじめ記録可能なメモリーカードと録画したテープを入れておいてください。

VTR モード

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「VTR」にする

2 早送りボタン、巻戻しボタンなどでメモリーカードにコピーしたい静止画より
手前の位置を探す

● テープに記録している静止画すべてをコピーするときは、テープを最初まで巻き戻してください。

3 VTRメニューのメインメニューから
「カード実行」サブメニューを選ぶ

4 「カード実行」サブメニューから
「コピー→」を選ぶ

● 「コピー→」だけの画面になる。

5 **「実行」を選ぶ**

● コピーを止めるときは「キャンセル」を選んでください。

● 画面がコピー確認画面に変わり、コピーが始まる。

● ビデオカメラはフォトサーチを行い、静止画を探し出すとメモリーカードに静止画をコピーします。テープがおしまいになったり、メモリーカードの容量がいっぱいになると*、コピーは終了します。
＊ 「カードがいっぱいです」の表示がでます。

6 希望の静止画のコピーが終わったら■(停止) ボタンを
押す

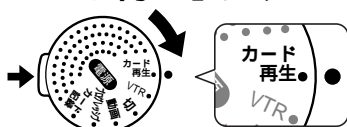
 または

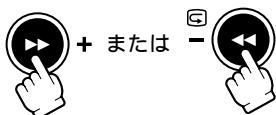
停止■

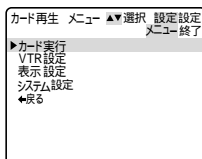
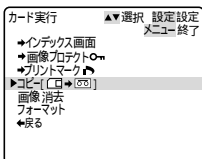
メモリーカードの静止画をテープにコピーする

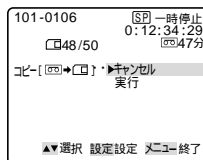
メモリーカードに記録してある静止画をテープにコピー（フォト記録）できます。
● 選んだ静止画以降のすべての静止画をテープにコピーします。
● カードの静止画をテープにコピーしたときの日付/時刻が、日時としてテープに記録されます。

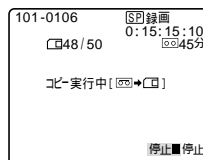
● あらかじめ静止画を記録したメモリーカードと記録可能なテープを入れておいてください。

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「カード再生」にする

● 最後に記録した静止画が出る。

2 ＋または－ボタンを
押してコピーする始めの静止画を選ぶ

● メモリーカードに記録している静止画すべてをコピーするときは、最初の静止画を選んでください。

3 カード再生メニューのメインメニューから
「カード実行」サブメニューを選ぶ

4 「カード実行」サブメニューから
「コピー →」を選ぶ

● 「コピー →」だけの画面になる。

5 **「実行」を選ぶ**

● コピーを止めるときは「キャンセル」を選んでください。

● 画面がコピー確認画面に変わり、コピーが始まる。

● 現在画面に出ている静止画がテープにフォト記録（1枚の静止画あたり約6.5秒）され、記録が終わると次の静止画の記録になります。
メモリーカードの最後の静止画をフォト記録し終わったり、テープがおしまいになると、コピーは終了します。

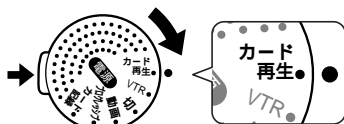
6 希望の静止画のコピーが終わったら
■(停止) ボタンを
押す

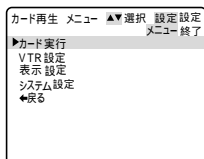
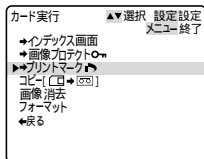
または

プリントしたい静止画を指定する（プリントマーク）

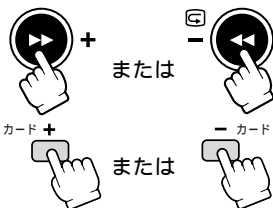
メモリーカードに記録した静止画にプリント用の印を付けることができます。本機は印刷フォーマットのDPOF（Digital Print Order Format）に対応していますので、キヤノンのDPOF対応のプリンタで自動印刷できます。
プリントマークは50枚の画像まで設定できます。

- プリントマークは1枚プリントの設定になります。
- あらかじめ静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。

1 ボタンを押しながら電源スイッチを
「カード再生」にする

- 最後に記録した静止画が出る。

2 カード再生メニューのメインメニューから
「カード実行」サブメニューを選ぶ

3 「カード実行」サブメニューから
「プリントマーク」を選ぶ

- 6つの静止画が出るプリントマーク画面になる。

4 ＋または　－ボタンまたはマルチダイヤルで
プリントマークを付ける静止画を選ぶ

- マルチダイヤルを上に回すと「☞」が、ひとつ先の静止画に進む。
- マルチダイヤルを下に回すと「☞」が、ひとつ前の静止画に戻る。
- インデックス画面の最後の静止画で上に回すと次の画面になる。
- インデックス画面の最初の静止画で下に回すと前の画面になる。

- －：前の画面になる。
- ＋：次の画面になる。

プリントしたい静止画を指定する－つづき

5 プリントマークを付ける静止画でマルチダイヤルを
押す

- のプリントマークが付く。

> **プリントマークを解除するときは**
>
> ●プリントマークが付いている画像を1～4の操作で選び、マルチダイヤルを押すと が消えます。

6 メニューボタンを
押す

- メニューが消える。

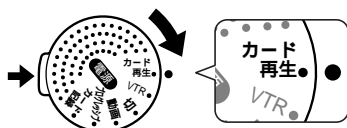
● 撮影枚数によっては、プリントマークの設定に時間がかかることがあります。

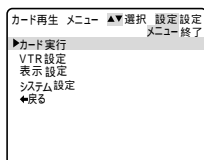
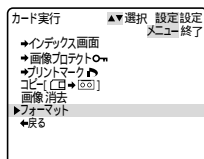
メモリーカードを初期化（フォーマット）する

フォーマットは、新しいメモリーカードを使うときや、「カードエラーです」という警告表示が出たときに行います。また、メモリーカード内の静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。＊

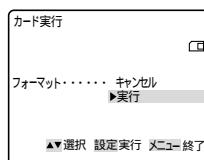
＊ フォーマットを行うと、プロテクト設定した静止画（付属のメモリーカードに入っているサンプル画像も含む）まで、すべての情報が消えてしまいます。

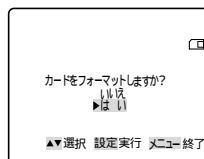
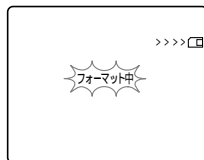
● フォーマットして一度消去した静止画などはもとに戻せません。フォーマットする前に確認してください。

1 ボタンを押しながら電源スイッチを「カード再生」にする

● 最後に記録した静止画が出る。

2 カード再生メニューのメインメニューから「カード実行」サブメニューを選ぶ

3 「カード実行」サブメニューから「フォーマット」を選ぶ

● 「キャンセル」、「実行」の選択画面になる。

● 誤って「フォーマット」の項目を選んでしまったときなどは「キャンセル」を選んで、マルチダイヤルを押してください。

4 選択画面から「実行」を選びマルチダイヤルを押す

● 「このカードをフォーマットしますか？」と「いいえ」、「はい」の選択画面になる。

5 フォーマットするときは「はい」を選び、マルチダイヤルを押す

● フォーマットされ、すべての情報が消去される。

● 「いいえ」を選んだときには、「キャンセル」、「実行」の選択画面に戻ります。

その他

● 本機のメモリーカードは標準のフォーマットDCF(Design Rule of Camera File System)に準拠しています。

本機でメモリーカード記録した画像は、市販の製品によりお手持ちのパソコンに取り込むことができます。

- PCカードアダプター：パソコン（主にノートパソコン）にあるPCカードスロットにマルチメディアカードを入れるためのアダプター
- PCカードリーダー：パソコンのUSB端子に接続して、マルチメディアカードを直接読むためのアダプター
- FDアダプター：パソコンのフロッピーディスクドライブにマルチメディアカードを入れるためのアダプター

● 付属のメモリーカードに入っているサンプル画像を消去してしまったときは、下記のアドレスのホームページからダウンロードできます＊

http://www.canon-sales.co.jp/Product/video/ixy-dv/mmc.html

＊ パソコンからメモリーカードにサンプル画像を入れるためには、ＰＣカードアダプターなどが必要になります。

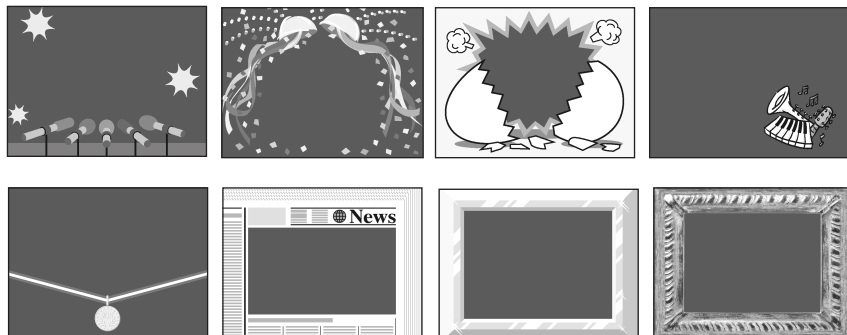
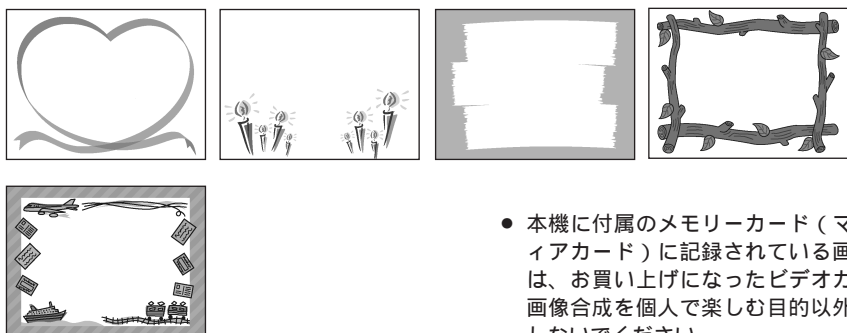
マルチメディアカード取り扱い上のご注意

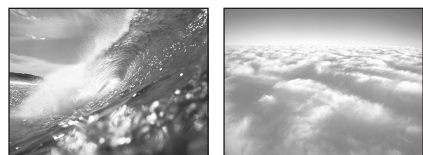
● 新規にメモリーカード（マルチメディアカード）を購入した際には、本機でフォーマットを行ってください。パソコンなど本機以外でフォーマットしたメモリーカードは、正常に使えないことがあります。

- マルチメディアカードに記録した画像などのデータは、パソコンでMOなどの外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておいてください。マルチメディアカードの故障、静電気などにより記録したデータが変質したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- マルチメディアカードへアクセス（記録、読み出し、消去、フォーマットの各動作）中は絶対にマルチメディアカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしないでください。
- 強い磁気の発生する場所で使わないでください。
- 高温、多湿の場所に放置しないでください。
- 分解しないでください。
- ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。
- カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしないでください。
- カードの保管、持ち運ぶときは端子部分の保護のため、付属のケースに入れてください。
- マルチメディアカードには表裏、前後の区別があります。正しくない方向に無理に入れないでください。破損の恐れがあります。
- ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしないでください。目的別に使い分けるときは、ケースにシールなどを貼ってください。

サンプル画像

付属のメモリーカードに入っているサンプル画像です。
付属のメモリーカードにはカードクロマキー用に8枚、カードルミキー用に5枚、カメラクロマキー用に2枚、合計15枚入っています。

カードクロマキー用

カードルミキー用

カメラクロマキー用

- 本機に付属のメモリーカード（マルチメディアカード）に記録されている画像データは、お買い上げになったビデオカメラでの画像合成を個人で楽しむ目的以外には使用しないでください。

PhotoEssentials‐イメージライブラリ
PhotoEssentialsは、使用権/著作権、肖像権の問題のない高品質なイメージ画像を収録したCD-ROMで、広告宣伝、カタログ、レポート、マルチメディアドキュメント、Webサイト、本、パッケージなどの幅広い用途にお使いいただけます。
PhotoEssentialsについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、下記にご連絡ください。
株式会社データクラフト
（http://www.datacraft.co.jp）

電源スイッチを切り換えても憶えている項目

電源スイッチを切り換えたときでも、次の機能の設定は憶えています。
○：設定を憶えています。
×：設定を憶えていません。「　」内の状態に戻ります。
独立：カメラモード、VTRモード、カード記録モードの各モードで異なる設定ができます。

項目	電源スイッチを「切」にする		参照ページ
カメラモード、カード記録モード			
	カメラモード	カード記録モード	
● プログラムAEモードの種類	○		63
● オートフォーカスの入/切	○		67
● 露出ロックの入/自動	×（「自動」になる）		69
● デジタルエフェクトの入/切	×（「切」になる）		86
● ヘッドホンの音量の設定	○	—	52
● セルフタイマーの入/切	×（「切」になる）		62
● オンスクリーンの入/切	○		156
● ゼロセットメモリーのカウンター値	○	—	106
メニュー項目の設定			
● デジタルエフェクトの選択	○（独立）	○（独立）	71
● フェーダーの選択	○	—	88
● エフェクトの選択	○（独立）	○（独立）	91
● マルチ画面取り込みスピードの設定	○（独立）	○（独立）	93
● マルチ画面数の設定	○（独立）	○（独立）	93
● カードミックス選択　タイプ	○	—	142
レベル	○	—	142
画像選択	×	—	142
● シャッタースピードの設定	○		99
● デジタルズームの入/切	○		45
● 手ぶれ補正の入/切	○		96
● 16：9の入/切	○		72
● ホワイトバランスの設定	○		102
● リモコンコードの設定	○		111
● 録画ランプの入/切	○	—	74
● 録画モードの設定	○	—	97
● お知らせブザーの入/切	○		74

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">電源スイッチを「切」にする</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td colspan="4">メニュー項目の設定</td></tr>
<tr><td></td><td>カメラモード</td><td>カード記録モード</td><td></td></tr>
<tr><td>● ウィンドカットの入/切</td><td>○</td><td>—</td><td>101</td></tr>
<tr><td>● オーディオモードの設定</td><td>○</td><td>—</td><td>73</td></tr>
<tr><td>● 液晶画面明るさ調整</td><td colspan="2">○</td><td>73</td></tr>
<tr><td>● 対面撮影の設定</td><td colspan="2">○</td><td>57</td></tr>
<tr><td>● 日時表示の設定</td><td colspan="2">○</td><td>44</td></tr>
<tr><td>● エリア/サマータイムの設定</td><td colspan="2">○</td><td>38</td></tr>
<tr><td>● 日時設定</td><td colspan="2">○</td><td>42</td></tr>
<tr><td>● 画質の設定</td><td>—</td><td>○</td><td>128</td></tr>
<tr><td>● 番号リセットの入/切</td><td>—</td><td>○</td><td>129</td></tr>
<tr><td>● シャッター音の入/切</td><td>—</td><td>○</td><td>80</td></tr>
<tr><td>VTRモード</td><td colspan="2">電源スイッチを切り換える</td><td></td></tr>
<tr><td>● ヘッドホン音量の設定</td><td colspan="2">○</td><td>52</td></tr>
<tr><td>● スピーカー音量の設定*</td><td colspan="2">○</td><td>52</td></tr>
<tr><td>● オンスクリーンの入/切</td><td colspan="2">×（「切」になる）</td><td>156</td></tr>
<tr><td>● ゼロセットメモリーのカウンター値</td><td colspan="2">○</td><td>106</td></tr>
<tr><td>● データコード表示の入/切</td><td colspan="2">×（「切」になる）</td><td>109</td></tr>
<tr><td>● オーディオ12bit出力の選択</td><td colspan="2">×（「ステレオ1」になる）</td><td>123</td></tr>
<tr><td>● ミックスバランスの設定</td><td colspan="2">○</td><td>123</td></tr>
<tr><td>● サーチ選択のフォトサーチ/日付サーチの選択</td><td colspan="2">×（「フォトサーチ」になる）</td><td>107, 108</td></tr>
<tr><td colspan="4">VTRメニュー項目の設定</td></tr>
<tr><td>● デジタルエフェクトの選択</td><td colspan="2">○（独立）</td><td>71</td></tr>
<tr><td>● フェーダーの選択</td><td colspan="2">○（独立）</td><td>88</td></tr>
<tr><td>● エフェクトの選択</td><td colspan="2">○（独立）</td><td>91</td></tr>
<tr><td>● マルチ画面取り込みスピードの設定</td><td colspan="2">○（独立）</td><td>93</td></tr>
<tr><td>● マルチ画面数の設定</td><td colspan="2">○（独立）</td><td>93</td></tr>
<tr><td>● リモコンコードの設定</td><td colspan="2">○</td><td>111</td></tr>
<tr><td>● 録画モードの設定</td><td colspan="2">○</td><td>97</td></tr>
<tr><td>● データコードの設定</td><td colspan="2">○</td><td>109</td></tr>
<tr><td>● 日時選択の設定</td><td colspan="2">○</td><td>109</td></tr>
<tr><td>● 液晶画面明るさ調整</td><td colspan="2">○</td><td>73</td></tr>
</table>

電源スイッチを切り換えても憶えている項目ーつづき

項目	電源スイッチを切り換える	参照ページ
VTRメニュー項目の設定		
● 再生時文字表示の入/切	○	77
● 日付オート表示の入/切	○	77
● バイリンガルの設定	×（「メイン＋サブ」になる）	124
● アフレコ入力の設定	○	121
● ウィンドカットの入/切	○	101
● オーディオモードの設定	○	76
● お知らせブザーの入/切	○	78
● 画質の設定	○	128
● 番号リセットの入/切	○	129
カード再生モード		
● オンスクリーンの入/切＊	×（「切」になる）	156
● データコード表示の入/切	×（「切」になる）	109
カード再生メニュー項目の設定		
● リモコンコードの設定	○	111
● 録画モードの設定	○	97
● 日時選択の設定	○	109
● 液晶画面明るさ調整	○	82
● 再生時文字表示の入/切	○	83
● お知らせブザーの入/切	○	83

＊ VTRモードとカード再生モードで切り換えても憶えています。

撮影モード切り換えスイッチを切り換える／プログラムAEモードを切り換える

○：設定を憶えています。
×：設定を憶えていません。「　」内の状態に戻ります。
独立：カメラモード、VTRモード、カード記録モードの各モードで異なる設定ができます。

項目		カメラモード		カード記録モード		参照ページ
		□（全自動）にする	プログラムAEモードを切り換える	□（全自動）にする	プログラムAEモードを切り換える	
● プログラムAEモードの種類		×（「オート」になる）	—	×（「オート」になる）	—	63
● オートフォーカスの入/切		×（「入」になる）	○	×（「入」になる）	○	67
● 露出ロックの入/自動		×（「自動」になる）		×（「自動」になる）		69
● デジタルエフェクトの入/切		×（「入」になる）	○＊	×（「入」になる）	○	86
● ヘッドホンの音量の設定		○		—		52
● セルフタイマーの入/切		○		○		62
● オンスクリーンの入/切		○		○		156
● ゼロセットメモリーのカウンター値		○		—		106
メニュー項目の設定						
● デジタルエフェクトの選択		○（独立）		○（独立）		71
● フェーダーの選択		○（独立）		—		88
● エフェクトの選択		○（独立）		○（独立）		91
● マルチ画面取り込みスピードの設定		○（独立）		○（独立）		93
● マルチ画面数の設定		○（独立）		○（独立）		93
● カードミックス選択	タイプ	○	○	—		142
	レベル	○	○			142
	画像選択	×	○			142
● シャッタースピードの設定		×（「オート」になる）		×（「オート」になる）		99
● デジタルズームの入/切		○		○		45
● 手ぶれ補正の入/切		×（「入」になる）	○	×（「入」になる）	○	96

＊ 動画モードで「カードミックス」を「入」にしているとき、プログラムAEを「ローライトモード」に切り換えるとデジタルエフェクトは「切」になります。

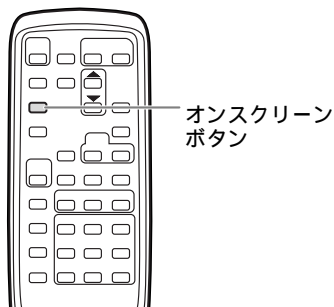
電源スイッチを切り換えても憶えている項目一つづき

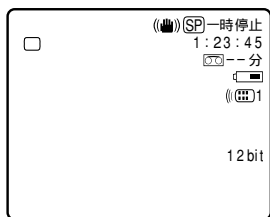
項目	カメラモード		カード記録モード		参照ページ
	□（全自動）にする	プログラムAEモードを切り換える	□（全自動）にする	プログラムAEモードを切り換える	
メニュー項目の設定					
● 16：9の入/切 （□（全自動）では「切」になる）	（○：撮影モード切り換えスイッチをⓅにするともとに戻る）	○	（○：撮影モード切り換えスイッチをⓅにするともとに戻る）	○	72
● ホワイトバランスの設定	×（「オート」になる）	○	×（「オート」になる）	○	102
● リモコンコードの設定	○		○		111
● 録画ランプの入/切	○		—		74
● 録画モードの設定	○		—		97
● お知らせブザーの入/切	○		○		74
● ウインドカットの入/切	○		—		101
● オーディオモードの設定	○		—		73
● 液晶画面明るさ調整	○		○		73
● 対面撮影の設定	○		○		57
● 日時表示の設定	○		○		44
● エリア/サマータイムの設定	○		○		38
● 日時設定	○		○		42
● 画質の設定	—		○		128
● 番号リセットの入/切	—		○		129
● シャッター音の入/切	—		○		80

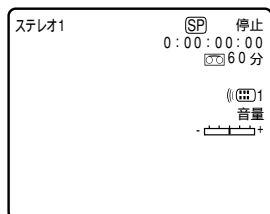
液晶画面／ビューファインダーの表示

液晶画面／ビューファインダーは、カメラの動作状態のさまざまな情報を表示します。
液晶画面／ビューファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。

カメラモード、カード記録モード：テレビ画面上での表示が不要なときはオンスクリーンボタンを押して消してください。もう一回押すと表示します。

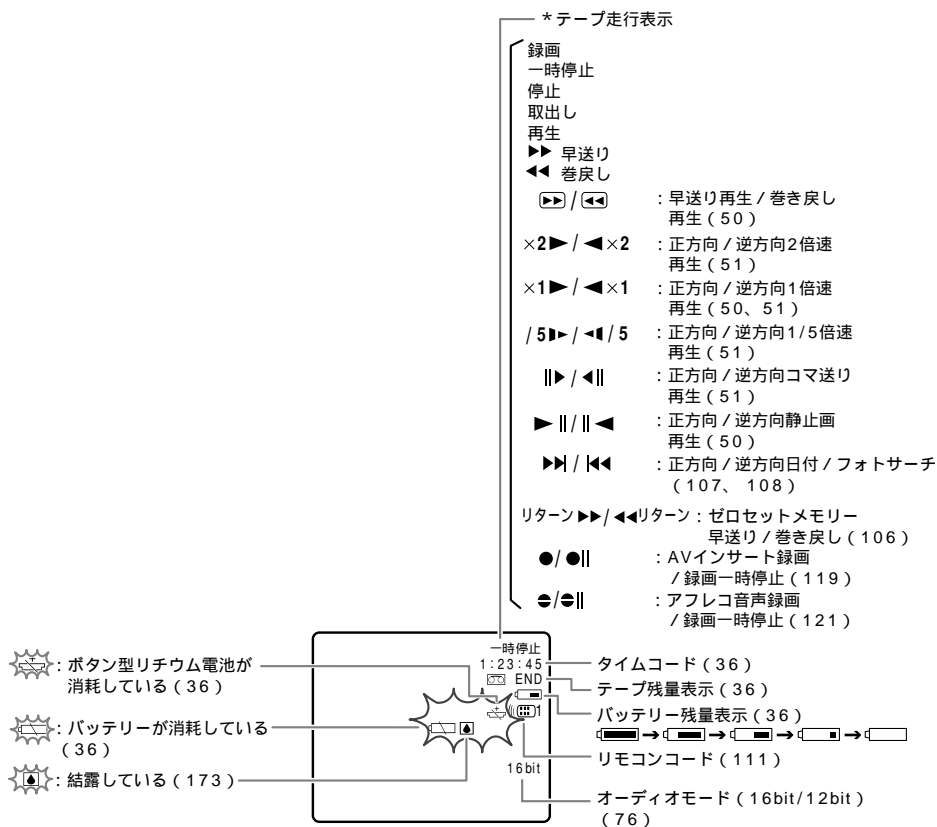
VTRモード、カード再生モード：オンスクリーンボタンを押すと表示し、もう一回押すと消えます。

自動で撮る/テレビで見るときの表示

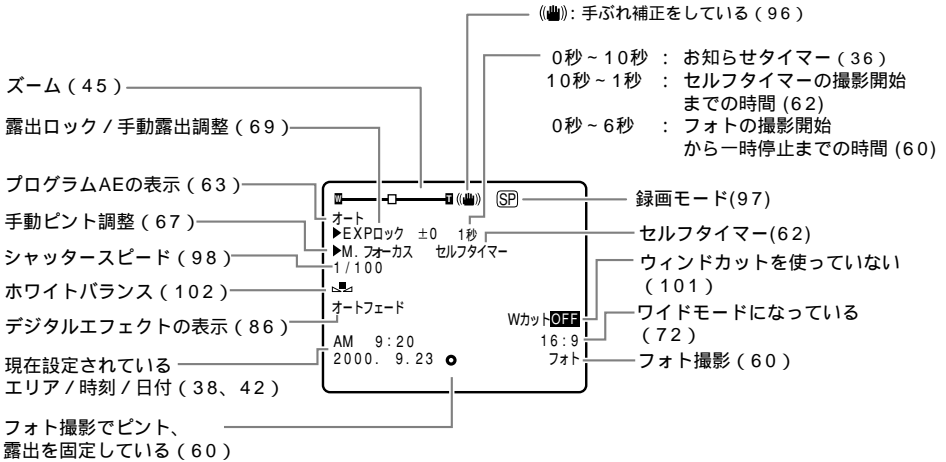
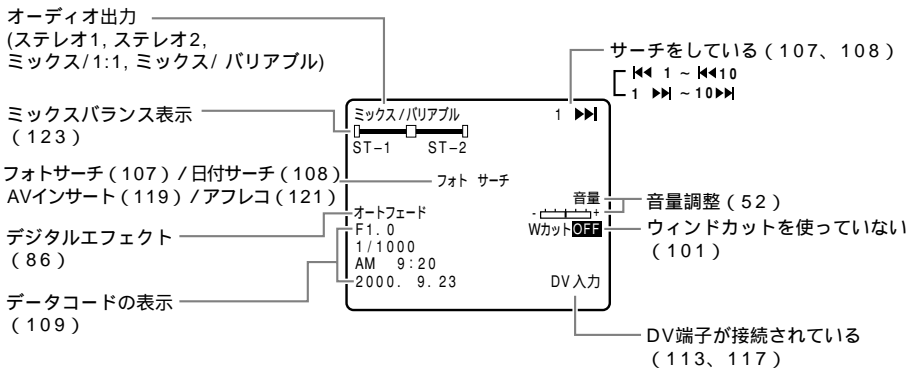
は点滅表示を示しています。

カメラモードで □（全自動）を選んで、テープを入れた時の表示です。

● リモコンコード設定、オーディオモードは、約4秒後に消えます。

VTRモードでテープを入れた時の表示です。

● リモコンコードと音量表示は約4秒後に消えます。

液晶画面／ビューファインダーの表示ーつづき

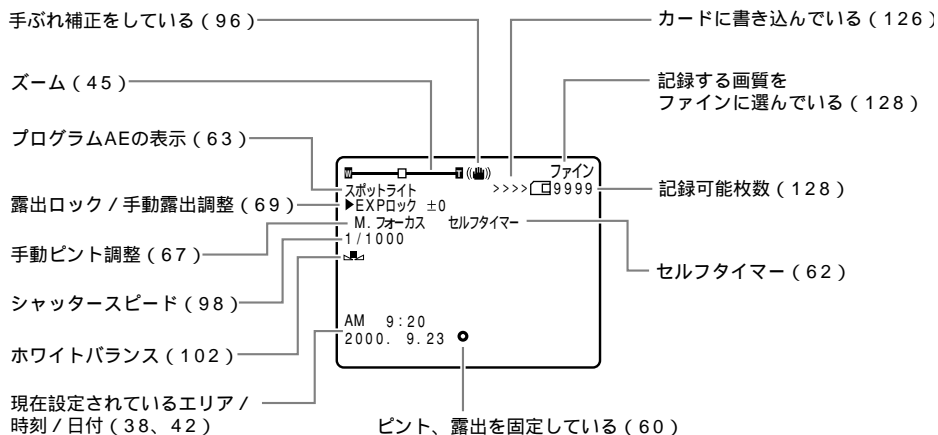
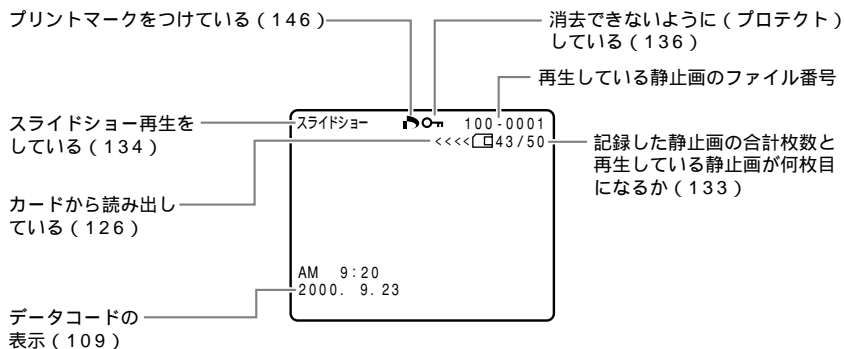
（　）内の数字は参照ページです。

効果的に使うときの表示

カメラモード

VTRモード

液晶画面／ビューファインダーの表示ーつづき

カード記録モード

カード再生モード

応用編

効果的に使う

警告文表示(約4秒間表示されます)

表示	説明
エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（🕮 38、42)。
バッテリーパックを取りかえてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（🕮 24)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（🕮 30)。
カセットを取出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（🕮 29)。
ＤＶ入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。ケーブルと端子、電源を確認してください（🕮 113、117)。

液晶画面／ビューファインダーの表示ーつづき

警告文表示(約４秒間表示されます)

結露しています

ビデオカメラ内部に水滴がついている場合に表示されます。結露の項目をご覧ください（🕮 173)。

テープ終了です

テープが最後まで巻かれています。カセットを巻き戻す、または取り出してください（🕮 29、49)。

テープを確認してください[録画モード]

ＬＰモードで記録された部分です。アフレコまたはＡＶインサートできません（🕮 119、121)。

テープを確認してください[オーディオモード]

16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（🕮 121)。

テープを確認してください[録画していません]

記録されていない部分のため、アフレコまたはＡＶインサートできません（🕮 119、121)。

警告文表示(約4秒間表示されます)

**クリーニングカセットを
使ってください
[ヘッドよごれ]**

ビデオヘッドが汚れたとき。

カードがありません

メモリーカードがビデオカメラ本体に入っていません
(127)。

画像がありません

メモリーカードに再生する画像がありません。

カードエラーです

メモリーカードにエラーがあり、記録、再生できません。

● 一時的にカードエラーが起きる場合があります。
「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて が赤色で点滅するときは、フォーマットしてください。
が緑色点灯すれば、そのまま記録されます。

カードがいっぱいです

メモリーカードに空き容量がありません。別のメモリーカードと入れ換えるか、画像を消去してください。

液晶画面／ビューファインダーの表示ーつづき

ファイル名が
作成できません

ファイル番号やフォルダ番号が最大になった場合に表示されます。

この画像は
再生できません

再生できない画像ファーマット、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとした場合に表示されます。

プリントマークエラー

プリントマークを51枚以上設定しようとした、またはマークファイルが編集不可能な場合に表示されます（📖 146)。

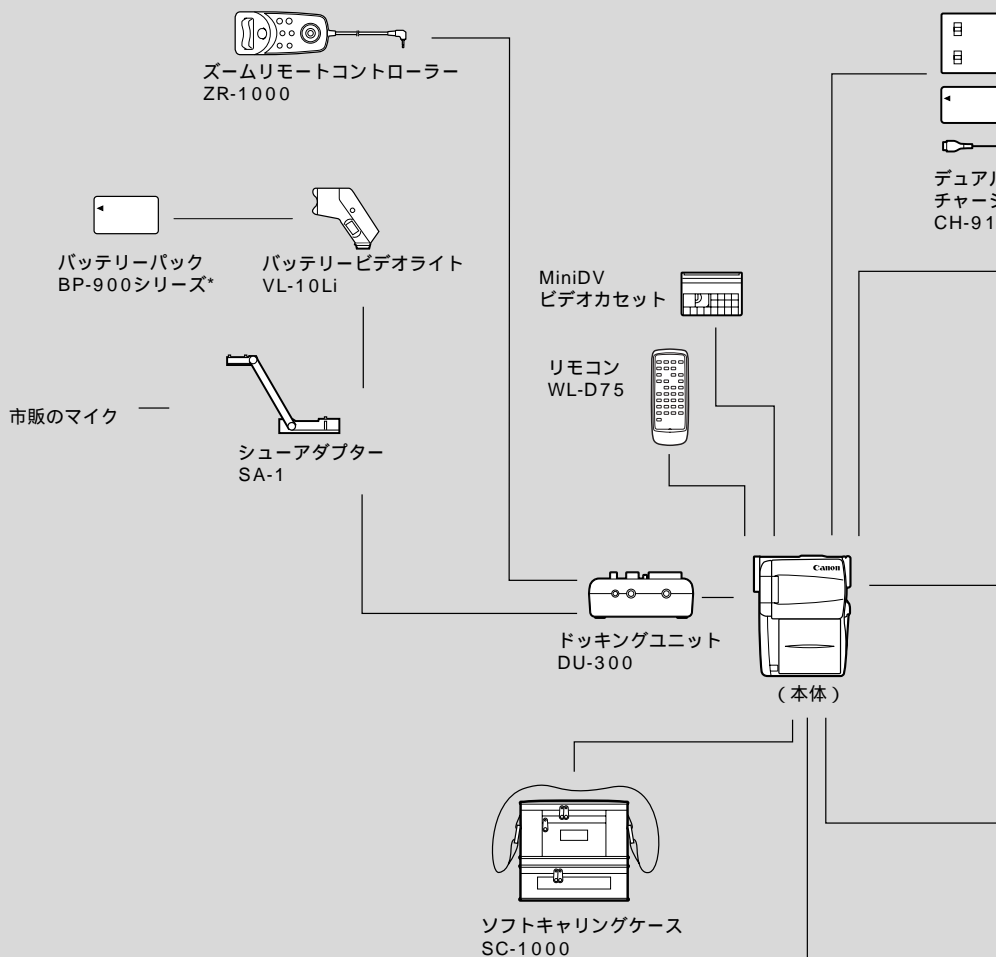
著作権保護信号(約4秒間表示されます)

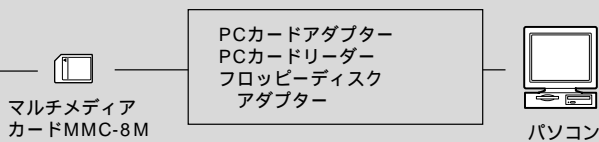
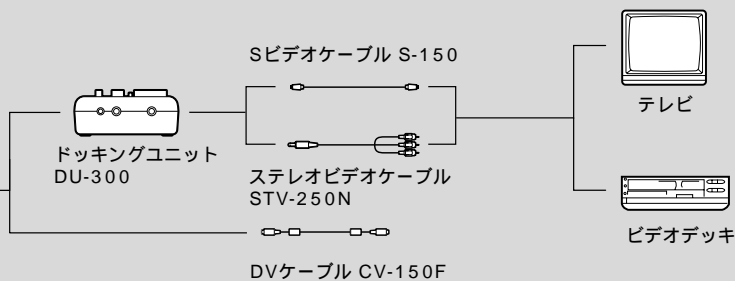
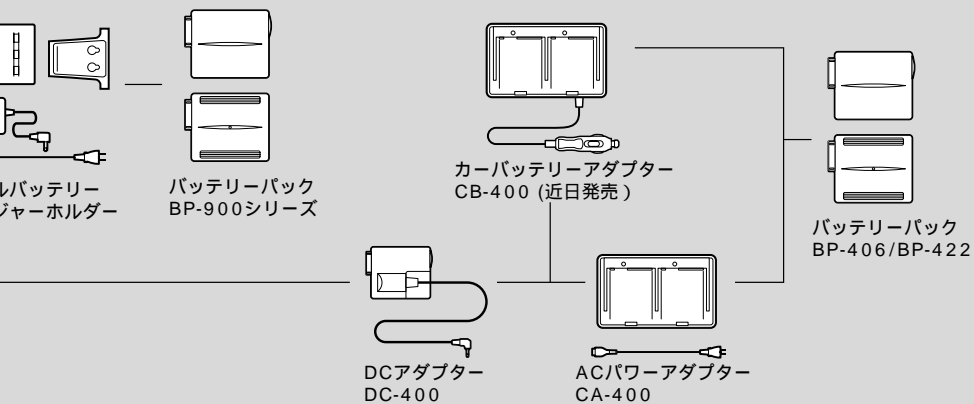
コピー禁止テープです
再生できません

(本機が再生側の場合)
著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生することができません（📖 112)。

コピー禁止です

(本機が録画側の場合)
著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録することができません（📖 115、117)。

キヤノンビデオシステム

＊バッテリーパックBP-900シリーズを充電するときは、
ACパワーアダプターCA-910（別売）または、デュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910（別売）をお使いください。

● キヤノンビデオ機器に他社製の電源関連製品（バッテリーパック、ACアダプターなど）を組み合わせた場合、 正しく取り付けられなかったり、正常に動作しないことがあります。ご注意ください。
キヤノンビデオ機器と他社製の電源関連製品を組み合わせてお使いになって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

記載内容は、2000年7月現在のものです。

取り扱い上のご注意

ビデオカメラやカセット、カードを使うときは次のことに注意してください（使用したカセットやカードはケースに収納してください）。

液晶画面／ビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げない

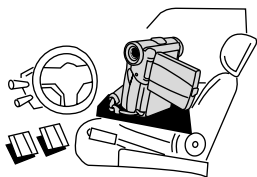
高温、多湿の場所に放置しない

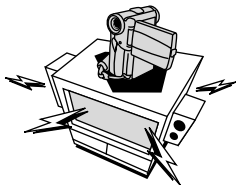
炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

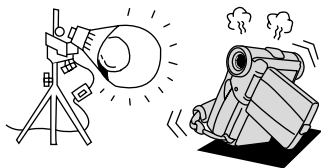
強い磁気の発生する場所で使わない

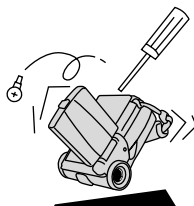
テレビや携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影は避けてください。画面がゆがんだり、ノイズが入ることがあります。

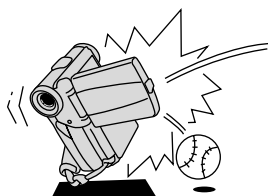
太陽や強いライトにレンズを向けない

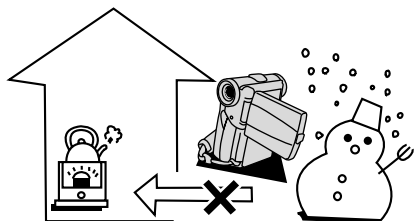
レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。レンズにホコリや砂がつくのを防止するために、使用後は必ずレンズキャップをつけてください。

照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（173ページ）の指示にしたがってください。

再生画面がおかしいときは

ビデオヘッドのクリーニング

テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。また、液晶画面/ビューファインダーに「クリーニングカセットを使ってください[ヘッドよごれ]」と出ることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を見るために約20時間使ったら、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像

ビデオヘッドが
汚れているときの画像

ヘッドクリーニングするときは

● 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

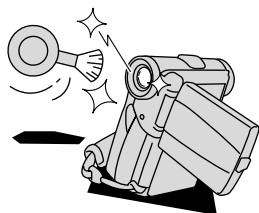
お手入れ

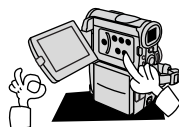
製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック

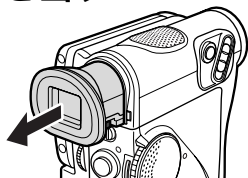
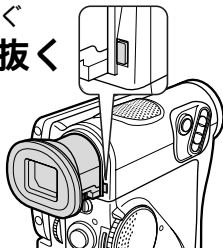
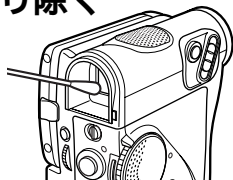
長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

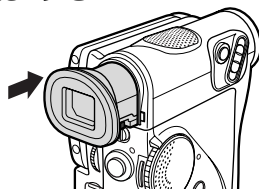
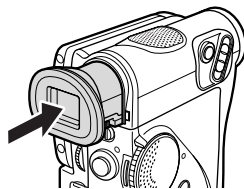
ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダー内部のゴミを取り除く

接眼アダプターをはずす

1 ビューファインダーを止まるところまで、まっすぐ
引き出す

2 取りはずしボタンをクリップの先で押しながら、接眼アダプターをまっすぐ
引き抜く

3 綿棒を差し込み、ガラス部のゴミを
取り除く

- ガラス部以外には、触れないでください。

接眼アダプターを取り付ける

1 接眼アダプターをビューファインダーに合わせて
はめる

2 **押し込む**

- ガラス部の表面は傷つきやすいので、ご注意ください。

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
		バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	25
	途中で電源が切れる。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
		撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	34
	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
		グリップカバーが完全に開いていない。	止まるまで開く。	29
	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
		本機が故障している。	サービスセンターにご相談ください。	裏表紙
	液晶画面/ビューファインダーがついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	電源が入っていない。	電源を入れる。	34、48
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
	電源ランプが点滅し液晶画面/ビューファインダーに「(バッテリーマーク)」が点滅する。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	24
	電源ランプが点滅し液晶画面/ビューファインダーに「(水滴マーク)」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	173
	電源ランプが点滅し液晶画面/ビューファインダーに「カセットを取り出してください」が点滅する。	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	29
	リモコンが動作しない。	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（液晶画面/ビューファインダーに「(リモコンマーク)」が出ている）。	メニューでリモコンコードを「(リモコンマーク)1」または「(リモコンマーク)2」にする。	111
		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	33

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**液晶画面／ビューファインダーに映像が映らない。**	電源スイッチがカメラモードになっていない。	電源スイッチをカメラモードにする。	34
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、ボタン型リチウム電池が消耗している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいボタン型リチウム電池CR1616と交換し、日付／時刻を設定し直す。	31 38 42
	スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。	電源が入っていない。	電源スイッチをカメラモードにする。	34
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
		テープが終わっている（液晶画面/ビューファインダーに「[テープ] END」が点灯している）。	テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	29 49
		カセットが録画できない状態になっている（液晶画面/ビューファインダーに「[録画不可]」が点滅する）。	別のカセットと入れ換えるか、カセットを録画できる状態に切り換える。	29 30
		電源スイッチがカメラモード以外になっている。	電源スイッチをカメラモードにする。	34
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	手動でピントを合わせる。	67
		ビューファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	32
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーは使わないでください。）	168
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。		66
	ビューファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	32

こんなときは－つづき

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
再生時	再生ボタンを押しても再生しない。	電源が入っていない、またはVTR以外になっている。	電源スイッチを「VTR」にする。	48
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
		テープが終わっている（液晶画面/ビューファインダーに「📼 END」が点灯している）。	テープを巻き戻す。	49
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	テレビのテレビ／ビデオ切り換えスイッチがビデオにセットされていない。	テレビ／ビデオ切り換えスイッチをビデオにセットする。	55
		ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	168
		コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	112 163
	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量調整が「切」になっている。	マルチダイヤルで調整する。	52
カード使用時	メモリーカードが入らない	メモリーカードの向きが正しくない。	正しい向きでメモリーカードを入れる。	127
	メモリーカードに記録できない。	すでにメモリーカードの容量いっぱいに記録してる。	不要な画像を消去してから撮影する。	137
		フォーマットされていないメモリーカードを使っている。	フォーマットしてからメモリーカードを使う。	148
		メモリーカードが入っていない。	メモリーカードを入れる。	127
		番号が最大になっている（ファイル名が作成できない）。	メニューで番号リセットを「する」に設定して、新しいメモリーカードを入れる	129
	メモリーカードの再生ができない。	電源スイッチが「カード再生」以外になっている。	電源スイッチを「カード再生」にする。	134
		メモリーカードが入っていない。	メモリーカードを入れる。	127
	画像を消去できない。	画像がプロテクト設定されている。	プロテクト設定を解除する。	136
	▭ が赤色で点滅する。	カードエラーになっている。	電源を切る。 メモリーカードを出し入れする。	127

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などによりビューファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびボタン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。液晶画面/ビューファインダーに「結露しています」が約4秒間表示され、💧が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取出してください」が表示され、📼が点滅します。

● カセットが入っている場合は、すぐに取出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチと取出しボタンのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

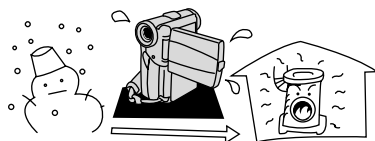
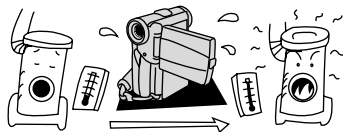
結露を防ぐためには

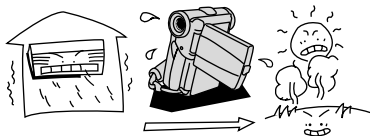
● 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、液晶画面/ビューファインダーの💧や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

こんなときにはご注意

● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

● 寒い部屋を急に暖房したとき

● 湿度の高い部屋の中

● 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による

●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

バッテリーパックの充電

ACアダプターCA-400は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。
変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラディシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
ホンコン	B. BF
マカオ	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトルコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

●本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。
2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より１年間です。
3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。
4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様（型式：IXY DV DM-PV2）

システム

システム	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式：	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式：	PCMデジタル記録 16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式：	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度：	約18.81mm／秒 （SPモード時） 約12.56mm／秒 （LPモード時）
録画／再生時間：	80分（80分テープ使用/SPモード時） 120分（80分テープ使用/LPモード時）
早送り／巻き戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/4インチCCD、総画素数68万画素、有効画素数36万画素
液晶画面：	2.5型TFTカラー液晶（約20万画素）
ビューファインダー：	0.44型TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク：	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ：	f＝3.5～35mm　F1.6～2.6　電動10倍ズーム
レンズ構成：	7群10枚
フィルター取付径：	27mm
焦点調整：	TTL 自動焦点、マニュアル調整可
最至近撮影距離：	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え：	フルオート（セット、屋内、屋外付）
最低被写体照度：	7.5ルクス（ローライトモード）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	7.5～10万ルクス
絞り：	オートアイリスサーボ方式
手ぶれ補正機能：	電子式

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像端子：	φ3.5mm 4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω
S 映像端子*：	4ピンミニ　DIN 輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286 Vp-p/75Ω
DV端子：	マルチコネクター、IEEE1394準拠
音声端子：	φ3.5mm 4極ミニジャック 出力時：－10dBV（47kΩ負荷時）/3kΩ以下 入力時：－10dBV/47kΩ以上
外部マイク端子*：	φ3.5mm ステレオミニジャック、－57dBV（600Ωマイク使用時）／5kΩ以上
ヘッドホン端子*：	φ3.5mm ステレオミニジャック
リモート端子*：	φ2.5mm LANC対応

＊別売のドッキングユニットDU-300装備

電源その他

電源電圧：	DC7.4V
消費電力：	ビューファインダー使用時： 　約4.4 W（録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時： 　約5.4W（録画中、AF合焦時）
動作温度：	0°C～40°C
外形寸法：	48×106×86mm （幅×高さ×奥行）
撮影時総質量：	約470g（バッテリーパックBP-406、レンズキャップ、ボタン型リチウム電池、ビデオカセット30分用、メモリーカードMMC-8M、グリップベルト含む）
本体質量：	約390g

製品の仕様および外観は改善などの理由で予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

そのほか

メニュー索引

操作からメニューが探せます。

ア行		サブメニュー	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
アフレコする方法（音声/マイク）を変える	→	ＶＴＲ設定		VTRモード		
インデックス画面（静止画）を表示する	→	カード実行				カード再生
ウィンドカットを入/切する	→	ＶＴＲ設定	カメラモード	VTRモード		
液晶画面（ＬＣＤ）の明るさを調整する	→	表示設定	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
エフェクトを使う	→	D.(デジタル) エフェクト設定	カメラモード	VTRモード	カード記録	
エリア/サマータイムを変える	→	システム設定	カメラモード		カード記録	
オーディオモード（12bit/16bit）を変える	→	ＶＴＲ設定	カメラモード	VTRモード		
お知らせブザーを入/切する	→	システム設定	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
オンスクリーンを入/切する	→	表示設定	カメラモード		カード記録	

カ行		サブメニュー	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
画像が消えないようにする（プロテクト）	→	カード実行				カード再生
画像を消去する	→	カード実行				カード再生
カードからテープへコピーする	→	カード実行				カード再生
カードに記録する画質を変える	→	カード設定		VTRモード	カード記録	
カードミックスを使う	→	D.(デジタル) エフェクト設定	カメラモード			
カードをフォーマットする	→	カード実行				カード再生

サ行		サブメニュー	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
再生時の文字表示を入/切する	→	表示設定		VTRモード		カード再生
シャッター音（静止画撮影時の）を入/切する	→	カード設定			カード記録	
シャッタースピードを変える	→	カメラ設定	カメラモード		カード記録	

タ行		サブメニュー	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
対面撮影の設定（ミラー/ノーマル）を変える	→	表示設定	カメラモード		カード記録	
デジタルズームを入/切する	→	カメラ設定	カメラモード		カード記録	
データコードの日時の表示を選ぶ	→	表示設定		VTRモード		カード再生
データコードの表示内容を選ぶ	→	表示設定		VTRモード		

テープからカードへコピーする	→	カード実行		VTRモード		
手ぶれ補正を入/切する	→	カメラ設定	カメラモード		カード記録	
ナ行		**サブメニュー**	**カメラモード**	**VTRモード**	**カード記録**	**カード再生**
日時の表示を入/切する	→	表示設定	カメラモード		カード記録	
日時を設定する	→	システム設定	カメラモード		カード記録	
日時（データコードで表示する）を選ぶ	→	表示設定		VTRモード		カード再生
ハ行		**サブメニュー**	**カメラモード**	**VTRモード**	**カード記録**	**カード再生**
バイリンガルの設定を変える	→	ＶＴＲ設定		VTRモード		
番号（静止画ファイルの）リセットを入/切する	→	カード設定		VTRモード	カード記録	
日付の自動表示を入/切する	→	表示設定		VTRモード		
フェーダーを使う	→	D.（デジタル）エフェクト設定	カメラモード	VTRモード		
プリントマークを付ける	→	カード実行				カード再生
ホワイトバランスを設定する	→	カメラ設定	カメラモード		カード記録	
マ行		**サブメニュー**	**カメラモード**	**VTRモード**	**カード記録**	**カード再生**
マルチ画面を使う	→	D.（デジタル）エフェクト設定	カメラモード	VTRモード	カード記録	
ラ行		**サブメニュー**	**カメラモード**	**VTRモード**	**カード記録**	**カード再生**
リモコンコードを変える	→	システム設定	カメラモード	VTRモード	カード記録	カード再生
録画モード（ＳＰ/ＬＰ）を変える	→	ＶＴＲ設定	カメラモード	VTRモード		カード再生
録画ランプを入/切する	→	システム設定	カメラモード			
その他		**サブメニュー**	**カメラモード**	**VTRモード**	**カード記録**	**カード再生**
１６：９を使う	→	カメラ設定	カメラモード			